

Ⅱ. 1. (3) 知的財産権の取得及び活用

出願、登録及び実施状況

(i) 平成23年度の出願は、下記の2件である。（＊印は共同者）

発 明 等 の 名 称	種 別	出 願 日	出 願 番 号	発 明 者 等	備 考
制振装置	特許	H23. 6. 23	特願 2011-139879	梶原 浩一, 青木 保夫*, 田川 泰敬*,	
比編波間位相差演算装置、及びそれを用いた 降雨観測システム並びに比編波間位相差演算 方法	特許	H24. 3. 28	特願 2012-73098	前坂 剛	

(ii) 平成23年度の実施は、下記の2件である。

特許番号	発 明 の 名 称	発 明 者	実 施 件 数	備 考
3358178	地盤液状化実験ボトル	納口恭明	1	
3755131	地震予測即時報知システム	堀内茂木他5名	1	

参考1. 特許権等取得一覧（＊印は共同者）

登録日	登録番号	存続期間	発 明 の 名 称	発 明 者	備 考
H8. 2. 26	2021959	H23. 6. 18	制振装置	箕輪 親宏	
H8. 7. 25	2071933	H24. 8. 13	複合センサー付き積雪検層ゾンデ	阿部 修	
H8. 9. 19	2560260	H26. 10. 5	レーザひずみ計	坂田 正治	
H9. 5. 13	5, 629, 757	H27. 8. 10	レーザひずみ計（米国）	坂田 正治	
H11. 1. 14	2873926	H27. 10. 12	地震の前兆現象に係る電磁界観測方法、及びその装置	藤縄 幸雄, 高橋 耕三*	
H11. 2. 5	2881758	H28. 3. 6	定方位コアサンプリング装置及び定方位コアサンプリ ング方法	池田 隆司, 阿部 一郎*, 川西 繁*	
H11. 9. 24	2982874	H30. 11. 5	線画化処理方法、線画化処理プログラムを記録した記録媒 体、網ベクトルデータ作成方法及び網ベクトルデータ作成 プログラムを記録した記録媒体	中根 和郎	
H11. 10. 8	2988517	H29. 2. 28	海底観測システム用電源装置	江口 孝雄	
H11. 11. 5	2997732	H29. 2. 28	地震観測用姿勢制御装置	江口 孝雄	
H12. 7. 21	3089399	H29. 2. 28	3成分地震計	江口 孝雄	
H12. 9. 8	3106183	H29. 9. 18	地盤探査方法及び装置	木下 繁夫	
H14. 5. 10	3303130	H30. 10. 9	混合物質の混合量測定装置及び監視装置	富永 雅樹	
H14. 8. 23	3341040	H31. 9. 28	電磁界観測に基づく地殻内急速運動の予測方法及びその 装置	藤縄 幸雄, 飯高 弘*, 高橋 耕三*	
H14. 9. 6	3345644	H32. 3. 31	地震の前兆となる微小電磁界異常の検出装置及びその検 出方法及び波源までの距離の推定方法	マトバープ イーゴル*, 田中 正利*, 川合 栄治*, 高橋 耕三*, 手島 輝夫*, 藤縄 幸雄	
H14. 10. 11	3358177	H32. 3. 31	光学式測距装置	江口 孝雄	
H14. 10. 11	3358178	H32. 4. 12	地盤液状化実験ボトル	納口 恭明	
H14. 10. 18	3360257	H32. 3. 31	地震計	江口 孝雄	
H15. 1. 14	6, 507, 201 B2	H33. 7. 10	被測定物質中の混合量測定装置及び測定用電極棒（米国）	富永 雅樹	
H15. 7. 4	3446043	H33. 10. 25	長大ストローク加振装置	箕輪 親宏, 山下 敏夫*	
H15. 8. 1	3455774	H32. 7. 13	被測定物質中の混合量測定装置	富永 雅樹	
H15. 8. 22	3463677	H33. 10. 4	震源位地の決定法	堀内 茂木, 藤縄 幸雄, 根岸 弘明	
H15. 8. 29	3465245	H32. 3. 27	地域防災監視システム	江口孝雄	
H15. 9. 16	6, 622, 093 B1	H32. 9. 28	電磁界観測に基づく地殻内急速運動の予測方法及びその 装置（米国）	藤縄 幸雄, 飯高 弘*, 高橋 耕三*	
H15. 10. 3	3478530	H32. 3. 9	制振構造	笠原 敬司, 鹿熊英昭*, 野村 幸司*	
H16. 1. 30	3516061	H32. 7. 13	導電率・抵抗率測定用電極棒	富永 雅樹	
H16. 3. 19	3534315	H33. 12. 3	圧力変化計測装置	坂田 正治	
H16. 9. 24	3598309	H33. 3. 8	前兆現象に係わる電磁界観測方法及び観測システム	藤縄 幸雄, 佐々木 清志*, 青柳 勝*	
H17. 3. 4	3650778	H33. 7. 27	負帰還型デジタル加速度換振器並びに加速度地震計及び 観測システム	木下 繁夫, 横井 勇*	
H17. 4. 26	6, 885, 945 B2	H35. 8. 6	電界観測に基づく震源時・震源距離・規模の予測方法及び その予測装置（米国）	藤縄 幸雄, 松本 拓己, 高橋 耕三*	
H18. 1. 06	3755131	H33. 8. 28	地震予測即時報知システム	藤縄 幸雄, 堀内 茂木, 井上 公, 松本 拓己, 根岸 弘明, 藤原 広行	

登録日	登録番号	存続期間	発 明 の 名 称	発 明 者	備 考
H18. 2. 17	3771174	H34. 1. 31	移動、振動計測装置	藤田 聡*, 新津 靖*, 御子柴 正, 古屋 治*, 尾上 賢*	
H18. 2. 24	3772215	H32. 7. 13	混合物質の導電率・抵抗率測定方法	富永 雅樹	
H18. 12. 5	3890385	H36. 6. 24	防災情報通信システム	山田 博幸, 古戸 孝, 浦山 利博, 角本 繁	
H20. 2. 29	4085406	H34. 12. 2	簡易地震計	根岸 弘明	
H20. 3. 21	4096071	H36. 6. 24	図形データ管理方法及び図形データ管理装置	角本 繁, 浦山 利博, 古戸 孝, 山田 博幸, 畑山 満則*	
H20. 5. 23	4128863	H34. 12. 24	サーボ型加速度計	鹿熊 英昭*, 高木 義彦*, 野村 幸司*, 笠原 敬司	
H20. 5. 23	4128864	H34. 12. 24	サーボ型加速度計	鹿熊 英昭*, 高木 義彦*, 野村 幸司*, 笠原 敬司	
H20. 5. 30	4129547	H36. 2. 13	震動変位計算精度の向上手段	岡村 敦*, 鈴木 信弘*, 吉崎 互*, 茂木 篤志*, 御子 柴正	
H20. 6. 6	4134053	H37. 1. 21	斜風対応型防雪柵	田代 元司*, 吉田 泰則*, 高森 潔*, 照井 繁*	
H20. 8. 8	4164555	H36. 11. 2	災害情報収集管理システム	角本 繁, 浦山 利博, 古戸 孝, 山田 博幸, 後藤 洋三,	
H20. 8. 22	4171800	H34. 11. 8	電界観測に基づく震源時・震源距離・規模の予測方法及びその予測装置	藤縄 幸雄, 松本 拓己, 高橋 耕三*	
H20. 12. 12	4229337	H39. 9. 26	計測震度概算装置、それを用いた計測震度概算システム及び計測震度概算方法	刃刀 卓, 青井 真, 中村 洋光	
H21. 10. 2	4378551	H36. 6. 24	防災情報通信用端末	山田 博幸, 古戸 孝, 浦山 利博, 角本 繁	
H22. 3. 5	4465508	H39. 1. 23	震動データ記録装置、震動データ記録システム及び震動データ記録方法	中村 洋光, 刃刀 卓, 青井 真	
H22. 3. 5	4465509	H39. 5. 11	震央距離推定装置、震央距離推定システム及び震央距離推定方法	中村 洋光, 刃刀 卓, 青井 真	
H22. 6. 11	4526543	H39. 1. 23	震動データ伝送装置及び震動データ伝送システム	中村 洋光, 刃刀 卓, 青井 真	
H22. 10. 1	4595078	H37. 1. 28	降雨強度と雨水量の3次元分布推定装置および方法	眞木 雅之, 朴 相郡	
H22. 12. 24	4649669	H36. 11. 2	災害情報収集管理方法	角本 繁, 浦山 利博, 古戸 孝, 山田 博幸, 後藤 洋三	
H23. 4. 15	4719936	H37. 4. 15	ジャッキ用アタッチメント	梶原 浩一, 今岡 静男*, 田川 泰敬, 山田 学*, 早津 昌樹*	
H23. 5. 13	4739306	H39. 5. 13	降雨減衰判定装置及びそれを用いた降雨観測システム並びに降雨減衰判定方法	岩波 越	
H23. 11. 4	4853628	H38. 3. 29	携帯式ジャッジ	梶原浩一, 田川泰敬*, 山田 学*, 谷 直樹*	
H23. 12. 22	4891022	H38. 9. 29	補助モータ付きチェンプブロック	梶原 浩一, 石川 祐助*, 吉崎 正俊, 矢作 広勝*, 山田 学*, 早津 昌樹*	

参考2. 実用新案一覧（＊印は共同者）

登録日	登録番号	存続期間	考 案 の 名 称	考 案 者	備 考
H18. 8. 23	3125309	H28. 7. 4	間伐材利用の吹払い式防雪柵	佐藤威, 佐藤 景一郎*, 正野 正剛*	

参考3. 意匠権一覧（＊印は共同者）

登録日	登録番号	存続期間	創 作 の 名 称	創 作 者	備 考
H13. 12. 28	1134523	H28. 12. 28	道路用防風雪柵用風向変換板	佐藤篤司, 嶋田 潔*, 木村 勝正*	

参考4. 商標権

登録日	登録番号	存続期間	名 称	商 標 権 者	備 考
H14. 9. 27	4606908	H24. 9. 27	E-ディフェンス標準文字	独立行政法人防災科学技術研究所	
H14. 9. 27	4606909	H24. 9. 27	E-ディフェンス商標（文字なし、白黒）	独立行政法人防災科学技術研究所	

登録日	登録番号	存続期間	名 称	商 標 権 者	備 考
H14. 10. 18	4612898	H24. 10. 18	E-ディフェンス商標（文字あり、カラー）	独立行政法人防災科学技術研究所	
H14. 12. 27	4632446	H24. 12. 27	NIED商標	独立行政法人防災科学技術研究所	
H17. 3. 11	4844725	H27. 3. 11	DyLUPAS標準文字	独立行政法人防災科学技術研究所	

Ⅱ. 2. 国及び地方公共団体の防災行政への貢献

Ⅱ. 2. (1) 防災行政への貢献及び協力状況

◇ 国及び地方公共団体における研究成果の活用促進

< 局地的大雨・集中豪雨対策への貢献 >

当研究所が技術開発を行っているMPレーダが国土交通省水管理・国土保全局（旧河川局）に採用され、局地的大雨・集中豪雨の実況監視を強化することを目指して平成23年度までに11エリアに計27台のMPレーダネットワークが整備された。このレーダネットワークには当研究所が開発したアルゴリズム（特許2件を含む）が実装されている。MPレーダの機能を最大限活用し、局地的な大雨や集中豪雨の予測技術の開発やさらなる洪水予測の高度化を図るため国土交通省河川局が設置した産学官による「XバンドMPレーダに関する技術開発コンソーシアム」へも、主要機関として参画している。また、MPレーダ情報を活用した都市型水害予測の社会実験として江戸川区、藤沢市、横浜市、東京消防庁と共同研究をおこなっている。

< 災害リスク情報の利活用 >

神奈川県藤沢市では、災害対策本部の災害対応の机上防災訓練を支援したのをはじめ、eコミュニティ・プラットフォームを用いた市の防災情報の公開サイトの開発を共同で行った、e コミを用いた地域協働を支援する情報プラットフォームに活用された。岐阜県では、県下の市町村が作成するハザードマップの作成および納品ガイドラインの作成を支援した。茨城県つくば市では、社会福祉協議会による地域防災訓練を支援した。神奈川県横浜市では防災マップを作成する支援サイトの構築・運用を支援した。

東日本大震災においては、eコミュニティ・プラットフォームを活用した被災地支援を実施した。宮城県社会福祉協議会と県下の市町村の社会福祉協議会の災害ボランティアセンターが情報発信と情報分析に e コミを活用した。また、岩手県陸前高田市と大槌町では e コミマップを基盤に罹災証明発行を支援する情報システムを開発して実運用された。釜石市ではガレキの撤去を e コミマップを使って管理を行っており、他にも山田町や宮城県気仙沼市でも現業で活用されたのをはじめ、複数の支援団体によって災害対応において e コミの活用が促進された。岩手県大船渡市では復興計画の策定を支援した。

< 地震対策施策への協力等 >

総務省、文部科学省、国土交通省および気象庁が開催する講演会や啓発DVDの作製などに関して、E-ディフェンスで実施した実験映像の提供を行った。また、地方公共団体の耐震補強や地震対策を担当している部署をはじめ各部署に対してE-ディフェンスで実施した実験映像の利用を働きかけた結果、31都道府県、129市町村においてWeb上や防災講習会などで実験映像が利用されている（市町村は延べ利用数）。

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」で得られた成果の社会還元の一環として、「2008年12月/2009年1月に実施された重要施設（病院）の機能保持実験」の映像を編集したDVDを全国の災害拠点病院（586件）に配布した。さらに、Web上で希望者に無償配布したところ、平成22年度に389件、平成23年度に369件の病院等から配布希望があった。

本DVDは、建物の構造と発生する地震波の種類により医療現場における被災状況を様々な角度からシュミレーションした映像を収録しており、各病院での防災研修で活用されており、日常、埋もれがちな防災意識の再確認や、地震対策向上に貢献している。

< 地方公共団体との主な共同研究 >

下記のような自治体の担当部署と協力した活動により、実際に現場で使える研究成果の創出に取り組んでいる。・災害リスク情報プラットフォームに関する研究を、藤沢市、長岡市と協力して推進している。

・地震動分布や建物被害分布並びに人的被害などを推定する地震被害予測システムの開発に関する研究を、千葉県と協力して推進している。

・詳細な建物マップを用いた地震防災への利活用に関する研究を九十九里町と協力して推進している。

・雪崩発生ならびに吹雪発生予測情報の雪氷災害対策への適用に関する研究を新潟県と、吹雪による視程障害予測情報の活用に関する研究を新潟市と、それぞれ協力して推進している。

・屋根雪関連事故の発生条件に関する研究を、秋田県と協力して行っている。

< 委員会への委員派遣 >

国の要請に基づき、地震調査研究推進本部の各種委員会をはじめ、科学技術・学術審議会、日本学術会議、火山噴火予知連絡会などに対し、当研究所の職員を委員として派遣し、防災行政への人的貢献を行った。また、地方自治体

に対しては、山形県、新潟県、富山県、茨城県及び兵庫県などからの依頼を受けて委員を選出するなど協力を行っている。

Ⅱ.2.(2) 政府機関、地方自治体等への情報提供(498件)

研究成果等を国等へ提供し、防災行政へ積極的に貢献した。

<地震調査研究推進本部関連>

○地震調査委員会

	資料名	提出年月日	担当者
1	2011年4月7日に発生した宮城県沖の地震 (M7.4)	H23. 4. 8	上野友岳
2	2011年4月7日 宮城県沖の地震 (F-netによるメカニズム解)	H23. 4. 8	木村武志
3	2011年4月7日23時32分宮城県沖の地震による強震動	H23. 4. 8	切刀卓・青井真・鈴木亘・森川信之
4	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 4. 11	松本拓巳
5	2011年3月11日以降の東北地方の日別モーメントテンソル解	H23. 4. 11	松本拓巳
6	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 前震・余震のセントロイド・モーメントテンソル(CMT)解析結果	H23. 4. 11	浅野陽一
7	SAR干渉解析による東北地方太平洋沖地震に関する地殻変動	H23. 4. 11	小澤拓
8	2011年東北地方太平洋沖地震前の傾斜記録	H23. 4. 11	廣瀬仁
9	GAMITプログラムによるGEONET・IGS観測点の東北地方太平洋沖地震の地震時変動	H23. 4. 11	島田誠一
10	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 4. 11	島田誠一
11	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 4. 11	島田誠一
12	2011年3月19日 茨城県北部の地震	H23. 4. 11	木村尚紀
13	2011年3月11日以降の銚子付近の地震活動	H23. 4. 11	木村尚紀
14	2011年3月11日以降の東京湾の地震活動	H23. 4. 11	木村尚紀
15	2011年3月11日以降の関東地方の相似地震活動	H23. 4. 11	木村尚紀
16	2011年3月15日静岡県東部の地震	H23. 4. 11	武田哲也
17	2011年3月12日長野県北部の地震	H23. 4. 11	武田哲也
18	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況(2011年3月)	H23. 4. 11	松澤孝紀
19	四国の深部低周波微動活動状況(2011年3月)	H23. 4. 11	松澤孝紀
20	強震記録を用いた平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の震源過程【暫定】	H23. 4. 11	鈴木亘・青井真
21	2011年4月11日 福島県東部の地震	H23. 4. 12	木村尚紀
22	2011年4月12日長野県北部の地震	H23. 4. 12	武田哲也
23	2011年4月12日 千葉県東方沖の地震	H23. 4. 12	木村尚紀
24	2011年4月11日17時16分福島県浜通りの地震による強震動	H23. 4. 12	切刀卓・青井真・鈴木亘・森川信之
25	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 5. 11	木村武志
26	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 前震・余震のセントロイド・モーメントテンソル(CMT)解析結果	H23. 5. 11	浅野陽一
27	GAMITプログラムによるGEONET・IGS観測点の東北地方太平洋沖地震の地震時変動	H23. 5. 11	島田誠一
28	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 5. 11	島田誠一
29	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 5. 11	島田誠一
30	2011年4月秋田県内陸の地震	H23. 5. 11	武田哲也
31	東北地方太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 5. 11	木村尚紀
32	2011年4月16日 茨城県南西部の地震	H23. 5. 11	木村尚紀
33	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況(2011年4月)	H23. 5. 11	松澤孝紀

	資料名	提出年月日	担当者
34	四国の深部低周波微動活動状況（2011年4月）	H23. 5. 11	松澤孝紀
35	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 6. 9	木村武志
36	SAR干渉解析による東北地方太平洋沖地震に関する地殻変動	H23. 6. 9	小澤拓
37	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 6. 9	島田誠一
38	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 6. 9	島田誠一
39	東北地方太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 6. 9	木村尚紀
40	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年5月）	H23. 6. 9	松澤孝紀
41	四国の深部低周波微動活動状況（2011年5月）	H23. 6. 9	松澤孝紀
42	四国西部の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況	H23. 6. 9	廣瀬仁
43	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 7. 11	木村武志
44	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 7. 11	島田誠一
45	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 7. 11	島田誠一
46	東北日本におけるプレート境界型の地震・超低周波地震の活動	H23. 7. 11	浅野陽一
47	関東・東北地方太平洋沖の相似地震活動	H23. 7. 11	木村尚紀
48	2011年6月30日長野県中部の地震	H23. 7. 11	武田哲也
49	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年6月）	H23. 7. 11	松澤孝紀
50	紀伊半島北部の短期的スロースリップ活動状況（2011年6月）	H23. 7. 11	木村尚紀
51	四国の深部低周波微動活動状況（2011年6月）	H23. 7. 11	松澤孝紀
52	四国西部の短期的スロースリップ活動状況（2011年7月）	H23. 7. 11	廣瀬仁
53	2011年7月5日和歌山県中部の地震	H23. 7. 11	松原誠
54	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 8. 5	木村武志
55	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 8. 5	島田誠一
56	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 8. 5	島田誠一
57	2011年7月23日に発生した宮城県沖の地震および7月25日,31日に発生した福島県沖の地震	H23. 8. 5	上野友岳
58	2011年6月30日長野県中部の地震の余震活動	H23. 8. 5	武田哲也
59	2011年7月伊豆半島東方沖の地震・火山活動	H23. 8. 5	武田哲也
60	2011年7月伊豆半島東方沖の地震活動に伴う傾斜変化の暫定変動源モデル	H23. 8. 5	河野裕希・棚田俊收
61	東海地域の短期的スロースリップイベント活動状況（2011年7月）	H23. 8. 5	廣瀬仁
62	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年7月）	H23. 8. 5	松澤孝紀
63	四国の深部低周波微動活動状況（2011年7月）	H23. 8. 5	松澤孝紀
64	2011年8月1日駿河湾南部の地震	H23. 8. 5	松原誠
65	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 9. 9	木村武志
66	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 9. 9	島田誠一
67	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 9. 9	島田誠一
68	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年8月）	H23. 9. 9	松澤孝紀
69	四国の深部低周波微動活動状況（2011年8月）	H23. 9. 9	松澤孝紀
70	四国中・西部の短期的スロースリップイベント活動状況（2011年8月）	H23. 9. 9	廣瀬仁
71	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 10. 7	木村武志
72	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 10. 7	島田誠一
73	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 10. 7	島田誠一
74	2011年9月7日日高地方中部の地震	H23. 10. 7	武田哲也
75	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年9月）	H23. 10. 7	松澤孝紀
76	紀伊半島の短期的スロースリップイベント活動状況（2011年9月）	H23. 10. 7	廣瀬仁
77	四国の深部低周波微動活動状況（2011年9月）	H23. 10. 7	松澤孝紀
78	2011年10月5日熊本県北西部の地震	H23. 10. 7	武田哲也
79	2011年10月5日飛騨山脈の地震	H23. 10. 7	武田哲也
80	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 11. 10	木村武志

	資料名	提出年月日	担当者
81	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 11. 10	島田誠一
82	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 11. 10	島田誠一
83	房総半島沖スロースリップイベント（2011年10月）その1	H23. 11. 10	木村尚紀
84	房総半島沖スロースリップイベント（2011年10月）その2	H23. 11. 10	廣瀬仁
85	2011年10月5日飛騨山脈の地震	H23. 11. 10	武田哲也
86	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年10月）	H23. 11. 10	松澤孝紀
87	四国の深部低周波微動活動状況（2011年10月）	H23. 11. 10	松澤孝紀
88	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H23. 12. 9	木村武志
89	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 12. 9	島田誠一
90	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H23. 12. 9	島田誠一
91	十勝沖における浅部超低周波地震活動	H23. 12. 9	浅野陽一
92	2011年11月18日福井県中部の地震	H23. 12. 9	武田哲也
93	2011年11月21日広島県北部の地震	H23. 12. 9	武田哲也
94	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年11月）	H23. 12. 9	松澤孝紀
95	四国の深部低周波微動活動状況（2011年11月）	H23. 12. 9	松澤孝紀
96	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H24. 1. 11	木村武志
97	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H24. 1. 11	島田誠一
98	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H24. 1. 11	島田誠一
99	紀伊半島北部の短期的スロースリップ活動状況（2011年12月）	H24. 1. 11	木村尚紀
100	四国西部の短期的スロースリップ活動状況（2011年12月）	H24. 1. 11	木村武志
101	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年12月）	H24. 1. 11	松澤孝紀
102	四国の深部低周波微動活動状況（2011年12月）	H24. 1. 11	松澤孝紀
103	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H24. 2. 9	木村武志
104	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H24. 2. 9	島田誠一
105	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H24. 2. 9	島田誠一
106	2012年1月28日山梨県東部の地震	H24. 2. 9	武田哲也
107	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2012年1月）	H24. 2. 9	松澤孝紀
108	四国の深部低周波微動活動状況（2012年1月）	H24. 2. 9	松澤孝紀
109	四国西部の短期的スロースリップ活動状況（2011年12月～2012年1月）	H24. 2. 9	木村武志
110	広帯域地震計を用いたモーメントテンソル解析結果	H24. 3. 9	木村武志
111	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H24. 3. 9	島田誠一
112	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測	H24. 3. 9	島田誠一
113	2012年2月18日 千葉県中部の浅発地震	H24. 3. 9	木村尚紀
114	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2012年2月）	H24. 3. 9	松澤孝紀
115	四国の深部低周波微動活動状況（2012年2月）	H24. 3. 9	松澤孝紀

○地震調査委員会長期評価部会

	資料名等	提出年月日	担当者
1	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震に関する検討	H23. 6. 1	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
2	地表で痕跡を認めにくい地震を考慮した主要断層帯の地震発生数	H23. 6. 1	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
3	巨大地震の断層モデル・地震活動に関する検討	H23. 6. 29	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
4	太平洋プレートの巨大地震に関する G-R 式の適用性に関する検討	H23. 7. 27	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
5	確率論的地震動予測地図作成のための太平洋プレートの地震の地震活動モデル作成方針（案）	H23. 11. 2	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

	資料名等	提出年月日	担当者
6	確率論的地震動予測地区の作成条件	H24. 2. 1	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
7	確率論的地震動予測地区の計算結果報告	H24. 2. 1	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
8	震源断層を特定した地震の地震動予測地区	H24. 2. 1	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
9	確率論的地震動予測地区の作成条件	H24. 2. 29	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
10	確率論的地震動予測地区の計算結果	H24. 2. 29	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

○地震調査委員会強震動評価部会

	資料名等	提出年月日	担当者
1	「長周期地震動予測地区作成等支援事業」について	H23. 6. 2	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
2	地震動予測地区関連作業（2011 年度～）	H23. 6. 2	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
3	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震に関する検討	H23. 6. 2	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
4	地表で痕跡を認めにくい地震を考慮した主要断層帯の地震発生数	H23. 6. 2	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
5	平成 23 年度「長周期地震動予測地区作成等支援事業」について	H23. 6. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
6	巨大地震の断層モデル・地震活動に関する検討作業	H23. 6. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
7	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震に関する検討～超過確率地区の試算～	H23. 6. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
8	距離減衰式の高度化について	H23. 6. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
9	地盤情報データベースに係わる最近の動向	H23. 6. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
10	南海トラフ連動地震の特性化震源モデルについて	H23. 7. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
11	太平洋プレートの巨大地震に関する G-R 式の適用性に関する検討	H23. 7. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
12	距離減衰式の高度化	H23. 7. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
13	南海トラフの地震の地震動シミュレーション（経過報告）	H23. 9. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
14	確率論的地震動予測地区作成のための太平洋プレートの地震のモデル化方針	H23. 9. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
15	距離減衰式の高度化（2）	H23. 9. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
16	確率論的地震動予測地区作成のための太平洋プレートの地震の地震活動モデル作成方針（案）	H23. 10. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
17	南海トラフの地震の地震動シミュレーション（経過報告 2）	H23. 10. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前

	資料名等	提出年月日	担当者
			田宜浩・長谷川信介
18	確率論的地震動予測地図の作成条件（案）	H23. 11. 24	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
19	南海トラフ地震の地震動シミュレーション（経過報告 3）	H23. 11. 24	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
20	確率論的地震動予測地図の計算結果報告	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
21	確率論的地震動予測地図の課題	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
22	震源断層を特定した地震の地震動予測地図	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
23	確率論的地震動予測地図の検証	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
24	距離減衰式の高度化―深部地盤に関する補正項の検討―	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
25	スラブ内地震の強震動予測レシビの検証について	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
26	南海トラフ地震の地震動シミュレーション（経過報告 4）	H24. 1. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
27	確率論的地震動予測地図の作成条件	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
28	確率論的地震動予測地図の計算結果報告	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
29	南海トラフの地震の地震動シミュレーション（経過報告 5）	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
30	距離減衰式の高度化	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
31	確率論的地震動予測地図の課題	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
32	確率論的地震動予測地図の検証	H24. 2. 23	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
33	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について	H24. 3. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
34	距離減衰式の高度化―浅部地盤の増幅に関する検討 2―	H24. 3. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

○地震調査委員会強震動予測手法検討分科会

	資料名等	提出年月日	担当者
1	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震に関する検討～超過確率地図の試算～	H23. 4. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
2	地表で痕跡を認めにくい地震を考慮した主要断層帯の地震発生数	H23. 4. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
3	「長周期地震動予測地図作成等支援事業」について	H23. 5. 19	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
4	地震動予測地図関連作業（2011 年度～）	H23. 5. 19	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
5	「長周期地震動予測地図作成等支援事業」について	H23. 6. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前

	資料名等	提出年月日	担当者
			田宜浩・長谷川信介
6	巨大地震の断層モデル・地震活動に関する検討作業	H23. 6. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
7	距離減衰式の高度化について	H23. 6. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
8	南海トラフ連動地震の特性化震源モデルについて	H23. 7. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
9	震源過程の不均質性に関する検討	H23. 7. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
10	巨大地震の断層モデル・地震活動に関する検討	H23. 7. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
11	距離減衰式の高度化に関する検討	H23. 7. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
12	太平洋プレートの巨大地震に関する G-R 式の適用性に関する検討	H23. 7. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
13	長大断層に適用可能なパラメータ設定手法に関する検討	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
14	海溝型巨大地震の震源モデル設定手法に関する検討	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
15	南海トラフ地震の地震動シミュレーション（経過報告）について	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
16	確率論的地震動予測地図作成のための太平洋プレートの地震のモデル化方針（案）	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
17	距離減衰式の高度化（2）	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
18	確率論的地震動予測地図作成のための太平洋プレートの地震の地震活動モデル作成方針（案）	H23. 10. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
19	南海トラフの地震の地震動シミュレーション（経過報告 2）	H23. 10. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
20	確率論的地震動予測地図の作成	H23. 11. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
21	南海トラフ地震の地震動シミュレーションについて	H23. 11. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
22	南海トラフ地震の地震動シミュレーション（経過報告 4）	H23. 12. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
23	距離減衰式の高度化（3）	H23. 12. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
24	スラブ内地震の強震動予測レシピの検証について	H23. 12. 22	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
25	確率論的地震動予測地図の作成条件	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
26	確率論的地震動予測地図の計算結果報告	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
27	震源断層を特定した地震動予測地図	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
28	海溝型巨大地震の震源モデル化手法に関する検討	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

	資料名等	提出年月日	担当者
29	南海トラフの地震の地震動シミュレーション（東北地方太平洋沖地震を対象とした計算）	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
30	距離減衰式の高度化―浅部地盤の増幅に関する検討―	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
31	距離減衰式の高度化について	H24. 3. 14	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

○地震調査委員会地震動予測地図高度化WG

	資料名等	提出年月日	担当者
1	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震に関する検討	H23. 5. 31	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
2	地表で痕跡を認めにくい地震を考慮した主要断層帯の地震発生数	H23. 5. 31	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
3	太平洋プレートの巨大地震に関する G-R 式の適用性に関する検討	H23. 9. 7	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
4	距離減衰式の高度化	H23. 9. 7	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
5	確率論的地震動予測地図の作成条件	H24. 1. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
6	確率論的地震動予測地図の計算結果報告	H24. 1. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
7	確率論的地震動予測地図の課題	H24. 1. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
8	距離減衰式の高度化―深部地盤に関する補正項の検討―	H24. 1. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
9	震源断層を特定した地震の地震動予測地図	H24. 1. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
10	確率論的地震動予測地図の作成条件	H24. 3. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
11	確率論的地震動予測地図の計算結果報告	H24. 3. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
12	距離減衰式の高度化―浅部地盤の増幅に関する検討―	H24. 3. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
13	モデル 3 による確率論的地震動予測地図	H24. 3. 18	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介

○地震調査委員会地下構造モデル検討分科会

	資料名等	提出年月日	担当者
1	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について（経過報告 4）	H23. 5. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
2	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について（経過報告 5）	H23. 6. 17	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
3	地盤情報データベースに係わる最近の動向	H23. 6. 17	藤原広行・河合伸一・森川信之・前田宜浩・長谷川信介
4	東北地方太平洋沖地震による利根川流域における液状化調査について	H23. 7. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・

	資料名等	提出年月日	担当者
			前田宜浩・長谷川信介
5	地方自治体へのポーリングデータに関するアンケート調査	H23. 7. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
6	平成 23 年度「長周期地震動予測地図作成等支援事業」について	H23. 7. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
7	ポータルサイト「ジオ・ステーション」による地下構造データの共有化	H23. 9. 21	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
8	地下構造情報管理・活用のために一地下構造データベースの法整備等について	H23. 10. 19	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
9	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について（経過報告 6）	H23. 12. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
10	深部地盤構造モデルへのプレート境界構造の追加について	H23. 12. 20	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
11	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について（経過報告 7）	H24. 2. 14	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
12	内閣府への深部地盤モデルデータの提供について	H24. 2. 14	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
13	浅部・深部統合地盤モデル作成の検討について（経過報告 8）	H24. 3. 16	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
14	深部地盤構造モデルへのプレート境界構造の追加について	H24. 3. 16	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介

○地震調査委員会海溝型分科会（第二期）

	資料名等	提出年月日	担当者
1	巨大地震の断層モデル・地震活動に関する検討	H23. 6. 29	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介
2	南海トラフ沿いのプレート境界巨大地震のシナリオごとの面積と地震の規模の試算	H24. 2. 15	藤原広行・河合伸一・森川信之・ 前田宜浩・長谷川信介

<大規模地震対策強化地域判定会>

	資料名	提出年月日	担当者
1	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 4. 25	齊藤竜彦・三好崇之
2	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 4. 25	木村尚紀
3	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 4. 25	松村正三
4	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年3月～2011年4月）	H23. 4. 25	松澤孝紀
5	（参考）四国の深部低周波微動活動状況（2011年3月～2011年4月）	H23. 4. 25	松澤孝紀
6	東北地方太平洋沖地震以降の茨城県北部・福島県東部の地震活動	H23. 4. 25	木村尚紀
7	東北地方太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 4. 25	木村尚紀
8	東北地方太平洋沖地震以降の関東地方の相似地震活動	H23. 4. 25	木村尚紀
9	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 5. 31	齊藤竜彦・三好崇之
10	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 5. 31	木村尚紀
11	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 （座標基準点：IGS USUD）	H23. 5. 31	島田誠一
12	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測（座標基準点：IGS USUD）	H23. 5. 31	島田誠一
13	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 5. 31	松村正三
14	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2011年4月～2011年5月）	H23. 5. 31	松澤孝紀
15	（参考）四国の深部低周波微動活動状況（2011年4月～2011年5月）	H23. 5. 31	松澤孝紀

16	東北太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 5. 31	木村尚紀
17	2011年4月16日 茨城県南西部の地震	H23. 5. 31	木村尚紀
18	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 6. 27	齊藤竜彦・三好崇之
19	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 6. 27	木村尚紀
20	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 6. 27	島田誠一
21	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 6. 27	島田誠一
22	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 6. 27	松村正三
23	M9 地震後地殻変動から推定される東海の歪増加	H23. 6. 27	松村正三
24	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011年5月～2011年6月)	H23. 6. 27	松澤孝紀
25	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年5月～2011年6月)	H23. 6. 27	松澤孝紀
26	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 7. 25	齊藤竜彦・三好崇之
27	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 7. 25	木村尚紀
28	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 7. 25	島田誠一
29	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 7. 25	島田誠一
30	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 7. 25	松村正三
31	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011 年 6 月～2011 年 7 月)	H23. 7. 25	松澤孝紀
32	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年6月～2011年7月)	H23. 7. 25	松澤孝紀
33	紀伊半島北部の短期的スロースリップ活動状況 (2011 年 6 月)	H23. 7. 25	木村尚紀
34	2011年7月伊豆半島沖の地震・火山活動に伴う傾斜変化	H23. 7. 25	木村尚紀・武田哲也
35	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 8. 31	齊藤竜彦・三好崇之
36	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 8. 31	木村尚紀
37	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 8. 31	島田誠一
38	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 8. 31	島田誠一
39	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 8. 31	松村正三
40	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011 年 7 月～2011 年 8 月)	H23. 8. 31	松澤孝紀
41	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年7月～2011年8月)	H23. 8. 31	松澤孝紀
42	東海地域の短期的スロースリップイベント活動状況 (2011年7月)	H23. 8. 31	廣瀬仁
43	2011年8月1日駿河湾南部の地震	H23. 8. 31	松原誠
44	2011年8月12日に発生した温州灘の地震 (Mw5.0)	H23. 8. 31	上野友岳
45	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 9. 26	齊藤竜彦・三好崇之
46	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 9. 26	木村尚紀
47	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 9. 26	島田誠一
48	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 9. 26	島田誠一
49	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 9. 26	松村正三
50	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011年8月～2011年9月)	H23. 9. 26	松澤孝紀
51	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年8月～2011年9月)	H23. 9. 26	松澤孝紀
52	紀伊半島の短期的スロースリップイベント活動状況 (2011年9月)	H23. 9. 26	廣瀬仁
53	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 10. 24	齊藤竜彦・三好崇之
54	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 10. 24	木村尚紀
55	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 10. 24	島田誠一
56	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 10. 24	島田誠一
57	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 10. 24	松村正三
58	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011年9月～2011年10月)	H23. 10. 24	松澤孝紀
59	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年9月～2011年10月)	H23. 10. 24	松澤孝紀

60	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 11. 21	齊藤竜彦・三好崇之
61	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 11. 21	木村尚紀
62	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 11. 21	島田誠一
63	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 11. 21	島田誠一
64	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 11. 21	松村正三
65	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011 年 10 月～2011 年 11 月)	H23. 11. 21	松澤孝紀
66	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年10月～2011年11月)	H23. 11. 21	松澤孝紀
67	房総半島沖スロースリップイベント (2011年10月) (その1)(その2)	H23. 11. 21	木村尚紀・廣瀬仁
68	関東・東海地域における最近の地震活動	H23. 12. 19	齊藤竜彦・三好崇之
69	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 12. 19	木村尚紀
70	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H23. 12. 19	島田誠一
71	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H23. 12. 19	島田誠一
72	東海地域推定固着域における地震活動変化	H23. 12. 19	松村正三
73	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011年11月)	H23. 12. 19	松澤孝紀
74	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年11月～2011年12月)	H23. 12. 19	松澤孝紀
75	関東・東海地域における最近の地震活動	H24. 1. 23	齊藤竜彦・三好崇之
76	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H24. 1. 23	木村尚紀
77	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H24. 1. 23	島田誠一
78	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H24. 1. 23	島田誠一
79	東海地域推定固着域における地震活動変化	H24. 1. 23	松村正三
80	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2011年12月～2012年1月)	H24. 1. 23	松澤孝紀
81	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2011年12月～2012年1月)	H24. 1. 23	松澤孝紀
82	紀伊半島北部の短期的スロースリップ活動状況 (2011 年 12 月)	H24. 1. 23	木村尚紀
83	関東・東海地域における最近の地震活動	H24. 2. 27	齊藤竜彦・三好崇之
84	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H24. 2. 27	木村尚紀
85	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研のGPS観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H24. 2. 27	島田誠一
86	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H24. 2. 27	島田誠一
87	東海地域推定固着域における地震活動変化	H24. 2. 27	松村正三
88	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2012 年 1 月～2 月)	H24. 2. 27	松澤孝紀
89	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2012 年 1 月～2 月)	H24. 2. 27	松澤孝紀
90	2012 年 1 月 28 日山梨県東部の地震	H24. 2. 27	武田哲也
91	関東・東海地域における最近の地震活動	H24. 3. 26	齊藤竜彦・三好崇之
92	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H24. 3. 26	木村尚紀
93	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の GPS 観測網による地殻変動観測 (座標基準点: IGS USUD)	H24. 3. 26	島田誠一
94	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測(座標基準点: IGS USUD)	H24. 3. 26	島田誠一
95	東海地域推定固着域における地震活動変化	H24. 3. 26	松村正三
96	紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2012 年 2 月～3 月)	H24. 3. 26	松澤孝紀
97	(参考) 四国の深部低周波微動活動状況 (2012 年 2 月～3 月)	H24. 3. 26	松澤孝紀

<地震予知連絡会>

	資料名	提出年月日	担当者
1	強震記録を用いた平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の震源過程	H23. 4. 26	鈴木亘・青井真

	資料名	提出年月日	担当者
2	2011年東北地方太平洋沖地震の津波波源	H23. 4. 26	齊藤竜彦
3	GAMITプログラムによるGEONET・IGS観測点の東北地方太平洋沖地震の地震時変動	H23. 4. 26	島田誠一
4	SAR干涉解析による東北地方太平洋沖地震に関する地殻変動	H23. 4. 26	小澤拓
5	2011 年東北地方太平洋沖地震前の傾斜記録	H23. 4. 26	廣瀬仁
6	前震・余震のセントロイド・モーメントテンソル (CMT) 解析結果	H23. 4. 26	浅野陽一
7	2011年3月12日長野県・新潟県県境付近の地震	H23. 4. 26	武田哲也
8	2011年3月15日静岡県東部の地震	H23. 4. 26	武田哲也
9	東北地方太平洋沖地震以降の茨城県北部・福島県東部の地震活動	H23. 4. 26	木村尚紀
10	東北地方太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 4. 26	木村尚紀
11	2011 年 3 月 11 日以降の東京湾の地震活動	H23. 4. 26	木村尚紀
12	東北地方太平洋沖地震以降の関東地方の相似地震活動	H23. 4. 26	木村尚紀
13	2011 年 4 月 7 日に発生した宮城県沖の地震	H23. 4. 26	上野友岳・木村武志
14	東北地方太平洋沖地震以降の銚子付近の地震活動	H23. 6. 13	木村尚紀
15	東北地方太平洋沖地震以降の関東地方の相似地震活動	H23. 6. 13	木村尚紀
16	2011年4月16日 茨城県南西部の地震	H23. 6. 13	木村尚紀
17	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測	H23. 6. 13	島田誠一
18	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 6. 13	木村尚紀
19	伊豆地域・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の G P S 観測網による地殻変動観測	H23. 6. 13	島田誠一
20	伊豆地域・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の G P S 観測網による地殻変動観測	H23. 6. 13	浅野陽一
21	西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況(2011 年 2 月～5 月)	H23. 6. 13	松澤孝紀・廣瀬仁・木村尚紀・木村武志・田中佐千子
22	強震記録を用いた平成 23 年(2011 年) 東北地方太平洋沖地震の震源過程	H23. 6. 13	鈴木亘・青井真
23	S A R 干涉解析による東北地方太平洋沖地震に関する地殻変動	H23. 6. 13	小澤拓
24	GEONET・IGS 観測点の 2011 年東北地方太平洋沖地震後 30 日間の余効変位	H23. 6. 13	島田誠一
25	平成 23 年(2011 年) 東北地方太平洋沖地震による東海地震想定震源域におけるクーロン応力変化	H23. 6. 13	エネスクボグダン・青井真・鈴木亘・汐見勝彦・武田哲也・遠田晋次(京大)・小原一成(東大)
26	関東地方のGEONET観測網による地殻変動観測	H23. 8. 22	島田誠一
27	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 8. 22	木村尚紀
28	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の GPS 観測網による地殻変動観測	H23. 8. 22	島田誠一
29	日本周辺における浅部超低周波地震活動 (2011 年 6 月～7 月)	H23. 8. 22	浅野陽一
30	西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況(2011 年 6 月～8 月)	H23. 8. 22	松澤孝紀・廣瀬仁・木村尚紀・木村武志・田中佐千子
31	2011 年 6 月 30 日長野県中部の地震	H23. 8. 22	武田哲也
32	2011 年 7 月伊豆半島東方沖の地震活動	H23. 8. 22	武田哲也
33	2011 年 8 月 1 日駿河湾南部の地震	H23. 8. 22	松原誠
34	2011 年 7 月 5 日和歌山県中部の地震	H23. 8. 22	松原誠
35	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測	H23. 11. 18	島田誠一
36	房総半島沖スロースリップイベント(2011 年 10 月)	H23. 11. 18	木村尚紀・廣瀬仁
37	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H23. 11. 18	木村尚紀
38	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の GPS 観測網による地殻変動観測	H23. 11. 18	島田誠一

	資料名	提出年月日	担当者
39	日本周辺における浅部超低周波地震活動(2011年8月～10月)	H23.11.18	浅野陽一
40	西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況	H23.11.18	松澤孝紀・廣瀬仁・木村尚紀・ 木村武志・田中佐千子
41	2011年10月5日飛騨山脈の地震	H23.11.18	武田哲也
42	関東地方の GEONET 観測網による地殻変動観測	H24.2.17	島田誠一
43	関東・東海地域における最近の傾斜変動	H24.2.17	木村尚紀
44	伊豆地方・駿河湾西岸域の国土地理院・防災科研の GPS 観測網による地殻変動観測	H24.2.17	島田誠一
45	日本周辺における浅部超低周波地震活動(2011年11月～12月)	H24.2.17	浅野陽一
46	西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況(2011年11月～2012年1月)	H24.2.17	松澤孝紀・廣瀬仁・木村尚紀・ 木村武志・田中佐千子
47	2012年1月28日山梨県東部の地震	H24.2.17	武田哲也
48	2012年2月8日佐渡島近海の地震	H24.2.17	武田哲也

<火山噴火予知連絡会>

	資料名等	提出年月日	担当者
1	霧島山の火山活動について	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
2	霧島山周辺の地殻変動	H23.6.7	河野裕希、上田英樹、棚田俊收、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
3	InSAR時系列解析による霧島山周辺の地殻変動	H23.6.7	小澤拓
4	2011年新燃岳噴火で発生した火砕流 ～無人ヘリコプターによる確認～	H23.6.7	東京大学地震研究所、鶴川元雄
5	阿蘇山の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
6	有珠山の火山活動について	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
7	岩手山の火山活動について	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
8	那須岳の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
9	浅間山	H23.6.7	東京大学地震研究所、防災科学技術研究所
10	浅間山の火山活動について	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
11	浅間山周辺の地殻変動	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
12	富士山の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
13	富士山のGPS観測結果	H23.6.7	島田誠一
14	伊豆大島の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
15	三宅島の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
16	硫黄島の火山活動について（2011年1月～2011年5月）	H23.6.7	棚田俊收、河野裕希、上田英樹、 藤田英輔、長井雅史、鶴川元雄
17	霧島山の火山活動について	H23.10.11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、

	資料名等	提出年月日	担当者
			長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
18	霧島山周辺の地殻変動（噴火後）	H23. 10. 11	河野裕希、棚田俊收、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
19	霧島山変動源 モデル計算	H23. 10. 11	河野裕希、棚田俊收、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
20	阿蘇山の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
21	有珠山の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
22	岩手山の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
23	浅間山の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
24	那須岳の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
25	富士山の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
26	富士山の GPS 観測結果	H23. 10. 11	島田誠一
27	伊豆大島の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
28	伊豆東部火山群の火山活動について	H23. 10. 11	河野裕希、棚田俊收、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
29	三宅島の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
30	硫黄島の火山活動について	H23. 10. 11	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
31	硫黄島の地殻変動測量結果	H23. 10. 11	棚田俊收、上田英樹
32	V-net データ公開の準備状況について	H23. 10. 11	河野裕希、棚田俊收
33	霧島山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
34	霧島火山群新燃岳 2011 年 1 月 26 日～27 日噴火における噴煙高度と噴出率について	H24. 2. 29	東京大学地震研究所、長井雅史
35	霧島火山群新燃岳 2011 年 2 月 1 日ブルカノ式噴火における弾道放出物	H24. 2. 29	東京大学地震研究所、長井雅史
36	霧島山変動源 モデル計算	H24. 2. 29	国土地理院、気象庁、防災科学術 研究所
37	TerraSAR-(DLR)による新燃岳モニタリング(2011 年 10 月～2012 年 1 月)	H24. 2. 29	JAXA、宮城洋介
38	COSMO-SkyMed (ASI)による桜島のモニタリング (2011 年 1 月～2012 年 1 月)	H24. 2. 29	JAXA、宮城洋介
39	霧島山に関する RADARSAT-2/InSAR 解析結果	H24. 2. 29	小澤拓
40	阿蘇山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
41	有珠山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
42	岩手山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
43	那須岳の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹

	資料名等	提出年月日	担当者
44	浅間山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
45	富士山の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
46	富士山の GPS 観測結果	H24. 2. 29	島田誠一
47	富士山周辺湧水の酸素・水素同位体比	H24. 2. 29	吉田則夫
48	伊豆大島の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
49	三宅島の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
50	硫黄島の火山活動について	H24. 2. 29	棚田俊收、河野裕希、藤田英輔、 長井雅史、鶴川元雄、上田英樹
51	硫黄島 2012 年 2 月の噴泥イベントの噴出物に含まれる粒子について（速報）	H24. 2. 29	長井雅史

<国や地方公共団体への情報提供>

	資料名（提出年月日）	貢献先	担当者
1	木造住宅 ー伝統構法ー（2005年11月）実験映像	神奈川県南足柄市役所 他 1 件	中村 いずみ
2	木造住宅 ー在来軸組構法ー（2005 年 11 月）実験映像	山梨県県土整備部建築住宅課 他 16 件	中村 いずみ
3	6 階建て鉄筋コンクリート造建物（2006 年 1 月）実験映像	大阪市都島区役所市民協働課 他 1 件	松森 泰造
4	液状化による側方流動 ー矢板護岸ー（2006 年 3 月）実験映像	神奈川県南足柄市役所	河又 洋介
5	地盤ー杭基礎 ー液状化地盤ー（2006 年 8 月）実験映像	神奈川県南足柄市役所	河又 洋介
6	木造住宅 ー伝統構法(2)ー（2007 年 2 月）実験映像	東広島市都市部建築指導課	中村 いずみ
	木造住宅 ー在来軸組構法(2)ー（2007 年 2 月）実験映像	横浜市消防局泉消防署 他 5 件	中村 いずみ
7	超高層建物における非構造家具什器等（2007 年 3 月）実験映像	大阪市都島区役所市民協働課 他 1 件	長江 拓也
8	超高層建物のオフィス空間（2008 年 1 月）実験映像	東京都教育庁地域教育支援部 他 8 件	長江 拓也
9	高層鋼構造建物（2008 年 3 月）実験映像	東京都港区役所防災課 他 1 件	長江 拓也
10	鉄筋コンクリート橋脚 ー1970 年代建設（段落とし配筋）ー（2008 年 10 月）実験映像	国土交通省関東地方整備局営繕部整備課 他 2 件	佐々木 智大
11	伝統的木造軸組構法住宅（2008 年 11, 12 月）実験映像	東広島市都市部建築指導課	井上 貴仁
12	高層鋼構造建物 ーダンパー補強ー（2009 年 9 月）実験映像	福知山市消防本部 他 3 件	長江 拓也
13	3 階建て木造軸組構法住宅（2009 年 10 月）実験映像	三次市建築住宅課 他 4 件	井上 貴仁
14	実験映像 DVD「大地震、そのとき病院よ」	門司消防署老松分署 他 7 件	佐藤 栄児
15	積雪気象観測ネットワーク（西山薬師 他）の積雪深等データ（毎正時値） [2011～2012 の消雪まで]	新潟県地方気象台	山口 悟
16	国道 112 号月山付近の雪氷災害予測システムによる雪崩発生予測結果 [2011. 12. 28～2012. 1. 4]	国土交通省山形河川国道事務所	上石 勲
17	積雪変質モデルによる底面流出量予測データならびに現地積雪水量データ [2012. 3. 15～30]	新潟県上越地域振興局 上越国川地すべり現地対策事務所	上石 勲
18	HP で公開されている積雪気象観測ネットワークの積雪深、積雪重量、積雪密度 （日毎の値）[2011. 12. 1～現在まで]	国土交通省北陸地方整備局 国営越後丘陵公園事務所長	山口 悟
19	山形県における屋根雪関連事故のデータ（11 月 8 日）	やまがたゆきみらい推進機構	阿部 修
20	積雪・気象観測データ（月山姥沢、月山志津、肘折塩台）（1 月 18 日）	国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所	小杉健二
21	新庄支所の積雪深データ [2011～2012 の消雪まで]	雪の里情報館	小杉健二
22	MP レーダ降雨強度、風向・風速(H22. 7. 1～H23. 3. 31)	東京消防庁	前坂 剛

<大学・研究機関への情報提供>

	資料名（提出年月日）	貢献先	担当者
1	木造住宅 ー伝統構法ー（2005 年 11 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	中村 いづみ
2	木造住宅 ー在来軸組構法ー（2005 年 11 月）実験映像	災害リスク評価研究所 他 5 件	中村 いづみ
3	6 階建て鉄筋コンクリート造建物（2006 年 1 月）実験映像	京都大学工学研究科	松森 泰造
4	地盤ー杭基礎 ー乾燥砂ー（2006 年 2 月）実験映像	京都大学工学研究科	河又 洋介
5	液状化による側方流動 ー矢板護岸ー（2006 年 3 月）実験映像	京都大学工学研究科	河又 洋介
6	地盤ー杭基礎 ー液状化地盤ー（2006 年 8 月）実験映像	京都大学工学研究科	河又 洋介
7	3 階建て鉄筋コンクリート造学校建物（2006 年 9, 10 月）実験映像	災害リスク評価研究所 他 1 件	松森 泰造
8	液状化による側方流動 ーケーソン護岸ー（2006 年 12 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	河又 洋介
9	木造住宅 ー伝統構法(2)ー（2007 年 2 月）実験映像	災害リスク評価研究所 他 1 件	中村 いづみ
10	木造住宅 ー在来軸組構法(2)ー（2007 年 2 月）実験映像	(株)プロタイムズ総合研究所 他 3 件	中村 いづみ
11	超高層建物における非構造家具什器等（2007 年 3 月）実験映像	大阪工業大学 他 2 件	長江 拓也
12	4 階建て鋼構造建物（2007 年 9 月）実験映像	京都大学工学研究科	梶原 浩一
13	7 階建て Lam 木質パネル建物（日伊共同研究）（2007 年 10 月）実験映像	京都大学工学研究科	中村 いづみ
14	鉄筋コンクリート橋脚 ー1970 年代建設ー（2007 年 12 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	佐々木 智大
15	超高層建物のオフィス空間（2008 年 1 月）実験映像	学校法人国士舘 総務部総務課 他 3 件	長江 拓也
16	高層鋼構造建物（2008 年 3 月）実験映像	京都大学工学研究科	長江 拓也
17	鉄筋コンクリート橋脚 ー現在の技術基準ー（2008 年 8, 9 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	佐々木 智大
18	鉄筋コンクリート橋脚 ー1970 年代建設（段落とし配筋）ー（2008 年 10 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	佐々木 智大
19	伝統的木造軸組構法住宅（2008 年 11, 12 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	井上 貴仁
20	重要施設（病院）の機能保持（2008 年 12 月, 2009 年 1 月）実験映像	神戸大学 都市安全研究センター 他 6 件	佐藤 栄児
21	5 階建て鋼構造建物 ー制振構造ー（2009 年 3 月）実験映像	京都大学工学研究科	梶原 浩一
22	鋼構造ロッキングフレーム（日米共同研究）（2009 年 8 月）実験映像	京都大学工学研究科	梶原 浩一
23	高層鋼構造建物 ーダンパー補強ー（2009 年 9 月）実験映像	東京工科大学医療保健学部 他 1 件	長江 拓也
24	7 階建て木造建物（日米共同研究）（2009 年 7 月）実験映像	京都大学工学研究科	中村 いづみ
25	3 階建て木造軸組構法住宅（2009 年 10 月）実験映像	公益財団法人 深田地質研究所 他 4 件	井上 貴仁
26	鉄筋コンクリート橋脚 ー次世代型ー（2010 年 2, 3 月）実験映像	京都大学工学研究科 他 1 件	佐々木 智大
27	4 階建てコンクリート系建物（2010 年 12 月）実験映像	公益財団法人 深田地質研究所 他 1 件	長江 拓也
28	実験映像 DVD「大地震、そのとき病院は」	(独) 土木研究所 総務部総務課 他 10 件	佐藤 栄児
29	気象観測データ[2011. 4. 1～2012. 3. 31]	新潟県農業総合研究所	山口 悟
30	HPで公開されている積雪気象観測ネットワークの積雪深、積雪重量、積雪密度（日毎の値）[2008 年 1. 1～観測開始から～現在まで]	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター	山口 悟
31	積雪・気象観測データ（月山姥沢、月山志津）（10 月 5 日）	(財) 砂防・地すべり技術センター	根本征樹

<その他への情報提供>

	資料名（提出年月日）	貢献先	担当者
1	木造住宅 ー伝統構法ー（2005 年 11 月）実験映像	(株)テレビ朝日 報道局情報センター 他 14 件	中村 いづみ
2	木造住宅 ー在来軸組構法ー（2005 年 11 月）実験映像	中京テレビ報道部 他 56 件	中村 いづみ
3	6 階建て鉄筋コンクリート造建物（2006 年 1 月）実験映像	テレビ朝日「報道ステーション」 他 7 件	松森 泰造

4	地盤－杭基礎－乾燥砂－（2006年2月）実験映像	全労済 熊本県本部 他1件	河又 洋介
5	液状化による側方流動－矢板護岸－（2006年3月）実験映像	テレビ朝日 ワイドスクランブル 他3件	河又 洋介
6	地盤－杭基礎－液状化地盤－（2006年8月）実験映像	四国放送 他2件	河又 洋介
7	3階建て鉄筋コンクリート造学校建物（2006年9, 10月）実験映像	凸版印刷株式会社 製造統括本部 他4件	松森 泰造
8	液状化による側方流動－ケーソン護岸－（2006年12月）実験映像	四国放送 他3件	河又 洋介
9	木造住宅－伝統構法(2)－（2007年2月）実験映像	NHK名古屋放送局報道番組 他14件	中村 いずみ
10	木造住宅－在来軸組構法(2)－（2007年2月）実験映像	NPO法人住まいの安全と防犯の会 他23件	中村 いずみ
11	超高層建物における非構造家具什器等（2007年3月）実験映像	日本テレビ「Z I P！」 他15件	長江 拓也
12	4階建て鋼構造建物（2007年9月）実験映像	安藤建設（株） 他6件	梶原 浩一
13	7階建てLam木質パネル建物（日伊共同研究）（2007年10月）実験映像	全労済 熊本県本部 他1件	
14	鉄筋コンクリート橋脚－1970年代建設－（2007年12月）実験映像	TBSテレビ「ひるおび！」 他7件	佐々木 智大
15	超高層建物のオフィス空間（2008年1月）実験映像	テレビ朝日やじうまテレビ 他76件	長江 拓也
16	高層鋼構造建物（2008年3月）実験映像	デジタル報道局「ニュースJAPAN」 他7件	長江 拓也
17	鉄筋コンクリート橋脚－現在の技術基準－（2008年8, 9月）	株式会社 風来堂 他6件	佐々木 智大
18	鉄筋コンクリート橋脚－1970年代建設（段落とし配筋）－（2008年10月）実験映像	株式会社イースト・エンタテインメント 他12件	佐々木 智大
19	伝統的木造軸組構法住宅（2008年11, 12月）実験映像	有限会社松下住建設計 他7件	井上 貴仁
20	重要施設（病院）の機能保持（2008年12月, 2009年1月）実験映像	三菱重工業（株）下関造船所 他21件	佐藤 栄児
21	5階建て鋼構造建物－制振構造－（2009年3月）実験映像	三菱マテリアル（株） 他3件	梶原 浩一
22	7階建て木造建物（日米共同研究）（2009年7月）実験映像	凸版印刷株式会社 製造統括本部 他4件	中村 いずみ
23	鋼構造ロッキングフレーム（日米共同研究）（2009年8月）実験映像	（社）神奈川県経営診断協会	梶原 浩一
24	高層鋼構造建物－ダンパー補強－（2009年9月）実験映像	テルモ（株）技術センター 他26件	長江 拓也
25	3階建て木造軸組構法住宅（2009年10月）実験映像	パナホーム（株）戸建商品開発部 他14件	井上 貴仁
26	鉄筋コンクリート橋脚－次世代型－（2010年2, 3月）実験映像	TBSテレビ「ひるおび！」 他3件	佐々木 智大
27	4階建てコンクリート系建物（2010年12月）実験映像	株式会社DNPファシリティサービス 他4件	長江 拓也
28	巨大地震による高層建物の揺れと室内被害に関する震動台実験（2011年10月7日）公開実験映像	NHK大阪放送局報道部 他1件	吉澤 睦博
29	実験映像DVD「大地震、そのとき病院は」	オリンパスメディカルシステムズ（株） 他349件	佐藤 栄児
30	雪の結晶写真（11. 24）	秋田朝日放送（株）	佐藤 威

Ⅱ.3. 社会への情報発信

Ⅱ.3.(1) 記者発表 (48 件)

発表日	件名	掲載・放送
H23. 4. 1	独立行政法人防災科学技術研究所役員人事	
H23. 4. 6	緊急報告会(東日本大震災への対応)の開催	4/18日本経済新聞(東京・大阪)、4/20毎日新聞(茨城)
H23. 4. 14	日本地理学会災害対応本部がeコミマップを用いて津波被災マップを公開	4/28朝日新聞(東京・大阪)
H23. 5. 27	「2011年度 防災コンテスト」を開催～地域の絆と知恵を活かしたe防災マップ作りと防災ラジオドラマづくりの2つの防災コンテストを実施します～	
H23. 6. 16	シンポジウム「巨大災害のリスクガバナンス」を開催～東日本大震災の応急対応から復旧・復興を公共政策の視点から考える～	
H23. 6. 21	「日本列島の今の揺れ(強震モニタ)をクラウド発信	
H23. 7. 26	シンポジウム「大震災被災地の過去、現在、未来の記録と活用—311まるとアーカイブスについて」を開催	7/28毎日新聞(夕刊)、8/1フジサンケイビジネスi
H23. 8. 2	E-ディフェンスを用いた実大5層鉄骨造建物による免震技術の評価実験(日米共同研究)	8/19読売新聞(東京・大阪)・朝日新聞(大阪)・日本経済新聞(東京・大阪)・神戸新聞・静岡新聞・茨城新聞
H23. 8. 26	大船渡市で「復興情報杭」の建立式を開催	8/31読売新聞
H23. 9. 6	日本列島三次元地震波速度構造(海域拡大版)の公開	
H23. 9. 6	災害とガバナンスをテーマにした2つのワークショップを日本計画行政学会全国大会にて開催	
H23. 9. 12	最新のシミュレーションによって東京湾および伊勢湾で起こり得る最大級の高潮・高波を科学的に予測	9/13朝日新聞(東京・大阪)・毎日新聞・中日新聞、9/15読売新聞・
H23. 9. 12	台風12号の土砂災害域からの地震波を観測	
H23. 9. 28	E-ディフェンスを用いた首都圏を襲う巨大地震による高層建物の揺れと室内被害に関する震動台実験を実施	10/8神戸新聞・日本経済新聞(東京・大阪)、10/18産経新聞(兵庫)
H23. 9. 28	シンポジウム「東日本大震災の記録とその活用～311まるとアーカイブスの目指すもの～」を開催	10/3日刊工業新聞、10/31日本経済新聞(東京・大阪)
H23. 9. 29	位置情報で災害危険度を表示・防災情報を閲覧投稿する防災ソーシャルモバイルアプリケーションの開発	
H23. 9. 29	第9回環境研究シンポジウム わたしたちのくらしと「水」を考える～「水」の一生を辿る～の開催について(お知らせ)	
H23. 10. 13	火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2011—リアルタイム火山災害評価と行政対応—	
H23. 10. 31	房総半島沖で「スロー地震」再来	11/1朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・神奈川新聞・茨城新聞・東京新聞、3/3毎日新聞
H23. 12. 14	「防災マルチプル電子図鑑」制作発表会の開催	12/16読売新聞、2/29毎日新聞
H23. 12. 20	大船渡市に復興地図センターを開設	
H23. 12. 20	太陽電池パネル上の雪の滑走実験を実施	
H24. 1. 13	「第2回e防災マップコンテスト」審査結果を発表	

H24. 1. 24	地震・津波災害軽減国際シンポジウム ー東日本大震災の経験を世界で共有するためにー	
H24. 1. 26	気象庁および(独)防災科学技術研究所の 火山観測データの流通・ホームページ公開について	
H24. 2. 10	Eーディフェンスを用いた耐震工学研究： 地盤・地下構造物実験研究	2/29神戸新聞・産経新聞（大阪）・朝日新聞 （大阪）、3/21読売新聞（兵庫）
H24. 2. 10	「第2回防災ラジオドラマコンテスト」審査結果を発表	2/15常陽新聞
H24. 2. 20	「積雪断面観測講習会」を開催	2/26毎日新聞（新潟）
H24. 2. 20	玉川温泉で発生した雪崩災害の調査・解析速報	2/20毎日新聞（夕刊）
H24. 2. 27	第2回防災コンテスト表彰式・シンポジウムを開催～東日本大震災の経験を踏まえた地域の絆づくりと防災力の向上を考える～	
H24. 3. 5	「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト最終成果報告会」事前説明会・開催案内	3/9読売新聞（東京・大阪）・朝日新聞（東京・大阪）
H24. 3. 14	シンポジウム「東日本大震災を踏まえたリスク社会のイノベーション」を開催ー情報共有に基づく新たな公民協働ー	
H24. 3. 15	積雪・気象観測ネットワーク（SW-Net）のデータを用いた積雪重量変化の公開を始めました	3/16毎日新聞（新潟）・日経産業新聞・神戸新聞
H24. 3. 29	日本海溝海底地震津波観測網の整備事業を開始	3/30朝日新聞・新潟新聞

Ⅱ.3.(2) 刊行物等

防災科学技術研究所ニュース

昭和 62 年 1 月 10 日付から発行を始めた本ニュースは、本年度も発行を続けた。内容は防災科学技術研究所のトピック、最新の研究についてなど話題性を考慮した上で、一般の人に分かりやすく構成している。なお、平成 23 年度に発行した各号に掲載の主な内容は、次のとおりである。

第 175 号（東日本大震災） 平成 24 年 1 月 31 日発行

- ・強震観測網が捉えた東日本大震災の強震動 青井 真
- ・高感度地震観測網で捉えた東日本大震災 廣瀬 仁・汐見 勝彦・浅野 陽一・齊藤 竜彦・木村 尚紀・上野 友岳
- ・東日本大震災による沿岸域での被害状況 下川 信也・飯塚 聡・村上 智一・栢原 孝浩・酒井 直樹・納口 恭明
- ・フィリピン人津波被害者ビデオインタビュー 井上 公
- ・東北地方太平洋沖地震における液状化被害 先名 重樹・長谷川 信介・前田 宜浩・河合 伸一・内藤 昌平・岩城 麻子・はお憲生・森川 信之・東 宏樹
- ・東日本大震災による土砂災害の被害と特徴 井口 隆・土志田 正二・内山 庄一郎
- ・長野県北部地震と平成23年豪雪による複合災害発生状況 上石 勲・本吉 弘岐・石坂 雅昭
- ・霧島山新燃岳噴火に関する緊急調査研究 鶴川 元雄
- ・2011年台風12号災害 三隅 良平・土志田 正二
- ・第 7 回成果発表会「防災研究 5 年間の総括」を開催
- ・和達記念ホールで「緊急報告会 ―東日本大震災への対応―」を開催
- ・第 5 回シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築」
- ・第 15 回「自治体総合フェア」に出展
- ・真夏の防災教育を実施 サマー・サイエンスキャンプとつくばちびっ子博士
- ・雪氷防災研究センターと新庄支所の一般公開
- ・2011 年雪氷防災研究講演会―平成 23 年の豪雪を振り返る―
- ・齊藤研究員が日本地震学会若手学術奨励賞を受賞
- ・清水文健客員研究員が平成 23 年度社団法人日本地すべり学会谷口賞を受賞
- ・「国道 112 号雪崩災害対策への功績」による東北地方整備局災害対策功労者表彰を受賞
- ・「社会防災システム研究領域の田口研究員らが応用測量論文奨励賞を受賞」
- ・佐藤雪氷防災研究センター長が日本雪氷学会学術賞を受賞
- ・災害リスク研究ユニットの開発チームが「e コミュニティ・プラットフォーム」の開発で地理情報システム学会賞を受賞

第 176 号（春） 平成 24 年 3 月 30 日発行

- ・第 3 期中期計画のスタートにあたって 岡田 義光
- ・基盤的な高精度地震火山観測研究 関口 渉次
- ・地殻活動の予測技術の向上にむけて 熊谷 博之
- ・火山活動の観測予測技術開発 棚田 俊収
- ・都市圏における複合水災害の発生予測に関する研究 岩波 越
- ・高度降積雪情報に基づく雪氷災害軽減研究 中井 專人
- ・実大三次元振動破壊実験施設を活用した社会基盤研究 梶原 浩一
- ・災害リスク情報に基づく社会防災システム研究 藤原 広行
- ・玉川温泉の雪崩災害と「こしもざらめ雪」 阿部 修
- ・火山災害軽減の方策に関する国際ワークショップ 2011
- ・岩手県八幡平市で積雪観測講習会を実施
- ・防災研究フォーラム「東日本大震災から学ぶ」で第 10 回シンポジウム
- ・パシフィコ横浜で開催された第 16 回震災対策技術展に出展
- ・「東日本大震災における災害支援活動への功績」により宮城県社会福祉協議会会長表彰を受賞
- ・「マルチパラメータレーダによる降雨量推定手法の開発」で第 21 回つくば奨励賞を受賞
- ・阿部雪氷防災研究センター新庄支所長が「平成 23 年度雪崩災害防止功労表彰」を受賞

パンフレット類

- ・要覧（和英並記）
- ・大型耐震実験施設
- ・地すべり地形分布図
- ・雪氷防災研究センター要覧
- ・EDM 要覧（和英）
- ・一般向け要覧簡易版
- ・大地震の時の心得
- ・大型降雨実験施設
- ・雪氷防災実験棟
- ・地震観測網
- ・台風や大雨に備えて
- ・実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）
- ・感性でとらえる地盤液状化のおもちゃエッキー

Ⅱ. 3(3) シンポジウム等の開催 21 件

件 名	開催時期	開催場所	参加者数
緊急報告会-東日本大震災への対応-	H23. 4. 17	防災科学技術研究所	254
深田研究所ジオフォーラム 2011 年度「防災科研の巨大床地図で見る「日本の山地地形」ー地すべり地形と火山地形を中心にー」	H23. 6. 25	防災科学技術研究所	50
巨大災害のリスクガバナンス～東日本大震災の応急対応から復旧・復興を公共政策の視点から考える～	H23. 6. 26	ホテルグランドヒル市ヶ谷	100
シンポジウム「東日本大震災の記録とその活用～311 まるごとアーカイブスの目指すもの～」	H23. 10. 8	遠野市民センター	150
シンポジウム 震災復興ー国の役割と地方の役割、公の役割と民の役割ー	H23. 10. 9	大船渡市リアスホール	70
第 13 回非静力学モデルに関するワークショップ	H23. 10. 13～14	長岡技術科学大学	71
火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2011-リアルタイム火山災害評価と行政対応-	H23. 11. 2、4	山梨県環境科学研究所他	133
第 9 回環境研究シンポジウム わたしたちのくらしと「水」を考える～「水」の一生を辿る～	H23. 11. 8	学術総合センターー橋記念講堂	336
2011 年度雪氷防災研究講演会ー平成 23 年の豪雪を振り返るー	H23. 11. 9	(財)山形県生涯学習文化財団 遊学館	70
数値震動研究開発分科会成果発表会	H23. 11. 22	東京大学地震研究所	60
第 3 回 GIS Landslide 研究集会	H23. 11. 26	防災科学技術研究所	60
防災研究フォーラム第 10 回シンポジウム 地震・津波災害軽減のために～東日本大震災から学ぶ～	H24. 1. 28	東京大学福武ホール	145
第 11 回国土セイフティネットシンポジウム	H24. 2. 2	パシフィコ横浜	182
積雪断面観測講習会	H24. 2. 25	雪氷防災研究センター	19
第 3 回積雪モデルに関するワークショップ	H24. 2. 29	雪氷防災研究センター	34
第 2 回防災コンテスト表彰式・シンポジウム	H24. 3. 4	東京国際フォーラム	105
首都直下地震防災・減災特別プロジェクト最終成果報告会	H24. 3. 8	東京大学安田講堂	732
ワークショップ「降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究（第10回）」	H24. 3. 8-9	雪氷防災研究センター	40
地震・津波災害軽減国際シンポジウムー東日本大震災の教訓を世界で共有するためにー	H24. 3. 14-15	仙台国際センター	336
東日本大震災を踏まえたリスク社会のイノベーションー情報共有に基づく新たな公民協働ー	H24. 3. 17	東京国際フォーラム	105
第 4 回地学オリンピック大会本選「とっぷ・レクチャー」	H24. 3. 25	産業技術総合研究所	91

Ⅱ.3. (4) イベント・出展

○ 第51回科学技術週間一般公開

公開日	場所	公開内容	来訪人数
H23. 4. 22(金) H23. 4. 23(土)	雪氷防災研究センター	所要施設の公開、各研究内容の説明	262 名
H23. 8. 6(土)	雪氷防災研究センター 新庄支所	所要施設の公開、各研究内容の説明	223 名

○ 日本地球惑星科学連合 2011 大会・団体展示

- (1) 日時：平成 23 年 5 月 22 日-27 日
- (2) 会場：幕張メッセ国際会議場
- (3) 主催：日本地球惑星科学連合
- (4) 内容：地球惑星科学に関する研究者・学生の研究発表、情報交流の場としての学会。

当研究所からは地震・火山防災研究ユニット、災害リスク研究ユニット、兵庫耐震工学研究センター（Eーディフェンス）、自然災害情報室がそれぞれ出展し、ポスター展示やモニタを使用したデモンストレーション等を行った。また各種パンフレットの配布も実施した。東北地方太平洋沖地震をうけ、関連する資料も展示した。

○ 第5回「地域防災防犯展」大阪

- (1) 日時：平成 23 年 6 月 9 日-10 日
- (2) 会場：インテックス大阪
- (3) 主催：社団法人大阪国際見本市委員会

内容：防災防犯に対する意識向上並びに啓発活動を強く推し進めていくための西日本唯一の技術見本とシンポジウム。2 小間出展し、ポスター展示や大型モニタを使用してデモンストレーションを行った。地震ハザードステーション J-SHIS、統合化地下構造データベース「ジオステーション」、リアルタイム地震情報の高度化に関する研究の紹介を行った。

○ 自治体総合フェア 2011

- (1) 日時：平成 23 年 7 月 13 日-15 日
- (2) 会場：東京ビッグサイト
- (3) 主催：一般社団法人日本経営協会
- (4) 内容：「明日を支える公民連携～威力ある地域社会の実現～」をテーマにした展示会&カンファレンスで、当研究所は 2 小間を出展した。自治体カンファレンスセミナーにおいて当研究所の長坂主任研究員が「災害リスク情報プラットフォームを活用した被災地支援～東日本大震災における官民連携による災害情報の相互運用～」というテーマで講演した。展示コーナーでは、地震ハザードステーション J-SHIS、統合化地下構造データベース「ジオステーション」のデモンストレーションや防災コンテンツの概要や活用事例を紹介、各種パンフレットの配布を実施した。

○ サイエンスフェスタ in 秋葉原

- (1) 日時：平成 23 年 7 月 29 日-8 月 3 日
- (2) 会場：TX 秋葉原駅コンコース内イベント広場
- (3) 主催：首都圏新都市鉄道株式会社（つくばエクスプレス）
- (4) 内容：つくばエクスプレスのサイエンスきっぷPR イベント。東日本大震災の概要や研究所についてのポスターを展示した。またちびっこ博士についてのポスターも展示し広報活動を行った。

○ サマー・サイエンスキャンプ 2011

- (1) 日時：平成 23 年 8 月 1 日-3 日
- (2) 会場：（独）防災科学技術研究所
- (3) 主催：（独）科学技術振興機構
- (4) 内容：全国の高校生を対象に施設見学や自然災害の講義と実習を通して、創造性豊かな科学的素養の育成

や科学技術の振興を図るために行われている。今年度は被災地を含む全国各地から 20 名の高校生を受け入れ、3 日間のスケジュールで研究員による講義と実習、東日本大震災の特別講義などを実施した。

- (5) 講師：熊谷博之、山下太、浅野陽一、土志田正二、酒井直樹、石澤友浩、小園誠史、河野裕希、長井雅史、坪川博彰、鈴木真一、納口恭明

○ つくばちびっ子博士

- (1) 日時：平成 23 年 7 月 25 日、8 月 8 日、22 日、29 日
(2) 会場：(独) 防災科学技術研究所
(3) 主催：つくば市、つくば教育委員会
(4) 内容：つくば市の小学生を対象に実験教室や施設見学を通して、科学に対する関心を高め、夢と希望に満ちた未来力の育成をめざすスタンプラリーを兼ねた参加型イベント。当研究所では、Dr.ナダレンジャー（納口総括主任研究員）が自然災害科学実験教室を 4 日間計 8 回実施した。
(5) 参加者：1661 名

○ 震ヶ関・子ども見学デー

- (1) 日時：平成 23 年 8 月 17 日-18 日
(2) 会場：文部科学省
(3) 主催：文部科学省及び各省庁
(4) 内容：文部科学省をはじめとする府省庁などが連携し業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子ども達が夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、あわせて府省庁などに対する理解を深めてもらうことを目的とするイベント。当研究所では研究者による高潮実験、ゆらゆらやエッキーの実演を行い自然災害について分かりやすく説明するとともに、パンフレット配布を実施した。
(5) 対応：納口恭明、下川信也、栢原孝浩、村上智一、飯塚聡

○ 防災フェア 2011

- (1) 日時：平成 23 年 8 月 20 日-21 日
(2) 会場：東京臨海広域防災公園
(3) 主催：内閣府、防災推進協議会
(4) 内容：防災週間の主要行事として「もう『もしも』ではない～思いを備えにつなげよう～」をテーマに防災に関する展示や体験を通じ、災害時の心構えや日頃の備えなど、減災の重要性を広くアピールすることを目的としたイベント。当研究所では防災マップ作りや防災ラジオドラマの実演や、Dr.ナダレンジャーの実験教室を実施した。
(5) 対応：田口仁、岡田真也、坪川博彰、李泰榮、納口恭明

○ つくば科学フェスティバル

- (1) 日時：平成 23 年 11 月 12 日-13 日
(2) 会場：つくばカピオ
(3) 主催：つくば市、つくば市教育委員会、
(4) 内容：つくば市内の研究機関や高校・小中学校が参加し、国際科学技術最先端都市としての特性を活かし身近で楽しい科学イベントで、青少年に科学技術に対する夢や希望、必要性などの関心をあたえることを目的としている。Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室や竜巻実験を実施し、各種パンフレットの配布を実施した。
(5) 対応：納口恭明、鈴木真一、栢原孝浩

○ 第 9 回環境研究シンポジウム

- (1) 日時：平成 23 年 11 月 8 日
(2) 会場：学術総合センター 一橋記念講堂（講演）、中会議場（ポスター発表）
(3) 主催：環境研究機関連絡会
(4) 内容：環境研究に携わる国立及び独立行政法人の 13 研究機関が様々な環境研究の分野で提携し研究を推進することを目的にしている。平成 23 年度は『わたしたちのくらしと「水」を考える ～「水」の一生を辿る～』と題して、環境研究の最新の成果と、東日本大震災における各研究機関の取り組み状況を共有した。当

研究所からは、地震・火山防災研究ユニット、水・土砂防災研究ユニット、災害リスク研究ユニット、雪氷防災研究センター、アウトリーチ・国際研究推進センターアウトリーチグループより 8 枚のポスターを展示・紹介した。

○ 全国生涯学習ネットワークフォーラム 2011(まなびピア 2011)

- (1) 日時：平成 23 年 11 月 5 日-6 日
- (2) 会場：イイノホール&イイノカンファレンスセンター
- (3) 主催：全国生涯学習ネットワークフォーラム 2011 実行委員会
- (4) 内容：生涯学習に係わる活動の場を全国的な規模で提供することにより、広く国民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的としたイベント。Dr.ナダレンジャー（納口総括主任研究員）の自然災害科学実験教室や防災コンテストについてポスター展示と説明を実施した。文部科学大臣より感謝状を頂いた。

○ TX テクノロジー・ショーケース in つくば 2012

- (1) 日時：平成 24 年 1 月 13 日
- (2) 会場：つくば国際会議場
- (3) 主催：つくばサイエンス・アカデミー
- (4) 共催：茨城県、つくば市、防災科学技術研究所、科学技術振興機構、筑波大学 他
- (5) 内容：筑波研究学園都市の研究機関とともに、2002 年より研究展示会を行っており、筑波研究学園都市をはじめ首都圏で活躍する研究者・技術者が、最新の研究、成果、アイデア、技術を持ち寄り、相互に披露し、交流することを目的にした科学イベント。
本年度は、インデクシング・ポスター発表と広報展示コーナーに要覧、ポスターを展示。インデクシング・ポスター発表では、「高解像度気象変動シナリオを用いた大都市圏の風水害脆弱性評価」（太楽主任研究員）と「東日本大震災で発生した液状化現象の噴砂でつくるエッキー」（納口総括主任研究員）の 2 件を発表した。広報展示では防災科研の概要ポスターの展示やパンフレットの配布を実施した。

○ 第 16 回震災対策技術展／自然災害対策技術展・横浜

- (1) 日時：平成 23 年 2 月 2 日-3 日
- (2) 会場：パシフィコ横浜
- (3) 主催：「震災対策技術展」実行委員会
- (4) 内容：震災対策に焦点をあてた、世界で唯一の展示会として 1997 年以来、毎年継続開催している。広く防災に関する製品や情報伝達技術・サービスの提供の場として震災への備えの充実を通して、社会貢献に繋がることを目的とした展示会。
ポスター展示やデモンストレーションを行い、地震ハザードステーション J-SHIS、統合化地下構造データベース「ジオ・ステーション」、携帯端末に内蔵された加速度センサーを利用した地震計アプリケーションについて紹介した。

II.3. (5) 施設見学

場 所	国内		国外		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
本所	97	2551	23	234	120	2785
雪氷防災研究センター	11	98	1	3	12	99
新庄支所	30	258	3	10	33	268
兵庫耐震工学研究センター	193	4773	24	337	217	5110
合 計	331	7680	51	584	382	8262

Ⅱ. 3. (6)取材協力

取材日	対応者	取材機関	件名
H23. 8. 6	阿部 修	山形新聞社	新庄支所一般公開について
H23. 8. 6	阿部 修	YTS テレビ	新庄支所一般公開について
H23. 8. 6	阿部 修	NHK 山形放送局	新庄支所一般公開について
H23. 8. 6	阿部 修	山形放送（YBC）	新庄支所一般公開について
H23. 11. 21	阿部 修	NHK 山形放送局	太陽電池パネル上の雪の滑走性について
H23. 12. 23	阿部 修	さくらんぼテレビジョン	太陽電池パネルからの落雪について
H23. 12. 28	阿部 修	山形新聞社	太陽電池パネル上での雪の滑走実験について
H24. 1. 13	阿部 修	青森テレビ	屋根の雪庇について
H24. 1. 20	阿部 修	さくらんぼテレビジョン	積雪の荷重と災害について
H24. 1. 30	阿部 修	TBS テレビ	屋根雪下ろしの危険性について
H24. 2. 3	阿部 修	読売新聞	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 3	阿部 修	毎日新聞	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 3	阿部 修	秋田魁新報社	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 3	阿部 修	河北新報社	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 3	阿部 修	NHK 秋田放送局	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 3	阿部 修	秋田朝日放送	玉川温泉の雪崩災害について
H24. 2. 6	阿部 修	TBS テレビ	表層雪崩について
H24. 2. 6	阿部 修	YTS テレビ	屋根雪関連の事故防止について
H24. 2. 6	阿部 修	NHK 山形放送局	今後の雪氷関連の事故発生防止について
H24. 2. 13	阿部 修	産経新聞社	今冬の積雪の特徴について
H24. 2. 15	阿部 修	YTS テレビ	月山 IC の積雪調査について
H24. 2. 17	阿部 修	山形新聞社新庄支社	今冬の雪崩についての注意点
H24. 2. 24	阿部 修	山形新聞社新庄支社	凍雨現象について
H24. 3. 14	阿部 修	秋葉和弘	屋根雪荷重による建物倒壊について
H24. 2. 24	阿部修・佐藤威	さくらんぼテレビジョン	新庄支所の研究活動について
H23. 9. 5	井口 隆	NHK 制作局 科学環境 番組部	台風 12 号の豪雨により紀伊半島に発生した深層崩壊について
H23. 9. 5	井口 隆	フジテレビ めざまし T V	台風 12 号の豪雨により紀伊半島に発生した土砂災害について
H23. 9. 7	井口 隆	テレビ朝日 ワイドスク ランブル	土砂崩れの前兆現象と防災対応についてのインタビュー
H23. 9. 9	井口 隆	フジテレビ	土砂ダムの危険性について
H23. 9. 12	井口 隆	朝日新聞和歌山支局	台風 12 号によって熊野古道で発生した土砂崩れについて
H23. 9. 6	井口 隆	関西テレビ報道部	台風 12 号によって田辺市伏見野地区で発生した土砂崩れについ て
H23. 9. 20	井口 隆	TBS テレビ朝ズバ	台風 12 号によって生じた土砂ダムの危険性について
H23. 9. 20	井口 隆	日本テレビ報道局	台風 12 号によって生じた土砂ダムの危険性について
H23. 9. 20	井口 隆	テレビ朝日 ワイドスク ランブル	台風 12 号によって生じた土砂ダムの危険性について
H23. 9. 20	井口 隆	テレビ朝日 やじうま T V	台風 12 号によって生じた土砂ダムの危険性について
H23. 9. 20	井口 隆	テレビ朝日 モーニング バード	台風 12 号によって生じた土砂ダムの危険性について
H24. 3. 2	井口 隆	毎日新聞奈良支局	奈良県東吉野村で起きた土砂崩れの発生原因について
H24. 3. 12	井口 隆	日本テレビ報道局	新潟県上越市で起きた地すべり災害の発生について
H24. 3. 12	井口 隆	日本テレビ報道局	新潟県上越市で起きた地すべり災害の発生について

H24. 3. 13	井口 隆	日本テレビ報道局	新潟県上越市で起きた地すべり災害の発生について（追加取材）
H24. 3. 13	井口 隆	テレビ朝日	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 13	井口 隆	テレビ朝日	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 13	井口 隆	フジTV	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 13	井口 隆	日本農業新聞	新潟県上越市で起きた地すべり災害と地すべり一般について
H24. 3. 13	井口 隆	フジTV	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 13	井口 隆	テレビ朝日	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 14	井口 隆	朝日新聞	新潟県上越市で起きた地すべり災害について
H24. 3. 14	井口 隆	テレビ朝日朝日ワイドスクランブル	新潟県上越市で起きた地すべり災害の発生場所について
H24. 3. 14	井口 隆	フジテレビスーパーニュース	過去の地すべり発生場所の全国的なマップについて
H24. 3. 14	井口 隆	テレビ朝日報道局	新潟県上越市で起きた地すべり災害の今後の予測について
H24. 3. 21	井口 隆	日本テレビ報道局	新潟県上越市で起きた地すべり災害の今後と地すべり災害について
H23. 12. 2	井上 貴仁	神戸新聞	1.17 特集記事―地震防災研究の最前線―
H23. 5. 18	井上 公、今井 弘	NHK	被災地での GPS を使用した調査について
H23. 6. 2	鵜川元雄	朝日新聞科学環境部	雲仙普賢岳噴火後 20 年間の火山観測体制の推移
H23. 6. 16	鵜川元雄	テレビ朝日	富士山の噴火について
H23. 10. 31	鵜川元雄	朝日新聞出版	富士山の火山活動と噴火予知について
H24. 1. 12	鵜川元雄	ワック株式会社	「富士山と火山防災」の番組製作のための事前取材
H24. 1. 30	鵜川元雄	テレビ朝日	山梨県東部の地震と富士山の火山活動との関係
H24. 1. 30	鵜川元雄	東京新聞	最近の富士山の活動について
H24. 1. 30	鵜川元雄	週刊文春	山梨県東部地震が富士山に与える影響について
H24. 2. 29	鵜川元雄	SBS（静岡放送）	富士山の噴火について
H24. 1. 20	鵜川元雄・小澤拓・小園誠史・熊谷博之	読売新聞社東京本社編集局科学部	霧島山新燃岳噴火の緊急研究及びその後の研究の進展について
H24. 2. 7	鵜川元雄・藤田英輔・関口宏二（アウトリーチ Gr）	静岡朝日テレビ	富士山の最近の活動状況
H23. 4. 5	岡田義光	産経新聞	東日本大震災について
H23. 4. 8	岡田義光	読売新聞	4/7 深夜の宮城県沖地震 M7.4 について
H23. 4. 8	岡田義光	共同通信	4/7 深夜の宮城県沖地震 M7.4 について
H23. 4. 11	岡田義光	週刊新潮	4/11 17：16 福島県東部の地震について
H23. 4. 12	岡田義光	FM 東京	余震活動について
H23. 4. 12	岡田義光	読売新聞	4/12 08：08 の千葉県東方沖地震について
H23. 4. 13	岡田義光	TBS ラジオ	東北地方太平洋沖地震について
H23. 4. 19	岡田義光	朝日新聞	東北地方太平洋沖地震の今後の影響について
H23. 10. 23	岡田義光	読売新聞	トルコ東部で発生した M7. 2 の地震について
H24. 1. 22	岡田義光	週刊文春	近年の大地震について
H23. 9. 21	岡田義光、橋本俊幸	毎日新聞社	土木学会原子力土木委員会津波評価部会での議論内容について
H23. 8. 31	加藤敦	日本テレビ	都市型水害の特徴について
H23. 9. 1	加藤敦	テレビ朝日	都市の水害の特徴について
H23. 9. 7	加藤敦	NHK 社会部	台風 12 号における水害の特徴
H24. 3. 19	梶原浩一、佐々木智大	週刊現代	橋梁耐震実験研究について
H23. 5. 9	関口宏二	日本テレビ、ニュース Z ERO	JーSHIS による原発立地地点の地震発生確率について
H23. 5. 13	関口宏二	フジテレビ めざましテレビ	JーSHIS の見方と番組での使用について

		レビ	
H24. 1. 13	関口渉次	読売新聞	海底地震津波観測網について
H24. 2. 1	関口渉次	日本テレビ「Z I P！」	東北地方太平洋沖地震後の地震活動について
H23. 8. 29	関口渉次・武田哲也	NHK	ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究プロジェクトの概要について
H23. 6. 14	岩波 越	東京新聞	「ゲリラ豪雨」の研究について
H23. 6. 30	岩波 越	東京新聞	「ゲリラ豪雨」の発生機構研究について
H23. 7. 8	岩波 越	TBS	「ゲリラ豪雨」の予測研究について
H23. 7. 31	岩波 越	日本テレビ	ミリ波レーダー、MP レーダーによる積乱雲の一生の観測研究について
H23. 7. 31	岩波 越	TBS テレビ	ミリ波レーダー、MP レーダーによる積乱雲の一生の観測研究について
H23. 8. 1	岩波 越	フジテレビ	ミリ波レーダー、MP レーダーによる積乱雲の一生の観測研究について
H23. 8. 1	岩波 越	東海テレビ	ゲリラ豪雨対策の新しい動きについて
H23. 12. 15	岩波 越、三隅良平、石澤友浩	BS ジャパン	「ゲリラ豪雨」等豪雨災害研究について
H24. 1. 26	吉澤 睦博	NHK 大阪放送局	東日本大震災で改めて注目されている長周期地震動の特徴や対策について
H24. 2. 9	金沢敏彦	産経新聞	日本海溝地震津波観測網整備について
H23. 9. 12	熊谷博之	読売新聞	台風 12 号の土砂災害地域で発生した地震波について
H23. 9. 12	熊谷博之	共同通信	台風 12 号の土砂災害地域で発生した地震波について
H23. 9. 13	熊谷博之	NHK	台風 12 号の土砂災害地域で発生した地震波について
H23. 9. 22	熊谷博之	読売新聞	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 10. 3	熊谷博之	朝日新聞	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 10. 5	熊谷博之	NHK	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 10. 5	熊谷博之	共同通信	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 10. 7	熊谷博之	産経新聞	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 10. 7	熊谷博之	日経新聞	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 11. 2	熊谷博之	NHK	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 12. 28	熊谷博之	ニュートンプレス	東北地方太平洋沖地震の震源過程について
H23. 9. 8	熊谷博之、松澤孝紀	NHK	台風 12 号の土砂災害地域で発生した地震波について
H24. 1. 17	根本征樹	TBS(みのもんたの朝ズバッ！)	屋根雪災害について
H24. 2. 2	根本征樹	河北新報社	秋田県玉川温泉の雪崩について
H24. 2. 2	根本征樹	秋田魁新報社	秋田県玉川温泉の雪崩について
H24. 2. 10	根本征樹	TBS(みのもんたの朝ズバッ！)	屋根雪の重さについて
H24. 3. 2	根本征樹	東奥日報	屋根雪について
H23. 11. 25	佐藤威	毎日新聞	積雪地域における津波避難路の注意点
H23. 11. 29	佐藤威	テレビ新潟	雪の降り始めに注意することについて
H23. 12. 14	佐藤威	フジテレビ	屋根の雪下ろし等に伴う事故の状況と防止策
H24. 2. 1	佐藤威	日本テレビ	雪国の危険性について
H24. 2. 1	佐藤威	NHK TV ニュース部	屋根雪の落下に伴う事故について
H24. 1. 31	佐藤威	新潟日報社	吹雪の予測研究について
H24. 2. 2	佐藤威	NHK 新潟放送局	玉川温泉雪崩について
H24. 2. 2	佐藤威	NHK ニュースウォッチ 9	玉川温泉雪崩について

H24. 2. 6	佐藤威	日本テレビ	多雪で気温が上昇したときの注意点
H24. 2. 6	佐藤威	日本テレビ	多雪地域において一両日中に注意すべき点
H24. 2. 6	佐藤威	中部日本放送	気温上昇時の注意点
H24. 2. 7	佐藤威	TBS テレビ	気温上昇時の屋根雪の危険性
H24. 2. 7	佐藤威	フジテレビ	気温上昇時・降雨時の屋根雪の危険性
H24. 2. 7	佐藤威	日本テレビ	屋根雪の危険性
H24. 2. 7	佐藤威	テレビ朝日	気温が上昇した後に寒波が来たときに注意すべきこと
H24. 2. 7	佐藤威	テレビ朝日	気温上昇時・降雨時の屋根雪の危険性
H24. 2. 8	佐藤威	テレビ朝日	気温上昇後の寒波に伴う雪の危険性について、ほか
H24. 2. 8	佐藤威	朝日新聞	気温上昇後の寒波に伴う雪崩の危険性について
H24. 2. 10	佐藤威	TBS テレビ	屋根雪の衝撃力について
H24. 2. 14	佐藤威	朝日新聞長岡支局	屋根雪事故を防ぐためには
H24. 2. 14	佐藤威	朝日新聞	東京スカイツリーからの落雪事故について
H24. 2. 28	佐藤威	NHK	明日にかけて関東地方で予想されている雪による事故について
H24. 2. 29	佐藤威	NHK	歩道の雪が滑る原因について
H24. 3. 15	佐藤威	毎日新聞新潟支局	防災科研が提供する積雪重量変化情報について
H24. 3. 28	佐藤威	NHK 災害気象センター	これから時期における雪の災害について
H24. 1. 29	佐藤威、本吉弘岐	日本テレビ	積雪の重量について
H24. 2. 10	佐藤威、本吉弘岐	日本テレビ	今冬の雪の特徴と危険な点
H24. 1. 5	佐藤威ほか	新潟日報社	雪氷防災研究センターにおける研究と施設について
H24. 2. 21	佐藤栄児，吉澤睦博	読売新聞	首都直下地震防災減災特別 PJ の成果について
H24. 1. 27	佐藤篤司	日本テレビ	屋根雪について
H24. 1. 30	佐藤篤司	NHK 新潟放送局	雪崩，積雪重量等について
H24. 1. 31	佐藤篤司	フジテレビ スーパーニュース	積雪重量等について
H24. 1. 31	佐藤篤司	フジテレビ スーパーニュース	積雪重量等について
H24. 1. 31	佐藤篤司	朝日新聞	雪崩，積雪重量等について
H24. 1. 31	佐藤篤司	テレビ信州	屋根雪事故について
H24. 2. 1	佐藤篤司	フジテレビ めざましテレビ	積雪重量，屋根雪等について
H24. 2. 2	佐藤篤司	NHK大阪放送局	今回の大雪で注意すること
H24. 2. 2	佐藤篤司	新潟日報	雪崩，積雪重量等について
H24. 2. 2	佐藤篤司	フジテレビ とくダネ	玉川温泉の雪崩について
H24. 2. 6	佐藤篤司	フジテレビ めざましテレビ	気温上昇による豪雪地の危険について
H24. 3. 7	佐藤篤司	読売新聞 金沢支局	木に出来た氷の名称について
H24. 2. 2	佐藤篤司，平島寛行	TBS テレビ 報道局「Nスタ」	玉川温泉の雪崩について
H23. 4. 3	佐藤隆雄	河北新報	故郷大船渡を命守る街に 防災科学技術研の佐藤さん
H23. 9. 5	三隅良平	NHK 東京社会部	台風 12 号の大雨について
H23. 9. 4	三隅良平	フジTV 「知りたがり」	台風 12 号災害について
H23. 9. 15	三隅良平ほか 5 名	NHK 和歌山放送局	台風 12 号災害調査について
H24. 1. 31	山口 悟	日本テレビ ジップ	雪質の分類と荷重について
H24. 2. 3	山口 悟	岩手日報	雪の重さについて
H24. 2. 3	山口 悟	TBS サンデージャポン	防災科研が撮影した雪崩の映像の使用許可
H24. 2. 8	山口 悟	産経新聞	屋根雪に関して

H24. 2. 8	山口 悟	テレビ朝日	長岡の積雪荷重について
H24. 2. 8	山口 悟	テレビ朝日 モーニング バード	長岡の積雪重量について
H24. 2. 10	山口 悟	毎日新聞	屋根雪について
H24. 3. 21	山口 悟	新潟日報社	積雪重量変化の web 公開について
H24. 3. 30	山口 悟	新潟日報	現在の残雪量について
H23. 8. 15	汐見勝彦	神戸新聞	フィリピン海スラブ断裂モデルについて
H23. 8. 22	汐見勝彦	静岡新聞社	2011 年 8 月 12 日の遠州灘の地震について
H24. 2. 2	汐見勝彦	NHK	2/1 に発生した秋田県仙北市の雪崩について
H24. 2. 21	汐見勝彦	NHK 松山放送局	Hi-net の概要と深部低周波微動、南海トラフの地震の想定震源域の拡大について
H23. 9. 29	若月 強	NHK 和歌山	台風 12 号における那智川流域の土砂災害について
H23. 5. 31	酒井直樹	NHK 報道局	集中豪雨と土砂災害について
H23. 5. 31	酒井直樹	NHK 報道局	集中豪雨と土砂災害について
H23. 6. 9	酒井直樹	読売新聞水戸支局	東日本大震災で被害を受けた河川堤防の降雨時の安全性について
H23. 6. 9	酒井直樹	読売新聞水戸支局	東日本大震災で被害を受けた河川堤防の降雨時の安全性について
H23. 6. 23	小園誠史	日本経済新聞	霧島山新燃岳噴火におけるマグマ噴出率の見積もりについて
H24. 3. 23	小園誠史	テレビマンユニオン	「降灰への備え」「火山灰の健康影響」パンフレットの提供
H23. 7. 29	小杉健二	FM 山形	雪氷防災研究センター新庄支所一般公開について
H24. 2. 1	小杉健二	TBS	雪崩の映像について
H24. 2. 1	小杉健二	中部日本放送(CBC)	雪崩の映像について
H24. 2. 6	小杉健二	フジテレビ	雪崩の映像について
H24. 2. 14	小杉健二	秋田放送	玉川温泉の雪崩調査について
H24. 1. 9	小杉健二・望月重人	テレビ朝日	積雪の重さと積雪に関する注意点
H23. 9. 6	松原 誠	共同通信	日本列島下の三次元地震波速度構造モデル(海域拡大版)の公開・地震波速度構造表示ソフトウェアのモデル更新
H23. 10. 13	松原 誠	読売新聞	東北地方太平洋沖地震の震源付近の太平洋プレートの地震波速度構造と海山の存在の可能性
H24. 2. 8	上石 勲	テレビ朝日 モーニング バード	暖気と急激な降雪による雪氷災害の可能性について
H24. 2. 8	上石 勲	テレビ朝日 モーニング バード	暖気と急激な降雪による雪氷災害の可能性について
H24. 2. 8	上石 勲	NHK 大阪放送局	屋根雪の落下による被害について
H24. 2. 8	上石 勲	フジテレビ報道部	地震による雪崩発生について
H24. 2. 8	上石 勲	テレビ朝日	地震による雪崩発生について
H24. 2. 8	上石 勲	テレビ朝日	地震による雪崩発生について
H24. 2. 8	上石 勲	フジテレビ報道部	地震による雪崩発生について
H24. 2. 9	上石 勲	NHK	地震による雪崩発生について、屋根雪の落下について
H24. 3. 5	上石 勲	北海道テレビ	積雪寒冷期における地震などの複合災害について
H24. 1. 31	上石 勲	フジテレビ	今冬の雪の重さと雪害について
H24. 1. 27	上石 勲	朝日新聞社会部	屋根雪について
H24. 2. 6	上石 勲	フジテレビ	雪崩の危険性について
H24. 2. 6	上石 勲	NHK 大阪支社	雪崩・土砂災害の危険性について
H24. 2. 6	上石 勲	読売新聞編集局科学部	地震による雪崩発生の可能性について
H24. 2. 7	上石 勲	テレビ新潟	雪崩発生の危険性について
H24. 2. 8	上石 勲	日本テレビ (Z I P)	暖気と急激な降雪による雪氷災害の可能性について

H24. 3. 7	上石 勲	TBS テレビ	雪崩の発生時期と衝撃力について
H24. 3. 7	上石勲、石坂雅昭	テレビ朝日	この時期（融雪期）の落雪の危険性と雪の性質について
H23. 9. 6	眞木雅之	読売新聞	戦略推進費研究「極端気象に強い都市創り」について
H23. 6. 17	須永洋平	経済新聞社	防災ラジオドラマづくりの方法と効果について
H23. 7. 28	須永洋平	毎日新聞	311 まるごとアーカイブスのシンポジウムについて
H24. 2. 29	須永洋平	NHK 岡山	第2回防災ラジオドラマコンテストについて
H24. 2. 6	青井 真、関口、松宮	NHK	K-NET の撮影
H24. 2. 1	石坂雅昭	読売新聞東京	高齢者の雪害事故について
H24. 2. 2	石坂雅昭	新潟テレビ 21	雪の重さや雪崩について
H24. 2. 10	石坂雅昭	フジテレビ	雪の重さ最近の雪による危険について
H23. 6. 1	浅野陽一	常陽新聞	東北太平洋沖地震とその後の地震活動について
H23. 7. 1	浅野陽一	信越放送	2011 年 6 月 30 日長野県中部の地震について
H23. 8. 5	前坂 剛	日本テレビ	ミリ波レーダ観測について
H23. 8. 1	前坂 剛	フジテレビ	ミリ波レーダ観測について
H23. 8. 1	前坂 剛	TBS テレビ	ミリ波レーダ観測について
H23. 8. 10	前坂 剛	NHK 首都圏報道センター	ゲリラ豪雨の対策について
H23. 9. 14	村上智一	フジテレビ	東京湾および伊勢湾での可能最大高潮の予測について
H23. 9. 19	村上智一	日本テレビ	東京湾での可能最大潮位の計算について
H23. 9. 12	村上智一	毎日新聞	伊勢湾台風級の台風が東京湾および伊勢湾に来襲した場合の高潮予測について
H23. 9. 12	村上智一	朝日新聞	東京湾および伊勢湾に来襲した場合の高潮予測について
H23. 4. 19	大井昌弘	茨城新聞社	茨城大学東日本大震災調査中間報告会に参加してのコメントについて
H23. 4. 25	棚田 俊收	山梨県日日新聞	3/15 静岡県東部地震について
H23. 5. 13	棚田 俊收	山梨県日日新聞	富士山の火山活動について
H23. 5. 17	棚田 俊收	NHK 熊本	阿蘇山について
H23. 5. 31	棚田 俊收	読売	地震と火山噴火について
H23. 11. 29	棚田 俊收	NHK 宮崎	新燃岳噴火
H24. 1. 26	棚田 俊收	共同通信	プレス発表資料『気象庁および(独)防災科学技術研究所の火山観測データの流通・公開』について
H24. 2. 3	棚田 俊收	サンデー毎日	富士山の火山活動について
H24. 2. 7	棚田 俊收	日本テレビ	富士山の火山活動について
H24. 3. 14	棚田 俊收	テレビ静岡	富士山の噴火予知について
H24. 1. 25	棚田俊牧、橋本俊幸	週刊現代	富士山の噴火の可能性について
H24. 1. 31	中井 専人	フジテレビ	今日から明日にかけて多く降る場所、また研究内容について
H24. 2. 2	中井 専人	テレビ朝日	天気予報の中で、大雪、重い雪に注意というところで積雪重量の値を使いたい
H24. 1. 16	中井 専人	テレビ朝日報道部	新雪と根雪の一般的な密度の値を教えてください。
H24. 2. 2	中井 専人	TBS	雪崩映像が欲しい
H24. 2. 4	中井 専人	毎日新聞	玉川雪崩災害について雪氷防災研究センター新庄支所の調査結果を知りたい。
H24. 2. 1	中井専人・佐藤威	TBS	大雪と雪崩の危険を報道する番組で、雪崩映像が欲しい
H24. 2. 3	中井専人・山口悟	TBS テレビ	雪崩や屋根雪に埋まったときの危険性について
H23. 5. 19	中根和郎	毎日新聞岐阜支局	アンダーパス冠水時の事故防止対策として、何が最も有効なのか
H23. 9. 21	中根和郎	日本テレビ	道路浸水深計観測システム
H23. 7. 15	中山 学	中天電視公司	東北大震災の再建の記録と阪神大震災の再建の経験を台湾の方に伝える
H23. 5. 10	中村いずみ	フジテレビ	H17 年度大大特実験（木造）について

H24. 3. 12	中村洋光、橋本俊幸	朝日新聞	緊急地震速報と防災科研にて研究が行われていた瞬時速報について、現況と課題について
H23. 8. 17	長江拓也	朝日テレビ	長周期地震動
H23. 8. 22	長江拓也	高知新聞	南海地震
H24. 3. 15	長江拓也	朝日新聞出版 週刊朝日編集部	今までの想定を越えた震度 7 の直下型地震から自宅を守るにはどうすればいいのか
H23. 4. 25	長江拓也	T B S	長周期地震動を受ける超高層建物の内部被害
H23. 6. 3	長江拓也	サイエンスメディアクリエーター (J S T)	長周期地震動と超高層建物
H23. 6. 16	長江拓也	台湾テレビ局	超高層建物の耐震性
H23. 6. 16	長江拓也	朝日放送	超高層建物と長周期地震動
H23. 8. 9	長江拓也	PBS	E・ディフェンス実験の概要と超高層建物実験
H23. 9. 22	長江拓也	小学館	Eーディフェンスを使った耐震工学研究について
H23. 7. 25	長坂俊成	毎日新聞	まるとアーカイブスとシンポジウムの件
H23. 9. 9	長坂俊成	日本経済新聞	311 まるとアーカイブスについて
H24. 2. 17	長坂俊成	NHK	釜石市でのデジタルアーカイブの取材
H23. 6. 24	長坂俊成	NHK 首都圏放送センター「首都圏ネットワーク」	防災ラジオドラマづくりの方法と効果について
H23. 9. 7	長坂俊成	フジテレビ	復興情報杭について
H24. 3. 13	長坂俊成	NHK ラジオセンター	みんなで考える地域防災とは ～第 2 回防災ラジオドラマコンテストから
H23. 6. 9	長坂俊成、田口仁	NHK	災害対応における GPS の活用
H23. 6. 7	長坂俊成・坪川博彰・須永洋平	日本経済新聞社	第 2 回地域発防災ラジオドラマコンテストについて
H23. 6. 8	坪川博彰	産経新聞社	第 2 回防災ラジオドラマコンテストについて
H23. 6. 22	坪川博彰	(株) ミュージックバード	防災インフォメーション出演
H23. 7. 12	坪川博彰	茨城新聞社	吾妻小学校での避難所対応と防災ラジオドラマについて
H23. 9. 27	坪川博彰	NHK 水戸放送局	水戸市社会福祉協議会での防災の取り組み
H23. 9. 8	田中佐千子	毎日新聞社	地球潮汐と地震発生の関係について
H23. 11. 2	田中佐千子	NHK グローバルメディアサービス	東北地方太平洋沖地震に先行した地球潮汐の地震トリガー作用について
H24. 3. 27	田中佐千子	フジテレビ	地球潮汐と地震の関係について
H23. 5. 2	土志田正二	NHK	2011 年 4 月 11 日福島県直下型地震による土砂災害調査 (速報) に関する問い合わせ
H23. 9. 5	土志田正二	フジテレビ・トクダネ	台風 12 号による土砂災害について
H23. 9. 5	土志田正二	TBS・朝ズバッ	台風 12 号による土砂災害について
H23. 9. 6	土志田正二	TBS・朝ズバ	台風 12 号による土砂災害について
H23. 9. 6	土志田正二	TBS・朝ズバ	深層崩壊の発生場所について
H23. 9. 8	土志田正二	フジテレビ	台風 12 号で発生した土砂災害(土砂ダム)について
H23. 10. 25	土志田正二	朝日新聞大阪支社	台風 12 号による土砂災害における地すべり地形分布図の適中事例について
H23. 11. 7	土志田正二	朝日新聞大阪支社	台風 12 号による土砂災害における地すべり地形分布図の的中事例について
H23. 11. 8	土志田正二	朝日新聞大阪支社	台風 12 号による土砂災害における地すべり地形分布図の的中事例について
H23. 12. 16	土志田正二	TBS	ハッ場ダム建設の際における地すべりの危険性について
H23. 12. 13	藤原広行、橋本俊幸	茨城新聞	全国地震動予測地図と、茨城、房総沖における大地震発生の可能

			性について
H23. 6. 6	藤田英輔	読売新聞	東北地方太平洋沖地震による富士山噴火の可能性について
H23. 12. 14	藤田英輔	テレビ朝日	富士山の溶岩流シミュレーション
H23. 11. 28	藤田英輔・小園誠史	毎日新聞	火山防災・溶岩流シミュレーションについて
H23. 4. 27	藤田英輔・小園誠史・廣瀬仁・ 武田哲也・浅野陽一	NHK	東北地方太平洋沖地震による富士山噴火の可能性について
H24. 3. 21	内山庄一郎	東京新聞	サバメシについて
H24. 2. 17	内藤昌平、東宏樹	日経 BP 社	携帯情報端末を利用した地震計の開発と実証実験について
H23. 4. 20	納口恭明	NHK 水戸放送局	3. 11 東日本大震災に関連して液状化現象、揺れの周期に関する実験の実演
H23. 10. 6	武田哲也	信濃毎日新聞	10 月 5 日の飛騨山脈の地震について
H23. 10. 7	武田哲也	毎日新聞長野支局	北陸中日新聞に載った北アルプスでの地震活動のグラフについて
H23. 11. 1	武田哲也	伊勢新聞社	三重県内における臨時地震観測調査について
H23. 11. 28	武田哲也	北日本新聞	10 月 5 日の飛騨山脈の地震について
H24. 3. 7	武田哲也	新潟日報	ひずみ集中帯に関する問い合わせ
H24. 3. 7	武田哲也	新潟日報	ひずみ集中帯に関する問い合わせ
H24. 2. 1	平島寛行	BSN 新潟放送	雪崩のメカニズムについて
H24. 2. 2	平島寛行	河北新報 秋田総局	玉川温泉の雪崩について
H24. 2. 2	平島寛行	テレビ新潟	雪崩のメカニズムについて
H24. 2. 2	平島寛行	テレビ朝日 やじうまテレビ	雪崩について
H24. 2. 2	平島寛行	テレビ朝日 モーニングバード	雪崩について
H24. 2. 2	平島寛行	テレビ朝日 報道ステーション	今後の雪崩の危険について
H24. 2. 3	平島寛行	テレビ新潟	屋根雪及び消雪パイプについて
H24. 2. 3	平島寛行	読売新聞	雪崩のメカニズムについて
H24. 2. 8	平島寛行	NHK	今後起こりうる雪崩について
H24. 2. 10	平島寛行	新潟日報	今後の雪害や落雪について
H24. 2. 2	本吉弘岐、佐藤威	日本テレビ	屋根雪処理に関する注意点
H24. 1. 27	本吉弘岐、佐藤篤司	NST（新潟総合テレビ）	屋根雪の荷重について
H23. 11. 1	木村尚紀	日本テレビ	房総半島沖で「スロー地震」再来
H24. 3. 2	木村尚紀	産経新聞	関東地方のフィリピン海プレートの相似地震の活動変化について
H24. 3. 5	木村尚紀	産経新聞	東北地方太平洋沖地震後の関東地方の相似地震活動について
H24. 3. 6	木村尚紀	産経新聞	東北地方太平洋沖地震後の関東地方の相似地震活動について
H24. 3. 29	野口伸一	朝日新聞	プレス発表資料「日本海溝海底地震津波観測網の整備事業を開始」について
H24. 3. 29	野口伸一	読売新聞	プレス発表資料「日本海溝海底地震津波観測網の整備事業を開始」について
H23. 4. 8	廣瀬仁	朝日新聞東京本社 科学医療グループ	4 月 7 日宮城県沖の地震について
H23. 5. 20	廣瀬仁	日本経済新聞社科学技術部	地球惑星科学連合大会 2011 で発表予定の「2011 年東北地方太平洋沖地震前の傾斜記録」について
H23. 6. 17	廣瀬仁	日本経済新聞社 科学技術部	「2011 年東北地方太平洋沖地震前の傾斜記録」について
H23. 7. 27	廣瀬仁	ニュートンプレス	2011 年東北地方太平洋沖地震前のプレスリップの有無について

H23. 10. 31	廣瀬仁	朝日新聞	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	読売新聞	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	NHK 社会部災害班	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	茨城新聞	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	赤旗	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	共同通信	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 10. 31	廣瀬仁	毎日新聞	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 11. 4	廣瀬仁	テレビ朝日 サンデース 克蘭ブル	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 11. 4	廣瀬仁	毎日新聞社会部	房総半島沖で「スロー地震」再来
H23. 9. 1	廣瀬仁、浅野陽一	日本テレビ	東日本の現在の地震活動とそのモニタリングの様子
H23. 11. 1	廣瀬仁・木村尚紀	テレビ朝日	房総半島沖で「スロー地震」再来

Ⅱ. 3. (7) Web による情報発信

公開データ	H23 年度アクセス数	H22 年度アクセス数
防災科学技術研究所 HP	1, 293, 000	382, 000
強震観測網 (K-NET)	564, 000	125, 000
高感度地震観測網 (Hi-net) の連続波形画像アクセス 数※1	25, 925, 000	17, 219, 000
基盤強震観測網 (KiK-net)	120, 000	46, 000
広帯域地震観測網 (F-net)	63, 000	14, 000
地すべり地形分布図	62, 000	49, 000
地震動予測地図作成手法	5, 000	3, 000
地震ハザードステーション (J-SHIS)	1, 615, 000	220, 000
積雪深・積雪重量の観測データ	31, 000	23, 000
E-ディフェンス HP	52, 000	55, 000
実大三次元震動破壊実験施設・試験データアーカイブ (ASEBI) ダウンロード数	4, 000	33, 000
水・土砂防災研究部	103, 000	106, 000
自然災害情報室全体※1	287, 000※2	(22, 000)
主要頁内数 (研究所刊行物)	(85, 000)	
〃 (防災基礎講座)	(68, 000)	
〃 (蔵書検索)	(2, 000)	

※1 いずれも直接アクセス数を含む。

※2 平成 22 年度以前とカウント数は異なる。

Ⅱ. 4. 施設及び設備の共用

(1) 実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス) (6件+自体研究2件)

研究課題名	外部機関名	研究種別
長周期地震動における小規模免震構造物の振動性状(その1)	H. R. D	施設貸与
日米共同研究「免震技術の評価実験」	ネバダ大学	共同実験
首都直下プロジェクト 長周期地震動による被害軽減対策の研究開発	文部科学省	受託研究
原子力プラント斜面における振動実験	(独) 原子力安全基盤機構	施設貸与
長周期地震動における小規模免震構造物の振動性状(その2)	H. R. D	施設貸与
長周期地震動に対する免震建築物の安全性検証方法に関する検討	大成建設(株)	共同実験
地盤・地中構造物実験研究	—	自体研究
震動台性能検証と6自由度加振における室内什器類の挙動検証	—	自体研究

(2) 大型耐震実験施設 (6件+自体研究2件)

研究課題名	外部機関名	研究種別
大型2軸岩石摩擦実験	—	自体研究
組積壁の面内、面外の挙動把握のための実験研究 (コンクリートブロック、フィリピン)	—	自体研究
戸建住宅に用いる通気スเปーサーの地震応答性状	福山大学、アイディールブレン(株)	共同研究
構造物用耐震ダンパーの性能評価実験	(独) 建築研究所	受託研究
木質構造物の剛性偏心・耐力偏心を考慮した弾塑性挙動の解明	(独) 建築研究所	共同研究
実大仏像模型の耐震実験	三重大学、東京電機大学	共同研究
組積壁住宅の耐震性評価のための実験研究(面外壁の挙動把握実験)	三重大学	共同研究
直交ラミナ積層パネルによる木造建築物の耐震実験	国土技術政策総合研究所、(株)日本システム設計	共同研究

(3) 大型降雨実験施設 (7件+自体研究2件)

研究課題名	外部機関名	研究種別
拡散レーザ変位計の性能実験	明治コンサルタント株式会社	施設貸与
早期予測のためのセンサー開発および危険度設定に関する研究	—	自体研究
流下土砂が家屋に与える影響	百年住宅株式会社	共同研究
温度計測および電気探査を用いた斜面内部の水分状態の推定に関する研究	産業技術総合研究所	共同研究
加速度センサーを用いた斜面崩壊メカニズムに関する研究	茨城大学	共同研究
センサーネットワークによる斜面崩壊予測に関する研究	東京大学	共同研究
ICタグを用いた表面流による土砂流出プロセスに関する研究	筑波大学	共同研究
降雨実験技術に関する実験(教育実習)	筑波大学	施設利用
降雨時の斜面崩壊メカニズムに関する研究	—	自体研究
その他	—	普及啓発

(4) 雪氷防災実験施設 (17件 + 自体研究8件)

研究課題名	外部機関名	研究種別
雪庇の形成及び変形機構のモデリングに向けた基礎的実験	(株)雪研スノーイーターズ	共同研究
遠赤外線放射による融雪	(株)ユニ・ロット	共同研究
建築物の着雪防止技術に関する研究	北海道工業大学 (株)大林組	共同研究
新しい降雪粒子測定手法に関する研究	富山高専専門学校	共同研究
南極の地吹雪中における建物形状と吹きだまりの関係	日本大学	共同研究
雪庇の形成条件及び発達/崩壊過程に関する研究	新潟大学	共同研究

寒冷環境下での風観測の安定化	神奈川工科大学	共同研究
建築物周辺の複雑乱流場における積雪分布のCFD予測モデルの開発	新潟工科大学	共同研究
吹雪自動計測システム装置の開発	名古屋大学	共同研究
雪表面の凝着と摩擦に関する研究	金沢大学	共同研究
降雪強度計を用いた視程観測手法に関する研究	(財)日本気象協会	共同研究
鉄道用信号機フード(クリアヒート式)の着雪防止対策の研究	東日本旅客鉄道(株) 新潟支社	共同研究
吹雪による堆積・削剥・昇華過程のモデリング(継続)	(独)海洋研究開発機構	共同研究
降雨による湿雪雪崩の発生機構に関する研究	(独)土木研究所 寒地土木研究所	共同研究
防雪林の風雪害回避のための風洞実験	北海道立総合研究機構 林業試験場	共同研究
鉄道分岐器の凍結防止に必要な電気融雪器の設備容量	(株)新陽社	施設貸与
家庭用エアコン室外機の降雪条件下における性能評価	三菱電機(株)先端技術総合研究所	施設貸与
着雪のメカニズムに関する研究	—	自体研究
吹雪粒子の帯電に関する研究	—	自体研究
複雑地形における吹雪発達過程の研究	—	自体研究
高速圧縮時の積雪の流動性に関する研究	—	自体研究
寄棟屋根の隅部における屋根雪の滑落特性に関する研究	—	自体研究
飽和吹雪量の支配要因に関する研究	—	自体研究
吹雪における粒子運動に及ぼす環境条件に関する研究	—	自体研究
積雪の静止摩擦・凍着メカニズムに関する研究	—	自体研究

Ⅱ. 5. 情報及び資料の収集等

1. 本年度重点的に取り組んだ案件－東日本大震災対応

(1) 業務継続

- ①停電、配水管漏水、電動書架開閉不能等により、平成 23 年 3 月 17 日より第 1 地震調査棟 320 号室に仮移転。震災関連資料・情報の収集を実施。通常業務は定期刊行物の受入に絞る。
- ②5 月 17 日より研究交流棟に復帰後、落下図書等閲覧室・事務室片付け（有志協力、図 1）
- ③破損した集密書架（図 2）の非常用手動装置による、応急開閉措置（平成 24 年 2 月まで）
- ④安全確保のため、所外利用者受入の一時停止

(2) 被災什器、建物等の復旧

- ①被災什器の修理：集密書架、スライド式什器、地図架等
- ②被災機器類の修理・交換：パソコン、サーバ、モニター、プリンター等
- ③自然災害情報室関連補修箇所：天井裏配管および 3 階からの水漏れによる天井の汚損、内装のヒビ・剥離、耐震補強器具の破損、アトリウム階段 1 階床取り付けボルトせん断等

(3) 資料・データ収集、整理

- ①被災自治体 HP の収集（3 月 11 日・4 月上旬：災害リスク研究ユニットと連携）
- ②収集資料 631 点、地方新聞 19 種
- ③急増した上記 (3) ②の資料整理（11・3 月）

(4) 東北地方太平洋沖地震特設サイトコンテンツの作成・公開

(<http://dil.bosai.go.jp/disaster/2011eq311/index.html>)

主なコンテンツ

- ①震災情報の発信状況（東日本大震災直後の自治体 Web 発信状況を視覚化）
- ②津波碑位置情報調査結果の配信（KML データ、Google Map）
- ③収集資料紹介（図書・雑誌・地方新聞等）
- ④過去の地震津波災害資料紹介（画像およびリスト掲載）

(5) 現地調査

目的：資料収集、定点観測、写真撮影

- ①4 月 14・18 日（宮城、岩手、青森）
- ②11 月 13・18 日（宮城、岩手、青森）
- ③12 月 10・12 日（宮古市）
- ④2 月 24、27・28、3 月 1、2 日（福島、茨城、千葉）
- ⑤3 月 13・19 日（宮城、岩手）

(6) 報告書

自然災害情報室における東日本大震災関連資料の収集と公開、
「主要災害調査」第 48 号（図 3）

(7) イベント・展示

- ①東日本大震災緊急講演会（4 月 17 日：被災地の収集した地方新聞や収集雑誌の展示）
- ②閲覧室ミニ展示：被災地の地方新聞展示

2. 防災科学技術資料の収集・整理及び提供（以下、上記 1 を除く）

(1) 図書管理業務

A 資料の受入・登録

- ①資料の蔵書 DB への登録
(5,597 点/受入数 13,619 点、登録作業は担当者雇用後の 6 月以降に平常化)
- ②図書登録業務の一部外注（966 冊）
- ③所内研究者からの大型寄贈（2 件）
- ④作業手順の改善とマニュアル修正
- ⑤課題の洗い出しと対策の検討

B 蔵書管理システムの提供

- ①図書館総合管理システムのバージョンアップとそれに伴う不具合の解消
- ②DIL 公開サイトのトップページに蔵書検索機能を設置（2011 年 10 月公開、利便性の向上）

C 学術情報の提供

- ①和洋学術雑誌・ニュースレター約 775 種、有料電子ジャーナル約 200 種

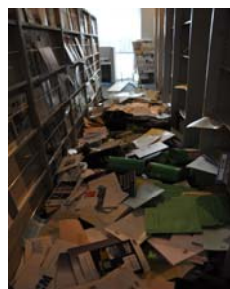


図 1 落下した資料



図 2 破損した集密書架



図 3 「主要災害調査」
第 48 号

- ②情報検索ツールの提供：J-Dream II、CiNii 等
- ③独法図書館コンソーシアム連絡会における洋雑誌共同購入の検討

D 利用者サービス

- ①来館者数：1,046 人（所内 595 人、所外 451 人：イベント開催時含む）
- ②問い合わせ対応

刊行物配布(所内)	刊行物配布(所外)	資料問い合わせ	データ提供	情報提供	事務
306 冊	1,062 冊	119 件	19 件	198 件	232 件

- ③防災科研ガイダンス（4 月 9 日）
- ④ちびっ子博士対応（7 月 25 日、8 月 8、22、29 日）
- ⑤本のリサイクルフェア開催（3 月 28 日・4 月 6 日）
- ⑥室内環境整備

E 研修・情報収集

- ①京都大学資源アーカイブ映像ステーション第二回天文台アーカイブプロジェクト報告会参加（7 月 28 日）
- ②図書館総合展セミナー参加（11 月 9-11 日）
- ③国立情報学研究所教育研修参加（10 月 12-14 日）

F 交流機関

松代地震センター、独法図書館コンソーシアム連絡会、専門図書館協議会、ジオネットワークつくば、自然災害研究協議会、（社）防災専門図書館

(2) 資料管理業務

A 資料の保管

- ①保管空中写真フィルムのデジタル化一部着手（フィルム劣化対策）
- ②空中写真フィルム金属缶から中性紙箱への交換（フィルム劣化対策）
- ③汚損した古い資料の廃棄（代替手段や利用者の意見確認後）

B 環境整備

- ①アトリウム側開口部の一部遮蔽による空調効率の飛躍的な向上
- ②研究資料管理棟 103、105 号室の消毒、除湿機等設置環境整備

(3) 委員会活動

- ①図書資料委員会の開催（8 月 23 日）、事務局運営
- ②第 3 期中期計画中の洋雑誌購入誌についての検討
- ③学術図書館研究委員会 SCREAL 調査参加（11 月 16 日・12 月 20 日）



図 4 自然災害情報室(DIL) Top ページ
http://dil.bosai.go.jp/

3. 情報発信

(1) Web コンテンツ

- ①コンテンツ別訪問者数：下記②、③の改良実施による、訪問者数の飛躍的増加（5 月 10 日・3 月 31 日。直接アクセス数を含む。リニューアル、サーバ移行、カウント手法の変更等により、H22 年度以前とは比較できない。）

DIL 全体	蔵書検索 所内	蔵書検索 所外 10/13～	刊行物	所蔵資料	災害特集	防災 基礎講座	災害事例 DB β 版	火山ハザードマップ DB	メルマガ 7/16～
287,274	1,213	1,277	84,955	3,986	29,203	68,371	615	7,135	2,954

- ②Web サイトリニューアル（デザイン変更、コンテンツ統廃合・再構築、図 4）
- ③Web ページ標準化の推進
- ④モバイル版トップページの作成
- ⑤Web 版「防災基礎講座」地域特性編の公開開始（10 月 20 日）

(2) サーバ管理

- ①管理コスト・電力削減対応：プライベートクラウド構築（地すべりチームの Web サーバと統合運用）

4. 研究ユニットとの協力・連携

(1) 災害リスク研究ユニット

災害事例データベース（ベータ版）の構築

(2) 地震・火山防災研究ユニット

火山ハザードマップデータベースの維持管理、追加情報の収集・更新（http://dil.bosai.go.jp/documents/v-hazard/）

5. 主な災害調査・研究活動

(1) 調査

- ①東日本大震災現地調査（上記 1. (5)参照）
- ②台風 12 号災害現地調査（10 月 2-5 日：奈良）

(2) 研究活動

- ①GIS コミュニティフォーラム（6 月 3 日）
- ②歴史地震研究会（9 月 16-18 日）
- ③災害情報学会（10 月 29-30 日）
- ④いばらき防災大学（11 月 19 日）
- ⑤GIS-Landslide 研究集会（11 月 24-25 日）

6. アウトリーチ活動

- ①メールマガジン（月 1 回、購読者数約 600 名）の発行
- ②地球惑星連合大会ブース出展（5 月 20-25 日）
- ③自然災害情報室セミナー（8 月 25 日 15:30-16:30、第 1 セミナー室）
「研究資料の保存・活用の可能性：京都大学研究資源アーカイブの取り組みを中心に」
講演者：五島敏芳（京都大学総合博物館講師・アーキビスト）

7. 研究成果の刊行

(1) 刊行数（図 5、表 1）

- ①研究報告第 79 号の刊行（収録論文数 4 本）
- ②研究資料第 362 号-第 368 号（7 冊）の刊行
- ③主要災害調査第 46 号-第 48 号（収録報告 27 編）の刊行

(2) 配信・定期配布

- ①研究報告、主要災害調査第 47 号以降のオンライン先行出版
- ②研究所刊行物の国内外関係機関への寄贈
送付先件数：研究報告 540 件、研究資料 108 件、
主要災害調査 226 件
- ③刊行物発行情報のメール配信（国内外 41 機関）

(3) 委員会活動

- ①編集委員会の開催（7 月 7 日、11 月 1 日）、事務局運営
- ②主要災害調査第 48 号の臨時取りまとめ

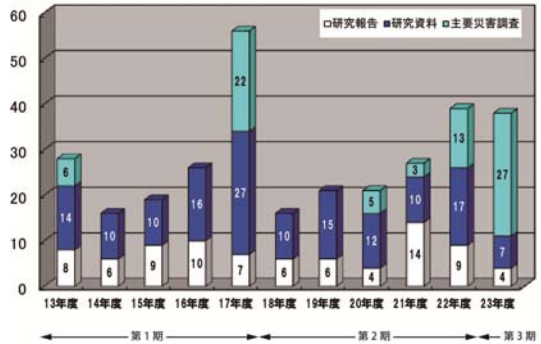


図 5 研究所刊行物の論文・資料数の推移

表 1 平成 23 年度 研究所刊行物一覧（書誌表記 SIST に拠る）

【防災科学技術研究所 研究報告】

第 79 号（平成 24 年 2 月）	著者：題名，ページ	（著者欄 *印は当研究所以外の著者）
佐藤正義・田地陽一*・張 至鎬*・田蔵 隆*	直杭基礎との比較による斜杭基礎の耐震性能に関する遠心振動実験，1-8	
山下 太・福山英一・溝口一生・東郷徹宏・御子柴正・佐藤 誠*・箕輪親宏	防災科学技術研究所大型耐震実験施設の大型振動台の準静的制御性能について，9-23	
三隅良平・清水慎吾	雲解像モデルを用いた土砂災害予測の試みー2004 年台風 22 号の通過に伴う横浜市の災害事例ー，25-30	
吉井 護・三隅良平・加藤 敦・前坂 剛	平成 22 年 7 月 5 日石神井川豪雨における MP レーダを活用した水防活動，31-43	

【防災科学技術研究所 研究資料】

第 362 号～第 364 号	著者：題名，号，ページ	（著者欄 *印は当研究所以外の著者）
清水文健・井口隆・大八木規夫	地すべり地形分布図 第 49 集 「旭川」，362，16 葉	
上石 勲	長岡における積雪観測資料（33）（2010/11 冬期），363，1-29	
小杉健二・根本征樹・望月重人・阿部 修・佐藤 威	新庄における気象と降積雪の観測（2010/11 冬期），364，1-45	

第 365 号～第 368 号	著者：題名，号，ページ	(著者欄 *印は当研究所以外の著者)
清水文健・井口隆・大八木規夫：地すべり地形分布図 第 50 集 「名寄」，365，16 葉		
長井雅史・高橋正樹*・戸田よしえ*・森 翔平*・中田節也*・安井真也*・鶴川元雄・小園誠史・金丸龍夫*・金子隆之*・武尾 実*：浅間山高峰火山観測井コア試料の岩相と層序，366，1-30 (付属 CD-ROM1 枚)		
小村健太郎・松田達生*・池田隆司*：防災科学技術研究所による関東・東海地域における水圧破碎井の孔井検層データ，367，1-20		
栢原孝浩・下川信也：台風災害被害データの比較について (1951 年～2008 年，都道府県別資料)，368，1-19 (付属 CD-ROM1 枚)		

【防災科学技術研究所 主要災害調査】

第 46 号「2010 年 10 月 20 日奄美大島豪雨災害調査報告」 (平成 23 年 12 月)	著者：題名，ページ	(著者欄 *印は当研究所以外の著者)
鈴木真一：平成 22 年 10 月に奄美大島で発生した豪雨とそれに関連した大気循環場の特徴について，1-6		
長坂俊成・坪川博彰・李泰 榮・鈴木比奈子・木ノ下勝矢・天野竹行：平成 22 年 10 月奄美豪雨の災害対応，7-22		
第 47 号「2010/2011 年冬期の豪雪と雪氷災害に関する調査報告」 (平成 24 年 2 月)	著者：題名，ページ	(著者欄 *印は当研究所以外の著者)
中井専人・山口 悟：平成 23 年豪雪時の降雪特性と雪氷災害の発生－全国概況と鳥取の集中豪雪－，1-16		
本吉弘岐・中井専人：福島県会津地域における 2010 年 12 月の大雪について，17-31		
山口 悟・根本征樹：2010/2011 冬期における気象・降積雪状況，33-52		
望月重人・阿部 修・佐藤 威・根本征樹・小杉健二：平成 23 年の豪雪における新庄の積雪について，53-56		
佐藤篤司：2010/11 年冬期の豪雪による災害の概要，57-62		
佐藤 威：2010/2011 冬期における東北地方の雪氷による人的被害と建物被害，63-70		
阿部修・根本征樹・望月重人・小杉健二・花岡正明・町田誠・町田敬・阿部孝幸・上石 勲：国道 112 号で発生した雪崩災害の調査と周辺の斜面積雪の安定性評価，71-82		
上石 勲・本吉弘岐・石坂雅昭：2011 年 3 月 12 日長野県北部地震による雪崩発生状況，83-86		
山口 悟：富山県立山国見岳雪崩事故調査報告，87-90		
石坂雅昭・納口恭明：2010/2011 鳥取・島根の集中豪雪による船の転覆について，91-96		
平島寛行・上石 勲：2010/11 冬期における雪崩災害とその予測可能性－積雪変質モデルで積雪の不安定性は再現されていたか－，97-102		
佐藤 威・根本征樹・上石 勲・本吉弘岐・中井専人：吹雪による視程障害の予測とその検証－2010/2011 冬期の新潟市による吹雪対策への活用事例－，103-112		
阿部修・望月重人：平成 23 年豪雪時の新庄市の雪捨て場における堆雪量の推定，113-118		
第 48 号「東日本大震災調査報告」 (平成 24 年 3 月)	著者：題名，ページ	(著者欄 *印は当研究所以外の著者)
岡田義光：2011 年東北地方太平洋沖地震の概要，1-14		
松原 誠・汐見勝彦・武田哲也・木村尚紀・松本拓己・廣瀬 仁・浅野陽一・齊藤竜彦・松澤孝紀・上野友岳・木村武志・三好崇之・田中佐千子・エネスクボグダン・松林弘智*・風神朋枝*・針生義勝*：防災科学技術研究所高感度地震観測網が捉えた 2011 年東北地方太平洋沖地震－観測記録・被害・対応－，15-51		
鈴木 亘・青井 真・関口春子*・切刀 卓：2011 年東北地方太平洋沖地震の震源破壊過程，53-62		
切刀 卓・青井 真・鈴木 亘・中村洋光・森川信之・藤原広行：2011 年東北地方太平洋沖地震の強震動，63-72		
下川信也・飯塚 聡・村上智一・栢原孝浩・酒井直樹・納口恭明・小笠原敏記*・安田孝志*：2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う沿岸域での被害状況について，73-89		
水谷武司：2011 年東北地方太平洋沖地震の津波による人的被害と避難対応，91-104		
井上 公・今井 弘・佐藤正義：東日本大震災による津波被災地の低空空撮，105-110		
土志田正二・内山庄一郎：2011 年東北地方太平洋沖地震による土砂災害の分布と特徴について，111-120		
長谷川信介・前田宜浩・河合伸一・内藤昌平・岩城麻子・はお憲生・森川信之・東 宏樹・先名重樹：2011 年東北地方太平洋沖地震による利根川流域の液状化被害，121-134		
上石 勲・本吉弘岐・石坂雅昭：2011 年 3 月 12 日に発生した長野県北部地震と大雪の複合災害－地震によって誘発された雪崩発生状況－，135-140		

著者：題名， ページ	(著者欄 *印は当研究所以外の著者)
長坂俊成・坪川博彰・須永洋平・李 泰榮・田口 仁・白田裕一郎・船田 晋：情報技術による東日本大震災の被災地支援－宮城県および岩手県での活動事例－， 141-160	
鈴木比奈子・内山庄一郎・堀田弥生・根岸弘明：自然災害情報室における東日本大震災関連資料の収集と公開， 161-191	

8. 松代群発地震関係資料収集・整理・提供（松代地震センター）

- ①平成 23 年度松代地震センター運営打ち合わせ会議開催（7 月 19 日、松代地震センター、表 2）
- ②参加メンバー情報交換用メーリングリスト作成・管理

表 2 平成 23 年度松代地震センター運営打ち合わせ会議名簿

機 関 名	出席者名
国 土 交 通 省	気象庁 地震火山部地震津波監視課 調査官
	精密地震観測室 主任研究官
	主任研究官
	観測係長
	総務係長
	長野地方気象台 台長
	東海地震防災官
国 立 大 学 法 人	東京大学地震研究所 観測開発基盤センター 教授
	信州大学 工学部 教授
独 立 行 政 法 人	防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット 総括主任研究員
	社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット 主任研究員
	社会防災システム研究領域 アウトリーチ・国際研究推進センター 自然災害情報室 特別技術員
	産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター 主幹研究員
	農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 施設工学研究領域
長 野 県	危機管理部危機管理防災課 防災専門員
	担当係長
長 野 市	総務部危機管理防災課 課長
	係長
	松代支所 支所長
	消防局 局長
	警防課長
	消防局 松代消防署 署長
	副署長
	長野市立博物館 主査
学 識 経 験 者	信州大学名誉教授
松代地震センター	気象庁 精密地震観測室 室長（松代地震センター所長兼任）
	主任研究官
	主任研究官
	調査係長
	調査係技術主任
	長野県・長野市
	熊井 富美子

Ⅱ. 6. 防災等に携わる者の養成及び資質の向上

Ⅱ. 6. (1) 職員の派遣による研究開発協力

氏名	業務内容	派遣期間	派遣先機関名
青井 真	非常勤講師	H23. 9. 21～H24. 3. 31	上智大学
熊谷 博之	非常勤講師	H23. 4. 1～H24. 3. 31	京都大学防災研究所
東郷 徹宏	協力研究員	H23. 4. 15～H24. 3. 31	(独) 産業技術総合研究所 つくば中央第七事業所
鶴川 元雄	客員教授	H23. 9. 1～H24. 3. 31	静岡大学防災総合センター
藤田 英輔	理学研究科准教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東北大学大学院
藤田 英輔	山梨県特別客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	山梨県環境科学研究所
眞木 雅之	教授	H19. 4. 1～H24. 3. 31	筑波大学
三隅 良平	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東京大学空間情報科学研究センター
三隅 良平	准教授	H19. 6. 1～H24. 3. 31	筑波大学
中井 専人	客員准教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	北海道大学大学院 環境科学院
上石 勲	工学研究科客員准教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	長岡技術科学大学大学院
中山 学	客員教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	神戸学院大学
中山 学	非常勤講師	H23. 10. 1～H24. 3. 31	神戸市立工業高等専門学校
藤原 広行	理学研究科教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東北大学大学院
藤原 広行	招へい教員	H23. 7. 1～H24. 3. 31	名古屋大学大学院
井上 公	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	(独) 建築研究所
長坂 俊成	非常勤教員	H23. 10. 1～H24. 3. 31	中央大学
大楽 浩司	研究員	H22. 4. 1～H25. 3. 31	東京大学生産技術研究所
大楽 浩司	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	(独) 国立環境研究所
根岸 弘明	非常勤講師	H23. 4. 1～H24. 3. 31	京都大学防災研究所
納口 恭明	非常勤講師	H23. 4. 1～H24. 3. 31	茨城大学
今井 弘	非常勤講師	H23. 9. 26～H23. 11. 29	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科
石坂 雅昭	講師	H23. 10. 17～ H23. 11. 14	新潟県農業大学校
佐藤 篤司	客員教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	北海道大学大学院 環境科学院
富永 雅樹	理工学研究科講師	H23. 4. 1～H24. 3. 31	茨城大学

Ⅱ. 6. (2) 国民の防災意識向上のための講師派遣

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
岡田 義光	特別座談会「3・11からリスクマネジメントを再考する」 ～不測の事態をいかに想定するか～	H23. 8. 30	財団法人中部生産性本部
	京都大学防災研究所60周年記念式典 出席	H23. 11. 25	京都大学防災研究所
	防災シンポジウム2011 東日本大震災に学ぶもの～いま 大地震が起きたら～ パネリスト	H23. 9. 10	松江防災シンポジウム実行委員会
	「ジャパンコンファレンス2011・真の力～震災を乗り越えて～」 講演	H23. 9. 14	メリルリンチ日本証券株式会社
	第28回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポ ジウム 招待講演	H23. 9. 27	第28回「センサ・マイクロマシンと 応用システム」シンポジウム
	木曜講演会 講師	H23. 11. 28	日本工業倶楽部
	第1回「減災・サステナブル工学」シンポジウム 特別 講演	H24. 1. 26	千葉大学大学院工学研究科

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	23年度計量記念日全国大会特別講演 講師	H23. 11. 1	社団法人日本計量振興協会
	第11回国土セイフティネットシンポジウム 開会挨拶	H24. 2. 2	特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会
	（独）日本学術振興会ワシントン研究連絡センター共催シンポジウム出席	H24. 3. 8～H24. 3. 11	独立行政法人日本学術振興会
石井 利和	長崎大学テニュアトラックシンポジウム	H23. 12. 19	国立大学法人長崎大学
関口 宏二	いしかわコンシューマー・カレッジ 講師	H23. 6. 30	石川県消費生活支援センター
	「くらしの一日講座」 講師	H23. 8. 20	静岡市
	地震対策等についての講習会 講師	H23. 10. 19	伊奈町商工会
	南加賀防災学習ネットワーク講演会 講師	H23. 11. 19	南加賀防災学習ネットワーク
関口 渉次	地震調査研究推進本部地震調査委員会（臨時会小会議） （2011年4月11日福島県浜通りの地震について）	H23. 4. 12	地震調査研究推進本部 地震調査委員会
青井 真	地震調査研究推進本部政策委員会第53回調査観測計画部会	H23. 6. 3	地震調査研究推進本部 政策委員会 調査観測計画部会
	地震調査研究推進本部政策委員会第54回調査観測計画部会	H23. 6. 8	地震調査研究推進本部 政策委員会 調査観測計画部会
	地震予知連絡会平成23年度重点検討課題検討課題運営部会（第1回）	H23. 6. 13	地震予知連絡会 重点検討課題運営部会
	第3回シンポジウム 出席	H23. 7. 14～H23. 7. 15	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点
	地下構造モデル高度化のための現地調査及び地震動予測に関する研究会出席/地震動予測に関する研究打合せ	H24. 3. 4～H24. 3. 6	京都大学防災研究所
浅野 陽一	研究打ち合わせ	H23. 11. 2	東北大学大学院理学研究科
武田 哲也	富士川河口～南アルプス南端部横断探査測線決定のための踏査	H23. 6. 1～H23. 6. 3	帝京平成大学
	国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）の研究打合せ	H23. 12. 2	東北大学大学院理学研究科
	国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）における「2011年東北地方太平洋沖地震による東日本地域の地殻構造の地震波速度変化と地殻変動」に関する研究打合せ	H24. 3. 12～H24. 3. 18	東北大学大学院理学研究科
	東北地方の断層モデルワークショップ	H24. 2. 27～H24. 2. 29	東京大学地震研究所
松原 誠	Wooan Kim教授との研究打合せ、発表、韓国気象庁での地震活動に関する会議への出席	H23. 10. 29～H23. 11. 6	慶尚（Gyeongsang）国立大学
	「筑波大学・アジア太平洋経済協力（APEC）国際会議 授業研究による算数・数学教育の確信（VI）」 出席と講演	H24. 2. 15	筑波大学教育開発国際協力研究センター
	東北地方の断層モデルワークショップ	H24. 2. 27～H24. 2. 29	東京大学地震研究所
功刀 卓	高校出前講座 講師	H23. 6. 27～H23. 6. 28	公益社団法人 日本地震学会
ネルソン・ブリード	4th IASPEI/IAEE International Symposiumに出席及び発表	H23. 8. 23～H23. 8. 28	千葉大学大学院工学研究科
	平成21年度地球規模課題対応国際科学技術事業 「ペルーにおける地震・津波減災技術の向上」に関する研究打合せ及び現地調査	H24. 2. 20～H24. 2. 27	千葉大学大学院工学研究科
	地球規模課題対応国際科学技術協力事業 地震・津波災害軽減国際シンポジウム 出席	H24. 3. 14～H24. 3. 16	千葉大学大学院工学研究科
エネスク・ボグダン・ドゥミトル	International Symposium on Statistical Modeling and real-time Probability Forecasting for Earthquakesでの招待講演および事前打ち合わせ	H24. 3. 12～H24. 3. 14	情報・システム研究機構 統計数理研究所
棚田 俊收	横浜建物管理協同組合 講演	H23. 6. 24	横浜建物管理協同組合

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	「東日本大震災と神奈川県」 講師	H23. 9. 9	神奈川県中小企業団体中央会
	第1回中小企業震災危機対策研究会 講師	H23. 9. 28	神奈川県中小企業団体中央会
島田 誠一	GPSデータ解析ソフトウェアの導入・調整、解析実技指導	H23. 8. 30～H23. 9. 2	富山大学大学院理工学研究科
鶴川 元雄	「富士山自然ガイド・スキルアップセミナー」 講師	H23. 4. 23	山梨県環境科学研究所
	「火山防災研修会」 講師	H23. 5. 21	山梨県環境科学研究所
	大学院特別講義 「世界で一番隆起速度の大きい硫黄島カルデラの地球物理学的研究」	H23. 11. 17	日本大学大学院総合基礎科学研究科
	環富士山火山防災連絡会定期協議会 講師	H24. 1. 24	環富士山火山防災連絡会
	第44回ふじのくに防災学講座 講演	H24. 2. 18	静岡大学防災総合センター
	「火山学」 講義	H24. 3. 10	静岡大学防災総合センター
小澤 拓	ひずみ集中帯におけるGPS観測の実施	H23. 9. 12～H23. 9. 14	名古屋大学大学院環境学研究科
	「SARを用いた地震火山活動に伴う地殻変動の検出」に関する成果報告会において発表	H23. 12. 18～ H23. 12. 22	東京大学地震研究所
	地殻変動研究集会への参加及び発表	H24. 3. 27～H24. 3. 28	名古屋大学大学院環境学研究科
	ひずみ集中帯におけるGPS観測の実施	H23. 11. 8～H23. 11. 10	名古屋大学大学院環境学研究科
小村健太郎	ネットワークMT観測	H23. 5. 29～H23. 5. 31	東京大学地震研究所
藤田 英輔	防災研究所特別推進研究公開研究集会での講演	H23. 7. 13～H23. 7. 15	京都大学防災研究所
	火山災害管理に関する講演・協議会	H23. 10. 28	国会緊急事態管理局
熊谷 博之	「ぼうさいカフェ」	H23. 5. 15	全国労働者共済生活協同組合連合会
山田 隆二	福島県土壌調査	H23. 6. 26～H23. 6. 29	大阪大学核物理研究センター
山下 太	「ぼうさいカフェ」	H23. 5. 15	全国労働者共済生活協同組合連合会
河野 裕希	国際学術会議出席	H23. 8. 22～H23. 9. 1	国立大学法人北海道大学
	ひずみ集中帯におけるGPS観測の実施	H23. 11. 8～H23. 11. 10	名古屋大学大学院環境学研究科
田中佐千子	国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）の研究打合せ	H23. 12. 2	東北大学大学院理学研究科
宮城 洋介	JICA研修におけるACTION PLAN発表会へコメンテーターとして参加	H24. 2. 27	名古屋大学大学院環境学研究科
長井 雅史	研究集会「阿蘇火山の活動に関する検討会」出席と成果報告・情報収集	H23. 12. 19～ H23. 12. 20	東京大学地震研究所
	京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点委員会出席 防災研究所研究発表講演会出席	H24. 2. 20～H24. 2. 21	京都大学防災研究所
眞木 雅之	自然災害研究協議会出席	H24. 3. 16～H24. 3. 17	京都大学防災研究所
	「GPM利用検討委員会」 出席	H24. 2. 2	東海大学 情報技術センター
三隅 良平	研究開発評価活動に関する意見交換	H23. 12. 16	文部科学省科学技術・学術政策局
酒井 直樹	ニカラグアでの科学技術研究員	H23. 6. 19～H23. 7. 3	独立行政法人国際協力機構
酒井 直樹	「マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究」	H23. 7. 10～H23. 7. 14	千葉大学環境リモートセンシング研究センター
下川 信也 飯塚 聡	集中豪雨防災防止のための降雨予測についての情報提供	H23. 7. 19～H23. 7. 20	岐阜大学工学部
櫻井南海子	第182回生存圏シンポジウム：赤道大気レーダーシンポジウム参加	H23. 9. 8～H23. 9. 9	京大大学生存圏研究所
清水 慎吾	超高精度メソスケール気象予測の実証研究に関して、準備研究の成果報告、議論	H23. 6. 2～H23. 6. 3	独立行政法人海洋研究開発機構
	HPCI戦略プログラム分野3「防災・減災に資する気象・気候・環境予測研究」におけるサブ課題「超高精度メソスケール気象予測の実証」研究の進捗状況確認、打合せ	H23. 9. 28	独立行政法人海洋研究開発機構
	WMO/WWRP workshop “use of numerical weather prediction in nowcasting”において、サブ課題に関わる研究発表・情報交換	H23. 10. 24～ H23. 10. 26	独立行政法人海洋研究開発機構

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	報収集		
	平成23年度名古屋大学地球水循環研究センター共同研究「偏波レーダ高度利用とそれによる雲・降水・大気水循環研究」研究集会参加	H23. 12. 15	名古屋大学大学院水循環研究センター
	初級者向けの「京」の利用講習会受講	H24. 1. 30	独立行政法人海洋研究開発機構
	超高精度メソスケール気象予測の実証研究に関する成果報告と今度の研究について議論	H24. 3. 22	独立行政法人海洋研究開発機構
金 東順	Xバンドデュアル偏波レーダーに関する議論	H24. 3. 18～H24. 3. 22	国立釜慶大学
阪上 最一	「マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究」	H23. 7. 10～H23. 7. 14	千葉大学環境リモートセンシング研究センター
	「マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究」に関する打合せ及び調査	H23. 9. 11～H23. 9. 16	千葉大学環境リモートセンシング研究センター
佐藤 威	中越市民防災安全大学 講師	H23. 9. 10	（社）中越防災安全推進機構
	「チャレンジ体験教室」 講師	H23. 9. 11	長岡市立与板小学校
	モーニングセミナー 講師	H23. 11. 16	見附市倫理法人会
	雪崩講習会 講師	H24. 1. 31	明星セメント株式会社 田海鉱業所
中井 専人	「チャレンジ体験教室」 講師	H23. 9. 11	長岡市立与板小学校
	国際沿岸海洋研究センター共同利用研究集会No. 101参加	H23. 11. 11～ H23. 11. 13	東京大学大気海洋研究所
阿部 修	山形自動車道 月山IC雪崩対策現地検討会	H23. 4. 22	東日本高速道路（株） 東北支社山形管理事務所
	平成23年度創立記念講演会講師 「星と雪の世界」～発想の転換～	H23. 4. 28	県立新庄北高等学校
	山形自動車道 月山IC雪崩対策現地検討会	H23. 5. 23	東日本高速道路（株） 東北支社山形管理事務所
	研修会 講師	H23. 7. 1	山形県技術士会
	月山雪崩における対策工検討、管理手法に関する技術指導	H23. 9. 28	東北地方整備局 山形河川国道事務所
	平成23年度第3回やまがたゆきみらいシンポジウム「雪と建築」パネラー	H23. 11. 12	山形県村山総合市庁
	雪崩災害防止功労者 表彰式	H23. 12. 6	雪崩防災週間実行委員会
	雪崩災害訓練 講師	H24. 2. 8～H24. 2. 9	東北電力株式会社 福島支店
	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 21・H24. 2. 22・ H24. 2. 24・H24. 2. 27	東北地方整備局 道路部
	雪崩現地調査、雪崩発生予見、雪崩対策	H24. 3. 5～H24. 3. 6	山形県
	2011年度第4回理事会	H24. 3. 26	社団法人 日本雪氷学会
	雪崩危険箇所の観察・点検	H23. 4. 25	国土交通省長岡国道事務所 湯沢維持出張所
上石 勲	日東道冬期交通対策検討会議	H23. 4. 27	国土交通省北陸地方整備局 羽越河川国道事務所
	山形自動車道 月山IC雪崩対策現地検討会	H23. 5. 23	東日本高速道路（株） 東北支社山形管理事務所
	講演会講師 「十日町・津南地域の地震、雪崩被害をめぐって」	H23. 6. 16	NP0法人水環境技術研究会
	第4回けんせつセミナー2011「雪氷技術」	H23. 7. 19	財団法人新潟県建設技術センター
	月山雪崩における対策工検討、管理手法に関する技術指導	H23. 9. 28	東北地方整備局 山形河川国道事務所
	平成23年度「雪崩防災週間実行委員会」	H23. 11. 10	社団法人日本雪氷学会

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	職員研修 講師	H23. 12. 5	北陸地方整備局
	「融雪型火山泥流の発生機構解明に向けた基礎研究」研究打合せ会議	H23. 12. 10～ H23. 12. 11	京都大学 防災研究所
	雪崩災害に対する警戒態勢の強化に係る説明会（上中越地区）	H23. 12. 20	新潟県土木部砂防課長
	雪崩災害に対する警戒態勢の強化に係る説明会（下越地区）	H23. 12. 22	新潟県土木部砂防課長
	産学官テーマ推進委員会 出席	H24. 1. 7	町田建設株式会社
	第22回雪崩対策の基礎技術研修会における講師	H24. 1. 26～H24. 1. 27	社団法人 日本雪氷学会
	雪崩講習会 講師	H24. 1. 31	明星セメント株式会社 田海鉱業所
	第27回雪シンポジウム in 十日町 パネルディスカッション	H24. 2. 1	第27回雪シンポジウム in 十日町実行委員会
	雪崩危険箇所調査	H24. 2. 2	新潟県農林水産部治山課
	新潟県豪雪対策本部会議（第2回）	H24. 2. 3	新潟県防災局
	雪崩危険箇所の調査及び技術指導	H24. 2. 3	新潟県土木部
	雪崩危険箇所の調査及び技術指導	H24. 2. 4	新潟県上越地域振興局
	ヘリコプターによる県管理道路の雪崩調査	H24. 2. 5・H24. 2. 13・ H24. 2. 14	新潟県土木部道路管理課
	新潟県豪雪対策本部会議（第3回）	H24. 2. 10	新潟県防災局
	糸魚川市シャルマン火打ちスキー場における行方不明者捜索方法検討会	H24. 2. 14	新潟県防災局
	雪崩危険箇所パトロール研修会	H24. 2. 15	新潟県農林水産部治山課
	雪崩危険箇所の観察・点検	H24. 2. 16	株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟 上越事業所
	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 20	東北地方整備局 道路部
	雪崩危険箇所点検研修会	H24. 2. 21	中越地域治山林道協会
	雪崩危険箇所の調査及び技術指導	H24. 2. 23	新潟県上越地域振興局 地域整備部
	雪崩危険箇所の状況確認	H24. 3. 1	東北電力株式会社 長岡技術センター
	国道113号雪崩調査	H24. 3. 2	北陸地方整備局 新潟国道事務所
	雪崩危険箇所の観察・点検	H24. 3. 16	国土交通省長岡国道事務所 湯沢維持出張所
	雪崩危険箇所の調査及び技術指導	H24. 3. 20	新潟県上越地域振興局 地域整備部
山口 悟	熱中！夢中！夢づくり教育「うちの子を理科好きにしよう」第3回、第6回	H23. 7. 10 H23. 8. 28	長岡市立科学博物館
	氷河湖形成モデルに関する研究打ち合わせ	H23. 7. 26～H23. 7. 28	名古屋大学大学院環境学研究科
	「氷河の流動および変動に関する観測技術の進化」の研究集会出席のため（研究集会3）	H23. 8. 8～H23. 8. 10	北海道大学低温科学研究所
	「チャレンジ体験教室」 講師	H23. 9. 11	長岡市立与板小学校
	「積雪変質モデルを用いた山岳域の積雪底面流出量の画的分布の時間変化予測の検証」の共同研究	H23. 10. 7～H23. 10. 9	北海道大学低温科学研究所
	研究集会「ヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水に関する研究」 参加	H23. 10. 30～H23. 11. 2	名古屋大学大学院環境学研究科
	講演会「雪崩から身を守るために」 講師	H23. 11. 15	（社）日本雪氷学会 北海道支部
	GRENE雪氷課題会合 出席	H23. 11. 17～ H23. 11. 18	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	「融雪型火山泥流の発生機構解明に向けた基礎研究」研究打合せ会議	H23. 12. 10～ H23. 12. 11	京都大学 防災研究所

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	GRENE雪氷課題・氷河課題 出席	H23. 12. 12～ H23. 12. 13	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	GRENE事業 雪氷課題 積雪サブ課題会合、陸域課題 会合	H23. 12. 19～ H23. 12. 20	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	『積雪変質モデルを用いた山岳域の積雪底面流出量の画的分布の時間変化予測の検証』の共同研究（一般52）	H24. 1. 11～H24. 1. 13	北海道大学低温科学研究所
	第22回雪崩対策の基礎技術研修会における講師	H24. 1. 26～H24. 1. 27	社団法人 日本雪氷学会
	H24年度グリーンランド調査打合せ	H24. 2. 1～H24. 2. 2	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	積雪変質モデルの比較議論及び積雪粒径測定に関する情報交換	H24. 2. 12～H24. 2. 18	気象研究所
	「融雪型火山泥流の発生機構解明に向けた基礎研究」平成23年度第3回研究委員会	H24. 2. 23	京都大学防災研究所
	2011年度第4回理事会	H24. 3. 26	社団法人 日本雪氷学会
	GRENE雪氷課題打合せ	H24. 3. 28～H24. 3. 29	情報・システム研究機構 国立極地研究所
平島 寛行	「融雪型火山泥流の発生機構解明に向けた基礎研究」研究打合せ会議	H23. 12. 10～ H23. 12. 11	京都大学 防災研究所
	『積雪変質モデルを用いた山岳域の積雪底面流出量の画的分布の時間変化予測の検証』の共同研究（一般52）	H24. 1. 11～H24. 1. 13	北海道大学低温科学研究所
	第22回雪崩対策の基礎技術研修会における講師	H24. 1. 26～H24. 1. 27	社団法人 日本雪氷学会
	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 20	東北地方整備局 道路部
小杉 健二	山形自動車道 月山IC雪崩対策現地検討会	H23. 4. 22	東日本高速道路（株） 東北支社山形管理事務所
	一般国道112号雪崩発生事象における対策検討会	H23. 8. 25	東北地方整備局 山形河川国道事務所
	雪崩事故防止講習会における講師派遣	H24. 1. 14～H24. 1. 15	月山朝日ガイド協会
	雪崩災害訓練 講師	H24. 2. 8～H24. 2. 9	東北電力株式会社 福島支店
	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 21・H24. 2. 22・ H24. 2. 24・H24. 2. 27	東北地方整備局 道路部
	雪崩緊急点検	H24. 3. 6～H24. 3. 7	福島県道路管理課
根本 征樹	「吹雪シュミレーションに関する講習会」 講師	H23. 9. 6～H23. 9. 7	独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所
	「雪崩災害防止訓練」 講師	H24. 2. 7	東北電力株式会社 秋田支店
	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 21・H24. 2. 22・ H24. 2. 24・H24. 2. 27	東北地方整備局 道路部
	雪崩現地調査、雪崩発生予見、雪崩対策	H24. 3. 5～H24. 3. 6	山形県
本吉 弘岐	雪氷リモートセンシングアルゴリズムコード移植	H23. 10. 29～H23. 11. 1	気象研究所
佐藤 研吾	雪崩危険箇所緊急点検	H24. 2. 21・H24. 2. 22・ H24. 2. 24・H24. 2. 27	東北地方整備局 道路部
梶原 浩一	「これまでの経験による研究の魅力について（個人的主観）」 講演	H23. 11. 2	神戸大学大学院工学研究科
佐藤 栄児	大規模災害に対応した保健・医療・福祉サービスの構造、設備管理 運営体制等に関する研究の一環で行う調査の打合せ	H23. 9. 16	工学院大学 建築学部建築デザイン学科
井上 貴仁	新春講演会 講師	H24. 1. 26	大東京歯科用品商協同組合
中村いずみ	原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ 事後評価委員会（戦略的原子力共同研究プログラム 物理・工学系分科	H23. 11. 14	独立行政法人科学技術振興機構 原子力業務室

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	会)		
山下 拓三	「HPCI戦略プログラム」次世代スパコン・プロジェクト研究打合せ	H23. 6. 15～H23. 6. 16	東京大学地震研究所
	「HPCI戦略プログラム」次世代スパコン・プロジェクト研究打合せ	H23. 8. 11	東京大学地震研究所
	「HPCI戦略プログラム」次世代スパコン・プロジェクト研究打合せ	H23. 10. 17	東京大学地震研究所
	「HPCI戦略プログラム」次世代スパコン・プロジェクト研究打合せ	H23. 12. 19	東京大学地震研究所
	「HPCI戦略プログラム」次世代スパコン・プロジェクト研究打合せ	H24. 2. 8	東京大学地震研究所
吉澤 陸博	「地震の基礎知識について」「梅田センタービルの緊急地震速報システムについて」 講師	H23. 6. 20	ダイキン工業株式会社
	「地震に関する最近の話題-長周期地震動とは」 講師	H23. 6. 28	DN建物管理株式会社
	地震に関する最近の話題-地震？そのとき高層ビルは？- 講師	H23. 7. 7	株式会社 神戸商工貿易センター
	第16回「震災対策技術展」 講師	H24. 2. 3	「震災対策技術展」実行委員会 一般社団法人 日本地震工学会
藤原 広行	第69回名古屋大学防災アカデミー「地震リスクに知で備えるー防災科研における地震災害軽減に向けた取り組み」での講演	H23. 5. 18～H23. 5. 19	名古屋大学大学院環境学研究科
	「災害対応システム意見交換会」 講師	H23. 6. 21	独立行政法人 科学技術振興機構
	減災連携研究に係る企画・調整及び会議出席	H23. 7. 1～H24. 3. 31	名古屋大学大学院環境学研究科
	平成23年度茨城県原子力安全協定推進協議会「特別講演会」講師「茨城県における地震の現状と今後想定すべき地震について」	H23. 8. 4	茨城県原子力安全協定推進協議会
	平成23年度千葉県高等学校教育研究会理科部会理科主任研究協議会	H23. 8. 19	千葉県高等学校教育研究会 理科部会
	シンポジウムでの講演および研究打合せ	H24. 1. 6	名古屋大学減災連携研究センター
	科学技術シンポジウム「システム構築による重要課題の解決に向けて」への出席及び講演	H24. 3. 2	独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター
	平成24年度新規研究開発領域「コミュニティがつながる安全・安心な都市・地域の創造～ロバストでレジリエントな社会の構築を目指して～」 第2回領域具体化ワーキンググループ 参加	H24. 3. 7	独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
	(独)日本学術振興会ワシントン研究連絡センター共催シンポジウム出席	H24. 3. 8～H24. 3. 11	独立行政法人日本学術振興会
井口 隆	講義 自然災害とリスク・マネジメント「土砂災害」 講師	H23. 5. 25	横浜市立大学
	特定研究集会「深層崩壊の実態、予測、対応」に参加、発表及び情報収集	H24. 2. 18～H24. 2. 19	京都大学防災研究所
井上 公	フィジー・地震観測網の運用プロジェクト短期派遣専門家（地震学）	H23. 7. 7～H23. 7. 22	独立行政法人国際協力機構
	フィジー・地震観測網の運用プロジェクト短期派遣専門家（地震学）	H23. 10. 14～H23. 11. 4	独立行政法人国際協力機構
	平成23年度グローバル地震観測コース 講師	H24. 1. 26 ・ H24. 1. 27 ・ H24. 2. 14	独立行政法人建築研究所
佐藤 正義	ニカラグア・マナグア湖南部流域におけるマルチハザード調査研究短期派遣	H24. 3. 3～H24. 3. 12	独立行政法人国際協力機構

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
長坂 俊成	火山防災・復興フォーラム 「火山の麓にくらす～新燃岳の噴火から学ぶこと～」	H23. 5. 13	宮崎県小林市
	「産業技術実用化開発事業費補助金（次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・実証事業）＜G空間プロジェクト分野＞」公募評価委員会	H23. 6. 10	経済産業省
	平成23年度（第71回）関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会分科会コーディネーター	H23. 6. 23	財団法人茨城県民政委員児童委員協議会
	「特別講義Ⅵ」 講師	H23. 7. 8	宮城大学
	シンポジウム「大震災被災地の過去、現在、未来の記録と活用-311まるごとアーカイブスについて」 討論者	H23. 7. 31	サイエンス映像学会
	社会活動セミナー 講演	H23. 8. 23	ニフティ株式会社
	平成23年度「静岡県ふじのくに防災士養成講座」 災害リスク情報の相互運用と活用 講師	H23. 9. 7	静岡県危機管理監
	「産業連関表を用いた科学技術の経済的効果のモデル検討」に関する第3回勉強会	H23. 9. 9	科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター
	平成23年度「社会貢献プログラム-東日本大震災からの復興支援を目指して-」 講師	H23. 9. 18/25	茨城県県南生涯学習センター
	クラウドユーザー研究会 第2フェーズ第四回研究会 基調講演	H23. 9. 29	株式会社 三菱総合研究所 公共ソリューション本部
	「災害リスク情報プラットフォーム学習会」 講演	H23. 11	埼玉県吉川市市民生活部
	「インドネシア政府防災研修＜第1期＞」 講師	H23. 11. 4	立命館大学国際部長
	シリーズセミナー「原子力の安全を問う」～巨大技術のリスクは制御できるか～ 第3回公開討論会 講演及びパネル討論	H23. 11. 12	財団法人エネルギー総合工学研究所
	「大学院 環境エネルギー工学特別講義Ⅱ（集中）」 講義	H23. 11. 17	大阪大学大学院工学研究科
	制度的管理に関する意見交換会 出席	H23. 12. 7	公益財団法人 原子力安全研究協会
	トークイベント 講演	H23. 12. 17	独立行政法人科学技術振興機構 日本科学未来館
	茨城県防災ボランティアネットワークのあり方検討会 講師	H23. 12. 19	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
	地域防災等に関する講演	H23. 12. 20	つくばセンター地区活性化協議会
	平成23年度 藤沢市地域防災活動推進大会防災講演会 講師	H24. 1. 21	藤沢市防災組織連絡協議会 藤沢市
	平成23年度「社会貢献プログラム－サロンリーダー災害研修会－」 講義	H24. 1. 22	茨城県県南生涯学習センター
	第11回国土セイフティネットシンポジウム 講演	H24. 2. 2	特定非営利活動法人 リアルタイム 地震情報利用協議会
	「第5回つくば産学連携促進市 in アキバ」講師	H24. 2. 7	つくば市
	「今後の災害時帰宅困難者対応を産学官で考える」シンポジウム 講師	H24. 2. 10	総務省関東総合通信局 無線通信部
	「震災をふまえた持続可能なまちづくり検討会」 講演	H24. 2. 20	地球環境関西フォーラム
	研究大会シンポジウム「東日本大震災と図書館」 講演と討論	H24. 2. 20	日本図書館研究会
	シンポジウム「東日本大震災の記録の収集と保存」 出席	H24. 3. 14	国立国会図書館情報部
	「東日本大震災と藤沢市」	H24. 3. 15	藤沢市防災組織連絡協議会
	第22回Webインテリジェンスとインタラクション研究会	H24. 3. 18	社団法人 電子情報通信学会 Webインテリジェンスとインタラク

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
			シ ョ ン 研 究 会
大 楽 浩 司	国際リスクモデリングワークショップ 出席	H24. 2. 8～H24. 2. 10	文部科学省科学技術・学術政策局
	The Third International Regional Model Intercomparison Project	H24. 2. 27～H24. 2. 29	Department of Atmospheric Sciences, Yonsei University
森 川 信 之	強震動ワークショップに出席/強震動予測手法についての 研究打合せ	H24. 3. 5～H24. 3. 6	京都大学防災研究所
岩 城 麻 子	「おしゃべりサイエンス」第7回茶話会	H23. 11. 20	Science Air「おしゃべりサイエンス」 事務局
須 永 洋 平	平成23年度「社会貢献プログラムー東日本大震災からの復 興支援を目指してー」 講師	H23. 9. 18・H23. 9. 25	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度「災害支援ボランティア講座」講師	H23. 9. 27	水戸市社会福祉協議会
	講演会「防災基礎講座～地図で考えるわが町の防災」 講 師	H23. 11. 23	横浜市教育委員会事務局 緑図書館
田 口 仁	「地球環境論」 講師	H23. 6. 6	中部大学
	文化遺産オンラインへのGISの活用についての事例報告	H23. 7. 3	大手前大学史学研究所
	ソーシャルクラウドワーキンググループ主査会（第3回会 合）	H23. 9. 28	株式会社 三菱総合研究所 情報技術研究センター
	平成23年度専門課程地域情報コミュニケーション研修 講師	H23. 10. 12	国土交通省 国土交通大学校
	「地球環境論」 特別講師	H23. 12. 1	中部大学
	平成23年度専門課程地域防災GIS[水災害]研修 講師	H23. 12. 6	国土交通省 国土交通大学校
	GIS導入、利用部署等職員を対象とした研修会 講師	H24. 2. 9	藤沢市
	寄付研究部門「次世代社会基盤情報」第6回定例会議	H24. 2. 22	東京大学空間情報科学研究センター
	平成23年度 専門課程 地域防災G I S [地震災害] 研 修	H24. 2. 23	国土交通省 国土交通大学校
坪 川 博 彰	「東日本大震災と今後の防災」 講師	H23. 7. 15	つくば市シルバークラブ連合会
	平成23年度「実践的な防災授業推進のための教員及び管理 職研修」 講話「防災ラジオドラマの実践について」	H23. 8. 22	千葉県教育庁教育振興部 学校安全保健課
	平成23年度「社会貢献プログラムー東日本大震災からの復 興支援を目指してー」 講師	H23. 9. 18・H23. 9. 25	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度「災害支援ボランティア講座」講師	H23. 9. 27/28	水戸市社会福祉協議会
	平成23年度「自治会長のつどい」 講師	H23. 11. 3	藤沢市
	平成23年度「山形学」講座 講師	H23. 11. 12	財団法人山形県生涯学習文化財団
	燕大学（燕市生涯学習課成人教育事業） 講師	H23. 11. 15	燕市教育委員会生涯学習課
	「平成23年度川口市防災研修会」 講師	H24. 2. 4	川口市
	平成23年度「荃崎ボランティアふれあい交流会」 講師	H24. 3. 10	社会福祉法人 つくば市社会福祉協 議会
	平成23年度「シニアライフ発見講座」 講師	H24. 3. 16	社会福祉法人 つくば市社会福祉協 議会
土 志 田 正 二	八方尾根調査	H23. 10. 14～ H23. 10. 17	帝京平成大学現代ライフ学部
	特定研究集会「深層崩壊の実態、予測、対応」に参加、発 表及び情報収集	H24. 2. 18～H24. 2. 19	京都大学防災研究所
	プロジェクト終了後の社会実装及び継続研究の人材育成 を目指すマレーシア若手研究者の日本研修プログラムの 講師	H24. 2. 24	千葉大学環境リモートセンシング研 究センター
長 谷 川 信 介	「想定外とどう向き合うかーリスクのマネージメントー」	H23. 6. 17	社団法人物理探査学会

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	講師		
	「自然災害のメカニズムを知る」講座 講師	H24. 3. 20	大和市教育委員会
李 泰榮	防災リスクガバナンスについての講演	H23. 6. 23～H23. 6. 24	静岡大学工学部
	平成23年度「災害支援ボランティア講座」講師	H23. 9. 28	水戸市社会福祉協議会
	学術シンポジウムでの講演	H23. 11. 18	社団法人韓国災難情報学会
	生活支援相談員の活動記録ならびに入力補助システムの説明会における講師	H23. 12. 22	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
内山庄一郎	サイエンスショーへの出演・サバメシ体験コーナー運営	H23. 5. 14～H23. 5. 15	つくばフェスティバル実行委員会
船田 晋	平成23年度「社会貢献プログラムー東日本大震災からの復興支援を目指してー」 講師	H23. 9. 18・H23. 9. 25	茨城県県南生涯学習センター
根岸 弘明	第2回理解者・協力者連携促進分科会	H23. 6. 14	独立行政法人科学技術振興機構
納口 恭明	特別実験教室「Dr. ナダレンジャーに聞いてみよう～東日本大震災で起こったこと～」	H23. 4. 10	財団法人つくば科学万博記念財団
	防災に関する講師	H23. 4. 22	つくば市立今鹿島小学校
	第52回科学技術週間 サイエンスカフェ	H23. 4. 23	科学技術団体連合事務局
	サイエンスショーへの出演・サバメシ体験コーナー運営	H23. 5. 14～H23. 5. 15	つくばフェスティバル実行委員会
	ドクター・ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 5. 20	かずみがうら市立美並小学校
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 5. 21	茨城県鹿行生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 5. 25	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 6. 5	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 6	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 10	茨城県水戸生涯学習センター
	土砂災害防止月間イベント「砂防フェア2011」	H23. 6. 11	財団法人 立山カルデラ砂防博物館
	ナダレンジャー講演	H23. 6. 14	つくば市立北条小学校
	平成23年度 おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室 (塚原小学校)	H23. 6. 16	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室 (常盤小学校)	H23. 6. 16	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 17	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 17	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 18	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 6. 19	茨城県県西生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 19	茨城県水戸生涯学習センター
	Dr. ナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 20	吉沼小学校PTA会長・成人教育委員
	「Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」	H23. 6. 23	土浦市立神立小学校
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業	H23. 6. 24	茨城県鹿行生涯学習センター

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室		
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 6. 25	茨城県水戸生涯学習センター
	科学実験教室	H23. 6. 25	財団法人茨城県科学技術振興財団 つくばサイエンスツアーオフィス
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 6. 26	茨城県県南生涯学習センター
	親子で学ぼう！Dr. ナダレンジャーの防災・減災・サバイバル	H23. 7. 1	つくば市立島名小学校
	ナダレンジャー講演	H23. 7. 2	つくば市立沼崎小学校
	ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 7. 4	土浦市立土浦第二小学校PTA・家庭教育委員会
	おもしろ理科先生 ドクター・ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 7. 5	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 7. 6	茨城県県北生涯学習センター
	Dr. ナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 7. 12	土浦市立右舂小学校
	婦人防火クラブ等研修会 「自然災害科学実験教室」	H23. 7. 14	盛岡地区広域消防組合
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 7. 15	茨城県水戸生涯学習センター
	「ダイキ防災カフェ」 Dr. ナダレンジャーによる自然災害実験	H23. 7. 16	ダイキ株式会社
	自然災害メカニズムのサイエンスショー	H23. 7. 17	吉沼幼稚園
	横手城南高校高大連携授業 講師	H23. 7. 21	秋田県立横手城南高等学校
	ドクターナダレンジャーによるサイエンスショー	H23. 7. 24	練馬区立豊溪小学校
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 7. 28	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 7. 29	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度夏休み防災教室	H23. 8. 4/11/18/24	石川県危機管理監
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 5	茨城県水戸生涯学習センター
	サイエンスショー	H23. 8. 6	立山カルデラ砂防博物館
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 7	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 9	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 10	茨城県県南生涯学習センター
	駅前「子どもふれあい広場」における科学実験教室	H23. 8. 12	結城市子育て支援隊
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 17	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 17	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度元氣いばらき子育て成事業「あたごまなびいランド」 防災体験！アンビリバーボー講師	H23. 8. 19	茨城県水戸生涯学習センター
	全労済「ぼうさいカフェ」 Dr. ナダレンジャーによる自然災害実験	H23. 8. 21/28・H23. 9. 3	全国労働者共済生活協同組合連合会

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 8. 23	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 1	茨城県水戸生涯学習センター
	「子ども教室」での科学実験教室	H23. 9. 4	八千代町教育委員会
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 10	茨城県水戸生涯学習センター
	妙高地域における防災力向上シンポジウムにおける防災 科学実験	H23. 9. 11	社団法人新井青年会議所
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 13	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 14	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 15	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 25	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 27	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 9. 28	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 3	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 4	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 7	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 7	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 14	茨城県水戸生涯学習センター
	「ながおか防災フェア2011 子ども防災教室」	H23. 10. 16	社団法人中越防災安全推進機構
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 17	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 18	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 20	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 21	茨城県水戸生涯学習センター
	職業体験広場「はたらキッズ」	H23. 10. 23	下妻市商工会青年部
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 25	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 26	茨城県水戸生涯学習センター
	Dr. ナダレンジャー防災科学実験ショー	H23. 10. 27・H23. 10. 31	港区高輪地区総合支所
	Dr. ナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 10. 29	つくば市立桜南小学校 PTA本部
	平成23年度おもしろ理科先生	H23. 11. 2	茨城県県北生涯学習センター

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室		
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 3	茨城県県西生涯学習センター管理事務所
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 4	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 6	茨城県鹿行生涯学習センター管理事務所
	スーパーサイエンスハイスクール事業 「先端科学」講義	H23. 11. 8	名城大学附属高等学校
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 10	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度 日曜子ども科学広場事業 ドクターナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 11. 12	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクター・ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H23. 11. 14	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 15	茨城県水戸生涯学習センター管理事務所
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 16	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 19	茨城県県南生涯学習センター
	「ぼうさいカフェ in みやざき」 Dr. ナダレンジャーによる自然災害実験	H23. 11. 20	全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 21	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度木津川市立学校教員研究会第3回研修会 「ドクターナダレンジャーの感性でとらえる自然災害の科学実験教室」	H23. 11. 22	独立行政法人日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所
	Dr. ナダレンジャーの防災ふしぎ実験	H23. 11. 24～ H23. 11. 25	特定非営利活動法人 神通砂防
	「青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会 鹿嶋会場」 講師	H23. 11. 27	青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 28	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 11. 29	茨城県水戸生涯学習センター管理事務所
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 12. 2	茨城県県北生涯学習センター
	スーパーサイエンスハイスクール特別研究 講師 「防災科学実験 サバメシ」	H23. 12. 3	愛知県立一宮高等学校
	児童生徒向け科学の実験等	H23. 12. 4	科学フェスタ&文化講演会 in ITAKO 実行委員会
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 12. 6	茨城県水戸生涯学習センター管理事務所
	おもしろ理科教室 Dr. ナダレンジャーの科学実験	H23. 12. 8	八千代町立川西小学校
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 12. 9	茨城県水戸生涯学習センター管理事務所
	「Dr. ナダレンジャーの自然災害実験ショー」	H23. 12. 10～ H23. 12. 11	徳島県立あすたむらんど指定管理者

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 12. 14	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H23. 12. 18	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H24. 1. 15	茨城県水戸生涯学習センター管理事務所
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H24. 1. 18	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクター・ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H24. 1. 19	茨城県県北生涯学習センター
	平成23年度「社会貢献プログラム－サロンリーダー災害研修会－」 講義	H24. 1. 22	茨城県県南生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H24. 1. 27	茨城県水戸生涯学習センター
	平成23年度おもしろ理科先生 ドクターナダレンジャーの自然災害実験教室	H24. 2. 18	茨城県県北生涯学習センター
	雪崩に対する樹木の力学に関する調査および防災普及活動 講師	H24. 2. 19～H24. 2. 20	独立行政法人森林総合研究所 十日町試験地
	平成23年度 おもしろ理科先生 ドクター・ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H24. 2. 24	茨城県県南生涯学習センター
	教育講演会自然災害研修会 講師	H24. 2. 25	行方市立玉川小学校
	「教員のためのサイエンスキャンプ」 感性でとらえる自然災害の科学実験	H24. 2. 26	公益財団法人 日本科学技術振興財団
	「ぼうさいカフェ in おおさか」	H24. 3. 3	全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）
	「ぼうさいカフェ in おかやま」	H24. 3. 4	全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）
	Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室	H24. 3. 11	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
	「ぼうさいカフェ in ふくい」	H24. 3. 17	全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）
	「ぼうさいカフェ in こくら」	H24. 3. 24	全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）
今井 弘	東北地方太平洋沖地震における被災者支援	H23. 3. 29～H23. 4. 7	ピースツールズ株式会社
	東北地方太平洋沖地震における被災者支援	H23. 4. 8～H23. 4. 11	ピースツールズ株式会社
	東北地方太平洋沖地震における被災者支援	H23. 4. 16～H23. 4. 19	ピースツールズ株式会社
	日本赤十字社西スマトラ州地震復興事業におけるパダンバリアマン県にて行われる事業評価	H23. 5. 22～H23. 6. 4	特定非営利活動法人 SNS国際防災支援センター
	インドネシア・建築物耐震性向上のための建築行政執行能力向上フェーズ2 短期派遣	H24. 2. 5～H24. 2. 25	独立行政法人国際協力機構
石坂 雅昭	熱中！夢中！夢づくり教育「うちの子を理科好きにしよう」第3回、第6回	H23. 7. 10 H23. 8. 28	長岡市立科学博物館
井元政二郎	International Symposium on Statistical Modeling and real-time Probability Forecasting for Earthquakesでの招待講演および事前打ち合わせ	H24. 3. 12～H24. 3. 14	情報・システム研究機構 統計数理研究所
佐藤 篤司	「新しい雪氷計測システムの研究」に関する実験	H23. 6. 27～H23. 6. 29	富山高等専門学校
	集中講義「応用雪氷学特論」 講義	H23. 7. 11～H23. 7. 13	国立大学法人 北海道大学 大学院環境科学院

氏名	件 名	派遣期間	依頼機関（事務局）
	理数応援ニューフロンティア・プロジェクト美瑛サマースクールでの講演 「雪と氷の不思議な世界」	H23. 8. 25～H23. 8. 29	北海道大学大学院理学研究科
	「吹雪の自動観測システムを用いた南極氷床全域にわたる積雪再配分量の評価」に係る南極の吹雪に関する国際ワークショップ参加	H23. 10. 14～ H23. 10. 16	名古屋大学大学院環境学研究科
	雪害について 講師	H23. 11. 16	金沢工業大学オープンリサーチセンター 地域防災環境科学研究所
	「平成23年度防災・日本再生シンポジウム」 講師	H23. 11. 18	国立大学法人北見工業大学
	GRENE事業 雪氷課題 積雪サブ課題会合、陸域課題 会合	H23. 12. 19～ H23. 12. 20	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	GRENE雪氷課題の積雪サブ課題打合せ	H24. 1. 16	情報・システム研究機構 国立極地研究所
	講師	H24. 3. 11～H24. 3. 17	International youth scientific school

Ⅱ. 6. (3) 委員等の派遣

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
岡田 義光	「日本学術会議」連携会員	H18. 8. 6～H23. 9. 30	内閣府日本学術会議事務局
	「財団法人科学技術国際交流センター」理事	H22. 5. 31～H24. 5. 30	財団法人科学技術国際交流センター
	「社団法人日本地震学会」代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	「総合資源エネルギー調査会」臨時委員	H22. 5. 26～H23. 5. 25	経済産業省原子力安全・保安院長
	「消防研究センター研究評価委員会」委員	H22. 1. 21～H24. 3. 31	総務省消防庁消防大学校
	「科学技術・学術審議会」専門委員(防災分野の研究開発に関する委員会) (研究計画・評価分科会)	H23. 2. 8～H25. 1. 31	文部科学省研究開発局
	克雪技術研究協議会顧問	H23. 4. 15～H24. 3. 31	克雪技術研究協議会
	「東濃地震科学研究所運営委員会」委員	H23. 4. 1～H25. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
	地震ジャーナル編集委員会委員	H23. 4. 1～H25. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
	評議員	H23. 7. 1～H25. 6. 30	財団法人地震予知総合研究振興会
	「宮城県沖および福島県沖における地震活動とプレート境界大地震の発生モデルに関する研究(その2) [第1期]」研究委員会委員	H23. 8. 23～H24. 3. 26	財団法人地震予知総合研究振興会
	「地殻活動研究委員会」委員	H23. 8. 26～H25. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
	全国生涯学習ネットワークフォーラム実行委員会委員	H23. 9. 5～H24. 3. 31	文部科学省生涯学習政策局
	国際地震工学研修・普及会議委員	H23. 12. 14～H25. 3. 31	独立行政法人建築研究所
	運営会議委員	H23. 8. 1～H25. 7. 31	つくばサイエンス・アカデミー
	「長岡平野西縁断層帯の地震活動に関する調査研究委員会」委員	H23. 8. 3～H24. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
石井 利和	「社団法人日本地すべり学会」理事	H22. 6. 10～H24総会開催日	社団法人日本地すべり学会
森脇 寛	最初の評議員選定委員会委員	H23. 9. 12～センター移行登記の日	財団法人 砂防・地すべり技術センター
吉屋 寿夫	社団法人科学技術国際センター監事	H22. 5. 31～H24. 5. 30	社団法人科学技術国際センター
関口 宏二	「天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会」日本側専門部会委員	H22. 9. 14～H23. 9. 30	独立行政法人土木研究所
	東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議における専門委員	H23. 7. 11～H24. 3. 31	文部科学省スポーツ・青少年局

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
	天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会 日本側専門部会委員	H23. 8. 26～H24. 9. 30	独立行政法人土木研究所
堀 貞喜	「地震調査研究推進本部『調査観測データ流通・公開推進専門委員会』」専門委員	H15. 12. 9～終了まで	文部科学省研究開発局
	「地震調査研究推進本部（政策委員会調査観測計画部会）」専門委員	H18. 5. 9～終了まで	文部科学省研究開発局
	「地震調査研究推進本部地震調査委員会」委員	H22. 3. 11～H24. 3. 10	文部科学省研究開発局
	「科学技術・学術審議会」臨時委員	H19. 2. 10～H25. 1. 31	文部科学省研究開発局
関口 渉次	「地震調査研究推進本部地震調査委員会」委員	H23. 4. 13～審議終了	文部科学省研究開発局
	科学技術・学術審議会臨時委員 測地学分科会地震火山部会	H23. 4. 22～H25. 1. 31	文部科学省研究開発局
	公益社団法人日本地震学会「地震」編集委員会委員	H23. 4. 25～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	地震及び火山噴火予知のための観測研究計画再検討委員会	H23. 11. 17～	科学技術・学術審議会測地学分科会
	「長岡平野西縁断層帯の地震活動に関する調査研究委員会」委員	H23. 8. 3～H24. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
青井 真	「社団法人日本地震学会」代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	「地震・津波観測監視システムの開発」研究推進委員会委員	H22. 6. 16～H24. 3. 31	独立行政法人海洋研究開発機構
	地震調査研究推進本部専門委員	H23. 4. 25～終了まで	文部科学省研究開発局
	公益社団法人日本地震学会「選挙管理委員会」委員	H23. 10. 20～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	「長周期地震動に関する情報のあり方検討会」委員	H23. 11. 1～H24. 3. 31	気象庁地震火山部
汐見 勝彦	「東海・東南海・南海地震の運動性評価研究推進委員会」委員	H22. 8. 27～H24. 3. 31	独立行政法人海洋研究開発機構
	地震学会代議員	H23. 3. 18～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会 海溝型分科会（第二期）		文部科学省研究開発局
	若手学術奨励賞選考委員会委員	H24. 1. 24～H24. 5総会	公益社団法人日本地震学会
浅野 陽一	社団法人日本地震学会代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	公益社団法人日本地震学会「地震」編集委員会委員	H23. 4. 25～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
武田 哲也	地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会活断層分科会	H22任命当日～審議終了まで	文部科学省研究開発局
	社団法人日本地震学会代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会活断層分科会 活構造ワーキンググループ	H22任命当日～審議終了まで	文部科学省研究開発局
	学会情報誌編集委員会委員	H23. 4. 25～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
松原 誠	公益社団法人日本地震学会広報委員会委員	H23. 6. 30～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	神縄・国府津－松田断層帯調査研究運営委員会委員	H23. 8. 1～H24. 3. 31	東京大学地震研究所
木村 尚紀	首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東京大学地震研究所
廣瀬 仁	地震予知検討委員会委員	H23. 4. 25～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
功刀 卓	社団法人日本地震学会代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
棚田 俊收	「科学技術・学術審議会」専門委員	H23. ～H25. 1. 31	文部科学省研究開発局
	火山噴火予知連絡会	H23. 4. 1～H25. 3. 31	気象庁
	火山噴火予知連絡会霧島山（新燃岳）総合観測班幹事	H23. 4. 1～H25. 3. 31	気象庁
	火山噴火予知連絡会火山観測体制等に関する検討会	H23. 4. 1～H25. 3. 31	気象庁
	国際火山学地球内部化学協会2013年総会組織委員	H23. 7. 1～H25. 3. 31	特定非営利活動法人日本火山学会
	火山噴火予知連絡会 伊豆部会委員	H23. 12. 2～H25. 3. 31	気象庁地震火山部
島田 誠一	日本学術会議 地球惑星科学委員会 IUGG分科会IAG小委員会 委員	H24. 2. 27～H26. 9. 30	日本学術会議事務局

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
鶴川 元雄	国際火山学地球内部化学協会2013年総会組織委員	H22. 7. 1～H24. 3. 31	特定非営利活動法人日本火山学会
	「財団法人震災予防協会」評議員	H22. 6. 1～H25. 5. 31	財団法人震災予防協会
	外部アドバイザー委員	H23. 7. 7～H24. 3. 31	日本大学文理学部地球システム学科
	山梨県防災会議富士山火山部会委員	H23. 9. 9～当該審議終了まで	山梨県防災会議富士山火山部会
	「那須岳火山噴火減災対策砂防計画検討委員会」委員	H23. 9. 20 ～ H25. 3. 末日	国土交通省日光砂防事務所・栃木県県土整備部砂防水資源課
	科学研究費委員会専門委員	H23. 12. 1～H24. 11. 30	独立行政法人日本学術振興会
小澤 拓	「地震調査研究推進本部地震調査委員会（衛星データ解析検討小委員会）」専門委員	H19. 8. 1～H24. 2. 22	文部科学省研究開発局
藤田 英輔	「地球惑星科学委員会IUGG分科会IAVCEI小委員会」委員	H21. 1. 14～H23. 9. 30	内閣府日本学術会議事務局
	特定非営利活動法人日本火山学会理事	H22. 7. 1～H23. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	特定非営利活動法人日本火山学会国際委員会委員 2013年大会委員会委員及び将来計画委員会委員	H22. 7. 1～H23. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	一般社団法人日本地球惑星科学連合 国際学術委員	H22. 6. 1～H24. 5. 31	一般社団法人日本地球惑星科学連合
	山梨県特別客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	山梨県環境科学研究所
	リサイクル燃料備蓄センターに係る火山活動評価委員会委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	リサイクル燃料貯蔵株式会社
	「東北大学（大学院理学研究科）」准教授	H23. 4. 1～H24. 3. 31	国立大学法人東北大学
	特定非営利活動法人日本火山学会委員会委員	H23. 7. 1～H24. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	IAVCEI2013年準備委員会委員	H23. 7. 1～H24. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	将来計画委員会委員	H23. 7. 1～H24. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	日本学術会議 地球惑星科学委員会 IUGG分科会IAVCEI小委員会 委員	H24. 2. 27～H26. 9. 30	日本学術会議事務局
熊谷 博之	「社団法人日本地震学会」代議員	H22. 6. 2～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	海外渡航旅費助成金審査委員会委員	H23. 4. 20～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	公益社団法人日本地震学会IASPEI委員会委員	H23. 6. 3～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
	特定非営利活動法人日本火山学会委員会委員（各賞選考委員会委員）	H23. 7. 1～H24. 6. 30	特定非営利活動法人日本火山学会
	日本学術会議 地球惑星科学委員会 IUGG分科会IASPEI小委員会 委員	H24. 2. 27～H26. 9. 30	日本学術会議事務局
福山 英一	「社団法人日本地震学会」代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	学生優秀発表賞選考委員会委員	H23. 9. 14～H24. 3. 31	公益社団法人日本地震学会
御子柴 正	C L T試験体・実験方法検討サブワーキング	H23. 5. 31～H24. 2. 28	一般社団法人木を活かす建築推進協議会
野口 伸一	「天然資源の開発利用に関する日米会議（U J N R）地震調査専門部会」委員	H22. 4. 22～H24. 3. 31	国土交通省国土地理院
東郷 徹宏	協力研究員	H23. 4. 15～H24. 3. 31	独立行政法人産業技術総合研究所つくば中央第七事業所
眞木 雅之	「大学院生命環境科学研究科」教授	H19. 4. 1～定めない	筑波大学
	「共同利用・共同研究拠点委員会」委員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	京都大学防災研究所
	一般社団法人日本地球惑星科学連合 環境・災害対応委員	H22. 6. 1～H24. 5. 31	一般社団法人日本地球惑星科学連合
	「第12期水文・水資源学会」理事	H22. 9. 8～H24総会	水文・水資源学会
	「自然災害研究協議会」委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	京都大学防災研究所
	「Xバンドレーダ分科会」委員	H23. 4. 6～H24. 3. 31	財団法人 河川情報センター
岩波 越	「高度通信・放送研究開発委託研究評価委員会」専門委員	H22. 4. 23～H26. 3. 31	独立行政法人情報通信研究機構
三隅 良平	「大学院生命環境科学研究科」准教授	H19. 6. 1～定めない	国立大学法人筑波大学
	「日本気象学会」第36期委員	H22. 9. 1～H24. 6. 30	社団法人日本気象学会

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東京大学空間情報科学研究センター
	研究開発評価推進検討会委員	H23. 7. 1～H24. 3. 31	文部科学省科学技術・学術政策局
酒井 直樹	「斜面安定性検討分科会」委員	H23. 3. 1～H25. 2. 28	独立行政法人原子力安全基盤機構
	「科学技術研究員派遣支援システム調査」審査員	H23. 11. 15～H24. 3. 31	独立行政法人 日本学術振興会
佐藤 威	長岡市国民保護協議会委員	H23. 5. 9～H24. 7. 20	長岡市
	長岡市防災会議委員	H23. 5. 9～H24. 4. 30	長岡市
	「富山県総合雪対策推進会議」委員	H23. 5. 23～H24. 9. 30	富山県知事
	新潟地区気候情報連絡会構成委員		新潟地方気象台
	日本雪氷学会北信越支部副支部長（理事）	H23. 7. 4～2013年度総会日	日本雪氷学会北信越支部
	雪荷重小委員会	H23. 7. 7～H25. 3. 31	社団法人日本建築学会
	「大雪に対する防災力の向上方策検討会」委員	H23. 9. 30～H24. 3. 31	内閣府政策統括官
	産学官テーマ推進委員会 委員	H24. 1. 6～H24. 6. 30	町田建設株式会社
	十日町雪シンポジウム実行委員会 委員	H24. 1. 1～H24. 2. 1	十日町雪シンポジウム実行委員会
	「新庄市交通安全対策会議」委員	H13. 5. 21～在任中	新庄市
	「新庄市雪の里情報館雪国総合研究所」副所長	H19. 4. 1～在任中（辞任申し出るまで）	新庄市教育委員会
	「克雪技術研究協議会」特別会員	H19. 6. 29～在任中	克雪技術研究協議会
	「山形県環境影響評価審査会」委員	H20. 9. 1～H23. 8. 31	山形県
	(社) 日本雪氷学会東北支部理事兼副支部長	H22. 4. 16～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	「社団法人日本雪氷学会東北支部事業委員会」委員長	H22. 4. 16～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	「雪センターTC制度」メンバー	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人雪センター
	「社団法人日本雪氷学会吹雪分科会」会長	H21. 9. 30～H23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会
	「新庄市振興計画審議会」委員	H23. 1. 17～H25. 1. 16	新庄市
	「新庄市振興計画審議会」委員（新庄市まちづくり総合計画）	H23. 1. 17～H25. 1. 16	新庄市
中井 専人	社団法人日本雪氷学会北信越支部幹事	H21. 5. 27～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会北信越支部
	「雪氷研究大会（2011・長岡）」実行委員	H23. 1. 28～H23. 12. 31	社団法人日本雪氷学会
	日本雪氷学会北信越支部理事	H23. 7. 4～2013年度総会日	日本雪氷学会北信越支部
上石 勲	社団法人日本雪氷学会北信越支部理事	H21. 5. 27～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会北信越支部
	社団法人日本雪氷学会電子情報委員	H21. 5. 31～H23. 5. 30	社団法人日本雪氷学会
	「日本雪工学会誌」編集委員会委員	H22. 4. 8～H24. 3. 31	日本雪工学会編集委員会
	「第7回雪工学国際会議組織委員会組織委員」	H22. 5. 31～H24. 8. 31	第7回雪工学国際会議事務局
	「雪センターTC制度」メンバー	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人雪センター
	「道路防雪対策検討委員会」委員	H22. 11. 1～H23. 5. 31	新潟県知事
	社団法人日本雪氷学会評議員	H23. 5. 30～2年	社団法人日本雪氷学会
	日本雪工学会理事	H23. 6. 20～H24. 6. 30	日本雪工学会
	日本雪氷学会北信越支部理事	H23. 7. 4～2013年度総会日	日本雪氷学会北信越支部
	道路防雪対策検討委員会 委員	H23. 11. 1～H24. 5. 31	新潟県知事
山口 悟	十日町雪シンポジウム実行委員会 幹事・委員	H24. 1. 1～H24. 2. 1	十日町雪シンポジウム実行委員会
	「社団法人日本雪氷学会北信越支部」幹事	H21. 5. 27～平成23年	社団法人日本雪氷学会北信越支部

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
		度	
	「社団法人日本雪氷学会」広報委員	H21. 5. 31～H23. 5. 30	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会役員	H23. 5. 30～2年間	社団法人日本雪氷学会
	日本雪氷学会北信越支部理事	H23. 7. 4～2013年度総会日	日本雪氷学会北信越支部
小杉 健二	「社団法人日本雪氷学会東北支部」雪氷賞選考委員	H17. 10. 24～総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	「東北の雪と生活」編集委員会委員 東北雪氷賞選考委員会委員	H22. 4. 16～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	(社) 日本雪氷学会東北支部理事	H22. 4. 5～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	社団法人日本雪氷学会編集委員会委員	H23. 6. 30～2013年度総会日	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会財務委員会委員	H23. 6. 30～2013年度総会日	社団法人日本雪氷学会
	(社) 日本雪氷学会東北支部理事	H23. 6. 30～H25年度総会日	社団法人日本雪氷学会東北支部
根本 征樹	「社団法人日本雪氷学会編集委員会」委員	H17. 7. 7～総会まで	社団法人日本雪氷学会
	「社団法人日本雪氷学会」電子情報委員	H21. 5. 31～H23. 5. 30	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会東北支部県幹事	H22. 4. 16～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	「社団法人日本雪氷学会東北支部事業委員会」委員	H22. 4. 16～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	(社) 日本雪氷学会東北支部理事	H23. 6. 30～H25年度総会日	社団法人日本雪氷学会東北支部
	社団法人日本雪氷学会電子情報委員会委員	H23. 7. 4～2013年度総会日	社団法人日本雪氷学会
石坂 雅昭	社団法人日本雪氷学会北信越支部理事	H21. 5. 27～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会北信越支部
	「社団法人日本雪氷学会」評議員	H21. 5. 31～H23. 5. 30	社団法人日本雪氷学会
	「長岡市防災会議委員」	H22. 5. 1～H24. 4. 30	長岡市危機管理防災本部
	社団法人中越防災安全推進機構理事	H22. 6. 3～H24. 3. 31	社団法人中越防災安全推進機構
	「長岡市国民保護協議会委員」	H22. 7. 21～H24. 7. 20	長岡市
	「富山県総合雪対策推進会議」委員	H22. 10. 4～H24. 10	富山県知事
	日本雪氷学会北信越支部評議員	H23. 7. 4～2013年度総会日	日本雪氷学会北信越支部
佐藤 篤司	科学研究費委員会専門委員	H23. 12. 1～H24. 11. 30	独立行政法人日本学術振興会
	「地球惑星科学委員会IUGG分科会IAHS小委員会」委員	H21. 1. 14～H23. 9. 30	内閣府日本学術会議事務局
	「社団法人日本雪氷学会北信越支部」理事	H21. 5. 27～平成23年度総会まで	社団法人日本雪氷学会北信越支部
	「雪センターTC制度」メンバー	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人雪センター
	「社団法人中越防災安全推進機構」理事	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人中越防災安全推進機構
	「第7回雪工学国際会議学術委員会学術委員」	H22. 5. 31～H24. 8. 31	第7回雪工学国際会議事務局
	雪氷研究大会（2011・長岡）実行委員会委員長	H22. 12. 1～大会事業終了まで	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会学術委員会委員	H23. 6. 30～2013年度総会日	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会北信越支部評議員	H23. 7. 7～2013年度総会日	社団法人日本雪氷学会北信越支部

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
	新版雪氷辞典編集委員の委嘱について	H23. 9. 1～H24. 6. 30	社団法人日本雪氷学会
	（社）日本雪氷学会北信越支部支部賞授賞候補者選定委員	H23. 12. 8～2012年度 総会日	（社）日本雪氷学会北信越支部
	地球惑星科学委員会IUGG分科会IAHS小委員会委員	H24. 3. 19～H26. 9. 30	日本学会会議
阿部 修	社団法人日本雪氷学会東北支部副支部長兼理事	H17. 6. 22～総会まで	社団法人日本雪氷学会東北支部
	「社団法人日本雪氷学会編集委員会」委員	H17. 6. 22～総会まで	社団法人日本雪氷学会
	社団法人日本雪氷学会理事（事業委員長）	H21. 5. 31～H23. 5. 30	社団法人日本雪氷学会
	「東北の雪と生活」編集委員会委員	H22. 4. 16～平成23年 度	社団法人日本雪氷学会東北支部
	克雪技術研究協議会特別会員	H23. 4. 25～H24. 3. 31	克雪技術研究協議会
	顧問	H23. 4. 1～H24. 3. 31	やまがたゆきみらい推進機構
	「山形県環境影響評価審査会」委員	辞 令 発 令 の 日 ～ H23. 8. 31	山形市
	「新庄市雪の里情報館運営協議会」委員	H23. 5. 12～H24. 3. 31	新庄市教育委員会
	「パートナーシップ推進協議会」委員	H23. 5. 30～H24. 3. 31	山形県立新庄神室産業高等学校
	社団法人日本雪氷学会役員	H23. 5. 30～2年	社団法人日本雪氷学会
	日本雪工学会理事	H23. 6. 20～H24. 6. 30	日本雪工学会
	（社）日本雪氷学会東北支部理事	H23. 6. 30～H25年度総 会日	社団法人日本雪氷学会東北支部
	山形県環境影響評価審査会委員	辞令発令の日～3年間	山形県生活環境部みどり自然課
	新庄市振興計画審議会 委員	H24. 3. 21～H25. 1. 16	新庄市
梶原 浩一	「天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会」日本側専門部会委員	H22. 9. 14～H23. 9. 30	独立行政法人土木研究所
	「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会」委員	H23. 6. 30～H24. 3. 31	特定非営利活動法人 緑の列島ネットワーク
	兵庫県防災会議 地震災害対策計画専門委員会	H23. 7. 1～H24. 3. 31	兵庫県知事
	天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会 日本側専門部会委員	H23. 8. 26～H24. 9. 30	独立行政法人土木研究所
佐藤 栄児	日本機械学会2011年度（第89期）校閲委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	一般社団法人 日本機械学会
中村いづみ	「会誌編集委員会」委員	H22. 7. 1～H24. 3. 31	日本地震工学会
	「地盤・構造物・機器機能限界検討会」委員	H22. 12. 1～H24. 11. 30	独立行政法人原子力安全基盤機構
	「原子力規格委員会 耐震設計分科会 火山検討会」委員	H22. 12. 15～完了まで	社団法人 日本電気協会
	「中越沖地震後の原子炉機器の健全性評価委員会」委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	一般社団法人 日本原子力技術協会
	「原子力規格委員会 耐震設計分科会」委員	～H25. 3. 31	社団法人 日本電気協会
	東日本大震災調査・提言分科会 WG1委員	H23. 4. 12～H24. 3. 31	一般社団法人 日本機械学会
中山 学	地下空間研究委員会	H21. 7. 16～H23. 5. 31	社団法人土木学会
	技術者資格委員会 特別上級技術者資格小委員会	H22. 3. 17～H24. 1	社団法人土木学会
	技術者資格委員会 上級技術者資格小委員会コースA	H22. 3. 17～H24. 1	社団法人土木学会
	技術者資格委員会 上級・1級技術者資格小委員会コースB	H22. 3. 17～H24. 1	社団法人土木学会
	技術者資格委員会 上級技術者資格小委員会コースA分野別小委員会	H22. 4. 16～H24. 1	社団法人土木学会
	平成23年度 大規模盛土造成地の変動予測調査技術委員会	H23. 9. 13～H24. 3. 15	財団法人 ベターリビング
山下 拓三	強非線形問題と予測性能小委員会	H23. 4. 1～H25. 3. 31	社団法人 日本建築学会
岡崎太一郎	「一般社団法人日本地震工学会事業企画委員会」委員	H22. 6. 1～H24. 5. 31	一般社団法人日本地震工学会
藤原 広行	地震調査研究推進本部地震調査委員会 強震動評価部会委員	H14. 8. 30～終了まで	文部科学省研究開発局
	「地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会	H17. 4. 1～終了まで	文部科学省研究開発局

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
	地下構造モデル検討分科会」委員		
	「地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会活動層評価手法等検討分科会」委員	H17. 4. 1～終了まで	文部科学省研究開発局
	「地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会・強震動評価部会地震動予測地図高度化ワーキンググループ」委員	H18. 3. 31～終了まで	文部科学省研究開発局
	原子力安全技術アドバイザー	H22. 3. 15～H24. 3. 31	文部科学省 科学技術・学術政策局
	社団法人日本地震学会代議員	H22. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人日本地震学会
	「総合資源エネルギー調査会」臨時委員	H22. 5. 27～2年間	経済産業省原子力安全・保安院
	「茨城県原子力安全対策委員会」委員	H22. 8. 11～H24. 8. 10	茨城県知事
	「地震動・津波ハザード評価検討会」委員	H22. 12. 1～H24. 11. 30	独立行政法人原子力安全基盤機構
	「設計用地震動規準検討会」委員	H22. 12. 1～H24. 11. 30	独立行政法人原子力安全基盤機構
	公募選定委員		文部科学省研究開発局
	検討部会の委員（設計用入力地震動作成検討部会）	H23. 4. 25～H24. 3. 31	愛知県設計用入力地震動研究協議会
	首都直下地震防災・減災プロジェクト研究運営委員会 委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	東京大学地震研究所
	日本一中国研究交流に関する国際科学技術協力推進委員	H23. 6. 21～1年間	独立行政法人科学技術振興機構
	「駿河湾の地震における局所的増幅要因に関する研究会」委員	H23. 7. 5～H24. 3. 31	財団法人地震予知総合研究振興会
	平成23年度防災救助統合システム構築検討会	H23. 7. 13～H24. 3. 31	独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター
	茨城県地域防災計画改定委員会原子力災害対策検討部会委員	H23. 8. 30～H24. 3. 31	茨城県生活環境部原子力安全対策課
	栃木県原子力災害対策専門委員会 委員	H24. 1. 10～2年間	栃木県
	「地質・地盤等情報の整備・公開に関する検討会」委員	H24. 1. 25～H24. 3. 31	株式会社三菱総合研究所
井口 隆	応用地形判読士資格検定委員会委員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	社団法人 全国地質調査業協会連合会
	「関東地域の火山由来地盤の災害事例研究と地域特性に関する研究委員会」委員	H23. 5. 20～H24. 4. 30	公益社団法人 地盤工学会関東支部
	土砂ワーキンググループ委員	H23. 6. 16～H24. 3. 31	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙利用ミッション本部
	一般社団法人日本応用地質学会 応用地形学研究部会委員	H23. 12. 19～ H25. 10. 31	一般財団法人日本応用地質学会
	一般社団法人日本応用地質学会 災害地質研究部会 部会長	H23. 12. 28～H26. 3. 31	一般財団法人日本応用地質学会
井上 公	「国際地震工学研修カリキュラム部会」委員	H22. 6. 1～H24. 3. 31	独立行政法人建築研究所
	「独立行政法人建築研究所」特別客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	独立行政法人建築研究所
	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	独立行政法人建築研究所
長坂 俊成	平成18年度e-コミュニティ形成支援事業に関する提案審査委員会委員	H18. 6. 1～終了まで	財団法人地方自治情報センター
	「ICTを活用した住民参画のあり方に関する調査研究事業等評価委員会」委員	H18. 9. 7～事業者を決定する迄の期間	総務省自治行政局自治政策課
	「公民館運営審議会」委員	H22. 6. 1～H24. 5. 31	鶴ヶ島市富士見公民館
	「藤沢市市民電子会議室運営協議会」委員	H23. 4より運営開始	藤沢市市民活動推進連絡会
	「大船渡市災害復興計画策定委員会」委員	H23. 5. 12～（復興計画を策定するまで）	大船渡市災害復興計画策定委員会
	県域統合型GIS「防災業務支援ワーキンググループ」	H23. 6～H24. 3末	岐阜県総合企画部
	全国生涯学習ネットワークフォーラム企画実施委員会（テ	H23. 7. 22～H24. 3. 31	文部科学省生涯学習政策局

氏名	委員等の名称	委嘱期間	委嘱機関（事務局）
	ーマ2) 委員		
	「ソーシャルクラウド検討委員会」委員	H23. 7. 26～H24. 2. 29	株式会社三菱総合研究所
	防災まちづくりWG委員	H23. 9. 8～H24. 3. 2	株式会社建設技術研究所
	平成23年度つくば市地域防災訓練における実行委員	記 載 な し （ 第 1 回 H23. 10. 4）	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会
	地層処分に係る社会科学的方策検討会 委員	H23. 11. 21～H24. 3. 31	公益財団法人 原子力安全研究協会
	「バーチャル処分場検討委員会」委員	H24. 2. 9～H24. 3. 31	株式会社三菱総合研究所
	国立図書館「『東日本大震災アーカイブ』構築」に係る有識者検討会議委員	H24. 2. 15～H24. 3. 30	株式会社三菱総合研究所
大 楽 浩 司	「日本学術会議委員会（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IGBP・WCRP合同分科会MAHASRI小委員会委員）	H21. 2. 4～H23. 9. 30	内閣府日本学術会議事務局
	研究員（水循環教育研究に関する助言）	H22. 4. 1～H25. 3. 31	東京大学生産技術研究所
	IHP分科会トレーニング・コースWG委員会委員	H23. 4. 18～H24. 3. 31	日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会IHP分科会
	客員研究員	H23. 4. 1～H24. 3. 31	独立行政法人国立環境研究所
	環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS合同分科会 MAHASRI小委員会委員	H24. 1. 10～H26. 9. 30	日本学術会議
森 川 信 之	地盤振動小委員会	H23. 7. 7～H25. 3. 31	社団法人日本建築学会
大 井 昌 弘	「関東地方における地盤情報データベースの運用と活用検討委員会」幹事	H22. 7. 23～H23. 4の総会まで	社団法人地盤工学会
	「地盤情報データベースを用いた地表地質が地震動特性に及ぼす影響に関する研究委員会」委員	H23. 2. 20～H26. 3. 31	日本地震工学会
	（仮称）東日本大震災千葉県調査検討専門委員会	委嘱日～H24. 3. 31	千葉県
	関東地域における地盤情報の社会的・工学的活用法の検討委員会委員	H23. 8. 23～H24. 4総会	公益社団法人 地盤工学会関東支部
	全国電子地盤図の作成と利用に関する研究委員会 顧問委員	H23. 8. 24～H26. 3. 31	公益社団法人 地盤工学会
	茨城県地域防災計画改定委員会及び地震・津波対策検討部会 委員	H23. 8. 30～H24. 3. 31	茨城県防災会議
	「土構造物耐震化研究委員会」委員	H23. 11. 14～H26. 3. 31	公益社団法人 地盤工学会
納 口 恭 明	一般社団法人日本地球惑星科学連合 教育問題検討委員	H22. 6. 1～H24. 5. 31	一般社団法人日本地球惑星科学連合
	社団法人日本雪氷学会評議員	H23. 5. 30～2年	社団法人日本雪氷学会
井元政二郎	「地震調査研究推進本部」専門委員	H10. 1. 6～終了まで	文部科学省研究開発局
田 口 仁	県域統合型GIS「防災業務支援ワーキンググループ」	H23. 6～H24. 3末	岐阜県総合企画部
長谷川信介	第13回岩の力学国内シンポジウム 実行委員会 委員	H24. 3. 9～H25. 3. 31	一般社団法人 岩の力学連合会
今 井 弘	ジャパン・プラットフォーム助成審査委員会	H23. 11. 1～1年間	特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
佐 藤 一 雄	「茨城県防災情報システム更新に係る総合評価」委員	H20. 5. 14～契約締結日	茨城県知事

Ⅱ. 6. (4) 研修生の受入

制度	氏名	所属	受入部署	担当者	期間	研修概要
研究生等の受け入れ	吉井 護	東京消防庁	水・土砂	眞木加藤	H22. 4. 1 ～H24. 3. 31	水・土砂防災研究に関する研修
	石丸友紀乃	筑波大学	水・土砂	三隅	H22. 4. 1 ～H24. 3. 31	Xバンドレーダーネットワークを用いた集中豪雨の研究
	吉田 翔	筑波大学	水・土砂	三隅	H22. 4. 1 ～H24. 3. 31	マルチパラメータレーダを用いた降水短時間予測に関する研究
	松下くるみ	筑波大学	水・土砂	三隅	H23. 2. 1 ～H24. 3. 31	マルチパラメータレーダを用いた豪雨の解析
	池田 直紀	筑波大学	水・土砂	三隅	H23. 2. 1 ～H24. 3. 31	マルチパラメータレーダを用いた豪雨の解析
	佐藤 高広	東京消防庁	水・土砂	眞木	H23. 4. 1 ～H25. 3. 31	水・土砂防災研究に関する研修
	小郷 宏史	株式会社シオン	災害リスク	藤原	H23. 4. 1 ～H24. 3. 31	強震動及び建物被害予測に関する研究
	今井 隆太	みずほ情報総研株式会社	災害リスク	藤原	H23. 10. 1 ～H24. 3. 31	関東地方のM8級の地震を想定した地震動予測のパラメータスタディ
	斉藤 遼	筑波大学	水・土砂	三隅	H24. 2. 1 ～H25. 3. 31	積乱雲の発生・発達に関する研究

Ⅱ. 6. (5) 招へい研究者等の受入

No	氏 名	機関名	国名	受入部署	担当者	受入期間	研究課題等
1	Renato, Jr. Umali Solidum	Philippine Institute of Volcanology and Seismology	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 6. 26 ～H23. 7. 2	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
2	Ma. Mylene Martinez Villegas	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 6. 26 ～H23. 7. 2	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
3	Angelito Galvez Lanuza	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 6. 26 ～H23. 7. 9	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
4	Henremagne Cinco Penarubia	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 6. 26 ～H23. 7. 9	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
5	Ma. Antonia Vidamo Bornas	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	地震	井上	H23. 7. 17 ～H23. 7. 22	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
6	Baby Jane Tampoc Punongbayan	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 19 ～H23. 8. 12	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
7	Rudy, Jr. Arceo Lacson	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 19 ～H23. 8. 12	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進

No	氏 名	機関名	国名	受入部署	担当者	受入期間	研究課題等
8	Bartolome Caparas Bautista	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 25 ～H23. 7. 29	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
9	Perla Jaring Delos Reyes	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 25 ～H23. 7. 29	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
10	Joan Cruz Salcedo	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 28 ～H23. 8. 3	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
11	Ishmael Clarino Narag	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 7. 28 ～H23. 8. 3	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
12	Siavash Soroushian	University of Nevada, Reno	イラン	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 7 ～H23. 9. 29	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加
13	Nhan Dinh Dao	University of Nevada, Reno	ベトナム	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 7 ～H23. 9. 29	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加
14	Richard Pantua Lasala	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 8. 10 ～H23. 8. 19	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
15	Maria Lynn Paladio Melosantos	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 8. 14 ～H23. 8. 19	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
16	Melcario Dionisio Pagtalunan	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 8. 18 ～H23. 8. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
17	Ma. Mylene Martinez Villegas	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 8. 18 ～H23. 8. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
18	Shiling Pei	South Dakota State University	中国	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 23 ～H23. 8. 28	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加および会議出席
19	Satish Nagarajaiah	Rice University	インド	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 23 ～H23. 8. 28	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加および会議出席
20	Arash Esmaili Zaghi	University of Nevada, Reno	イラン	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 24 ～H23. 8. 28	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加および会議出席
21	Cheng Chen	School of Engineering, San Francisco State University	中国	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 24 ～H23. 8. 28	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加および会議出席
22	Swaminathan Krishnan	California Institute of Technology	インド	兵庫耐震	佐々木	H23. 8. 24 ～H23. 8. 28	NEES/E-ディフェンス共同研究プログラムの実験参加および会議出席
23	Allan Rommel Rosales Labayog	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 9. 15 ～H23. 9. 30	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進

No	氏 名	機関名	国名	受入部署	担当者	受入期間	研究課題等
24	Robinson Ferolin Jorgio	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 9. 15 ～H23. 9. 30	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
25	Teresito Careso Bacolcol	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H23. 9. 15 ～H23. 10. 14	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
26	Tian-You Yu	School of Electrical and Computer Engineering of the University of Oklahoma	台湾	水・土砂	三隅	H23. 10. 15 ～H23. 10. 21	気候変動に伴う極端気象に強い都市創り
27	Augusto Neri	Istituto Nazionale di Geofisica e Vulcanologia	イタリア	地震・火山	藤田	H23. 10. 30 ～H23. 11. 6	火山活動の観測予測技術開発
28	Barry Voight	Penn. State University	アメリカ	地震・火山	藤田	H23. 10. 30 ～H23. 11. 5	火山活動の観測予測技術開発
29	Christina Robyn Magill	Macquarie University	ニュージーランド	地震・火山	藤田	H23. 10. 31 ～H23. 11. 6	火山活動の観測予測技術開発
30	Kuo Fong Ma	National Central University	台湾	災害リスク	はお	H23. 11. 24 ～H23. 11. 24	自然災害に対するハザード・リスク評価に関する研究
31	Marco Pagani	GEM Foundation	イタリア	災害リスク	はお	H23. 11. 24 ～H23. 11. 29	次世代地震ハザードマップ作成のためのハザード評価手法の高度化に関する研究
32	Kuo Fong Ma	National Central University	台湾	災害リスク	はお	H23. 11. 25 ～H23. 11. 29	次世代地震ハザードマップ作成のためのハザード評価手法の高度化に関する研究
33	Merhala Thurairajas ingam	Colorado State niversity	イギリス	水・土砂	眞木	H23. 12. 9 ～H23. 12. 18	MPレーダネットワークによる雨と風の3次元分布推定手法の開発
34	Viswanathan Naganathan Bringi	Colorado State niversity	アメリカ	水・土砂	眞木	H23. 12. 10 ～H23. 12. 15	MPレーダネットワークによる雨と風の3次元分布推定手法の開発
35	Renato, Jr. Umali Solidum	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
36	Teresito Careso Bacolcol	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
37	Richard a. k. a. Melchor Pantua Lasala	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
38	Melquiades II Sumang Figueroa	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進

No	氏 名	機関名	国名	受入部署	担当者	受入期間	研究課題等
39	Ma. Antonia Vidamo Bornas	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
40	Jeffrey Somintac Perez	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
41	Rudy, Jr. Arceo Lacson	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
42	Arturo Santos Daag	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
43	Lucille Rose Consador Del Monte	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
44	Ishmael Clarino Narag	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
45	Ma. Mylene Martinez Villegas	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 17	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
46	Bartolome Caparas Bautista	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
47	Arnaldo Abergas Melosantos	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
48	Angelito Galvez Lanuza	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 11 ～H24. 3. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進
49	Gyuwon Lee	Department of Astronomy & Atmospheric Sciences	韓国	雪氷	中井	H24. 3. 18 ～H24. 3. 20	降雪粒子・降水強度の複合観測及びレーダー観測との比較
50	Henremagne Cinco Penarubia	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	フィリピン	災害リスク	井上	H24. 3. 20 ～H24. 3. 24	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進

II. 7. 国際関係

(1) 二国間等協力

相手国	研究課題名	担当者	相手先機関等	開始年	備考
アメリカ	カルデラ火山の活動についての研究 Unrest at caldera volcanoes 概要：日本の大規模カルデラ火山である硫黄島とロング・バレー・カルデラに注目し、噴火を発生せずに大規模な地殻変動を引き起こす地下のマグマ供給システムを解明する。これらのカルデラ火山の将来の噴火予知の研究について協力する。 Understanding the mechanical role of fluids and chemical rock-water interactions in controlling fault slip and earthquake generation.	鵜川元雄	Chris Newhall U.S. Geological Survey	2000年	日米地球環境リエゾン会合
アメリカ	地殻活動・プレート運動の研究 Study on crustal deformation and plate motion 概要：日米双方においてGPS解析ソフトウェア（GAMIT）の性能向上に努めるとともに、Scripps海洋研究所はGPSグローバル観測網の解析結果を日本側に提供し、これを用いて日米それぞれが関東・東海及び南Californiaの両地域の地殻変動の詳細を明らかにするとともに、世界的な基準座標系の確立とプレート運動の解明を図る。 For the purpose of the study on the crustal movements in the plate boundary zones and the global plate motion using the Global Positioning System (GPS) observations, to improve the analyzing accuracy and the time resolution of the GPS observation data	島田誠一	Yehuda Bock Scripps Inst. of Oceanography, University of California San Diego	1998年	日米地球環境リエゾン会合
アメリカ	掘削による活断層の水力学的調査研究 Hydro-Mechanical Investigation of Active Faults through Drilling 概要：地震活断層の内外に掘削されたボアホールを利用して、原位置応力、流体圧、浸透率を測定するとともに岩石や流体を採取する。 Understanding the mechanical role of fluids and chemical rock-water interactions in controlling fault slip and earthquake generation.	小村健太郎	Stephen Hickman U. S. Geological Survey	1998年	日米地球環境リエゾン会合
アメリカ	環境変動における積雪の変質の研究 Response of snow and ice to climate change 概要：人的交流、実験データの共同利用、ワークショップ等の共同開催、情報交換 Reveal the mechanics of snow metamorphism by interaction with the climate change.	佐藤篤司	Edward E. Adams College of Engineering Montana State University	1999年	日米地球環境リエゾン会合
アメリカ	地震観測データ交換 Collaboration in seismology and geoscience 概要：合同でピトケアン、ハワイ、ミッドウェイ、ツバル、西サモア、クリスマス、ラウルの太平洋の島々にグローバル地震観測網（GSN）の観測点を建設し、タラワ、カントンのGSN観測点を完成させるために機器を提供し、国際的データ交換の礎としてのデータ即時公開を目指す。 Jointly establish Global Seismographic Network (GSN) stations on Pacific Island sites - including sites on Pitcairn, Hawaii, Midway, Tuvalu, Western Samoa, Kiritimati, and Raoul - and provide equipment for completing GSN sites on Tarawa and Kanton; and seek open real-time access to data as a cornerstone for international data exchange.	井上公	Incorporated Research Institutions for Seismology (IRIS)	2004年	個別協定
アメリカ	Eーディフェンス及びNEES施設を利用する地震工学研究 Earthquake Engineering Research Using E-Defense and NEES Facilities 概要：Eーディフェンス及びNEES施設を利用する地震工学における実験研究を実施することにより、耐震設計や建造物改良における科学的知識や工学的経験を進展させる。 Improving scientific knowledge and engineering practice in earthquake-resistant design and retrofit of built infrastructure by conducting experimental research in earthquake engineering using E-Defense and NEES facilities.	梶原浩一	Purdue University, NEES Consortium Inc.	2005年	個別協定

相手国	研究課題名	担当者	相手先機関等	開始年	備考
アメリカ	<p>気候変動下における人間活動と生物地球化学過程が地域の水循環に及ぼす影響 Anthropogenic activities and biogeochemical effects on regional hydrological cycles under global climate change 概要：地域気候モデルの性能を向上させ、地域の水循環・物質循環の維持や変動にとって重要な陸域における相互作用プロセスを明らかにする。 Improving an advanced high-resolution regional climate model's capability to study the key terrestrial feedback processes responsible for the maintenance and variability of regional hydrological/biogeochemical cycles.</p>	大楽浩司	Colorado State University	2006年	日米地球環境リエゾン会合
アメリカ	<p>国際北極圏研究センター（IARC）と独立行政法人防災科学技術研究所（NIED）間の研究協力に関する覚書 Memorandum Of Understanding on Academic Exchange between International Arctic Research Center (IARC) and National Research Institute For Earth Science And Disaster Prevention (NIED) 概要：観測、データの解析、理論研究での協力、研究者の交換、研究材料、刊行物、及び情報の交換 joint observational programs, joint data analysis, joint theoretical research, exchange of scientists, exchange of scientific materials, publications, and information.</p>	山口悟	<p>アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター International Arctic Research Center (IARC) of the University of Alaska Fairbanks</p>	2010年	個別協定
アメリカ	<p>日米共同研究による免震技術評価実験 Shake Table Experiment of Base-isolated Buildings based on E-Defense/NEES Collaborative Research Project 概要：多段摩擦振子免震装置によるすべり免震構造と、鉛プラグ入り積層ゴム支障と直動床がり支承を組み合わせたゴム免震構造を対象とした実大鉄骨5層免震建物の加震実験を実施。様々な地震動を入力した結果から、免震構造の有効性を示す計測データを取得。 Full-scale five-story, base-isolated steel moment frame building was excited to evaluate the effectiveness of isolation systems based on the collaborative research program between NIED and University of Nevada, Reno (UNR). Two different types of isolation systems were used; 1) Triple Friction Pendulum Bearings (TPBs) and 2) a combination of Lead-Rubber Bearings (LRBs) and Cross Linear Bearings (CLBs).</p>	梶原浩一	University of Nevada	2011年	個別協定
イタリア	<p>経験則に基づく地震予知手法の開発研究 Earthquake Warning Algorithms based on Empirical Formulas 概要：地震災害軽減のために、主に地震観測データの解析から得られる経験則に基づき、大地震の発生予測手法の開発を行う。 To develop algorithm for warning large earthquakes based on formulas, which will be empirically obtained mainly from seismological data.</p>	井元政二郎	Maura MURRU National Inst. of Geophysics	1998年	日伊科技協定
イタリア	<p>火山溶岩流災害軽減手法の開発 Development of the Hazard Mitigation Methods for volcanic Lava Flow 概要：日伊で代表的な火山（富士山・エトナ山）を中心に、溶岩流シミュレーションとリアルタイム予測手法の開発を行う。 We aim to develop the lava flow simulation technique to high performance "real-time" prediction system with Mt.Etna and Mt.Fuji.</p>	藤田英輔	Mauro Coltelli Istituto Nazionale di Geofisica e Vulcanologia - Sezione di Catania	2005年	日伊科技協定（エグゼクティブプログラム）
イタリア	<p>耐震木材建物の共同実験プログラム覚書 Joint Testing Program on Seismic Resistant Timber Buildings 概要：新型木質パネル工法住宅の耐震性評価実験を実施 Improving scientific knowledge and engineering practices in the earthquake-resistance design of timber structures by conducting co-ordinated earthquake research tasks in both Countries on the basis of mutual benefit.</p>	箕輪親宏	CONSIGLIO NAZIONALE DELLE RICERCHE - ISTITUTO PER LA VALORIZZAZIONE DEL LEGNO E DELLE SPECIE ARBOREE	2006年	個別協定

相手国	研究課題名	担当者	相手先機関等	開始年	備考
インド ネシア	地震観測網の運用とデータ交換 Joint Seismic Network Operation and Data Exchange 概要：広帯域地震観測網の運用及びデータ交換 Operation of the seismic stations and data exchange	井上公	Bureau of Meteorology and Geophysics, Indonesia	2001 年	個 別 協 定
カナダ	沈み込み帯に発生する深部低周波微動及びスロースリ ップに関する比較研究 Research for deep low-frequency tremor and slow slip in subduction zones 概要：スロースリップは若いプレート沈み込みプロ セスと大きく関連するものと考えられ、両地域におけ る現象を比較研究することによって、プレート沈み込 みプロセス、及び巨大地震発生に関する理解を進める ことを目的とする。 The purpose of this research subject is to clarify the relationship between the slow slip and the deep tremor and to understand the subduction process of the young and warm slab based on the comparison of observational facts in Cascadia and southwest Japan.	廣瀬仁	Pacific Geoscience Centre, Geological Survey of Canada	2004 年	日 加 環 境 パ ネ ル
韓国	マルチパラメータレーダーを利用した雲・降水システ ムの研究 Studies on cloud and precipitation systems with the multiparameter radar 概要：先端的なマルチパラメータレーダーを利用して、 雲水量や粒径分布の推定、雲・降水粒子の識別等を行 う手法を開発し、雲・降水の形成過程を明らかにする。 The objective of the project is to understand the cloud and precipitation processes through the estimation of cloud and precipitation parameters using the advanced multiparameter radar system.	岩波越	Dong-In Lee Dept. Environmental Atmospheric Science, Pukyong National University, Kyungpook National University, Korea	1999 年	日 韓 科 学 技 術 協 力 委 員 会
韓国	韓国釜慶大学校環境・海洋大学との研究交流 Information exchange on education and research between College of Environmental and Marine Sciences and Technology, Pukyong National University, Korea and NIED 概要：教員また研究者・学生の交流、研究資料、刊行 物及び研究情報の交換、共同研究活動 ・Interchanging teachers, researchers, and students ・Exchanging research documents, research information and publication ・Conducting collaborative research	眞木雅之	釜慶大学校環境・海 洋大学 College of Environmental and Marine Sciences and Technology, Pukyon g	2008 年	個 別 協 定
韓国	XバンドMPレーダネットワークを用いた山岳地域の 降雨量分布に関する研究 Study on rainfall distribution over mountainous area using Xband MP radar network 概要：複数台のMPレーダ観測により山岳域の詳細な雨 量分布を推定し、その時空間変動を明らかにする Aim to explicate the spatial and temporal variation of rainfall distribution over mountainous area by utilizing network of several MP radar.	眞木雅之	釜慶国立大学校 Pukyong National University	2010 年	個 別 協 定
ギリシ ャ	教育科学の共同事業について For Educational and Scientific Cooperation 概要：地震工学分野における教育科学研究分野で長期 にわたる共同事業を展開する Development of a long-term cooperation in the areas of education and scientific research in the earthquake engineering discipline.	佐藤正義	G. Gazetas, The National Technical University of Athens	2006 年	個 別 協 定
ドイツ	深層ボーリングを利用した地殻の研究 Study on the Earth's Crust using Deep Boreholes 概要：坑井を利用した地殻観測技術の開発と地球科学的 課題の解明を図る。また国際陸上科学掘削計画の推 進を図る。 Earth science research and development on observation of the continental crust through drilling.	小村健太 郎	GeoForschungs Zentrum Potsdam	1998 年	日 独 科 技 協 定

相手国	研究課題名	担当者	相手先機関等	開始年	備考
フィリピン	<p>フィリピン地震火山監視強化と防災情報の活用推進 Enhancement of Monitoring Capabilities and Effective Utilization of Disaster Mitigation Information in the Philippines</p> <p>概要：広帯域地震計と震度計の導入、GPS観測と断層調査、ならびにリアルタイム総合火山観測により、フィリピンの地震火山監視能力を強化し、地震火山防災ポータルサイトを通じて情報の発信と利活用推進を行う。</p> <p>Enhancing earthquake and volcano monitoring by broadband seismic and intensity observations, GPS observations, fault survey, and integrated realtime volcano observations. We also contribute to the dissemination of the information through a portal site and promote its utilization.</p>	井上公	Philippine Institute of Volcanology and Seismology (PHIVOLCS)	2010年	個別協定
フィンランド	<p>災害リスク情報・環境情報の活用に係る相互協力に関する包括協定 Memorandum of Understanding on the utilization of disaster-risk information and environmental information based on information and communications technologies</p> <p>概要：研究協力及び情報交換、相互技術支援及び協力、人的交流及び教育協力 Research cooperation, scientific and technical information exchange, personnel exchanges and cooperated staff-training</p>	臼田裕一郎	VTT Technical Research Centre of Finland	2010年	個別協定
マレーシア	<p>マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究 Research and Development for Reducing Geo-Hazard Damage in Malaysia caused by Landslide & Flood</p> <p>概要：研究協力、科学的及び技術的情報交換、人員交換と共同のスタッフ研修、学生又は研修生の交換、共通の研究プロジェクトの開始 Research cooperation, scientific and technical information exchange, personnel exchanges and cooperated staff-training, exchange of students or trainees for doctorate study or training, and implementation of common research projects</p>	酒井直樹	マレーシア理科大学 Universiti Sains Malaysia (USM)	2011年	個別協定

(2) 研究員等の海外派遣

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
1	アメリカ	地震・火山	松原 誠	長期在外研究	H22. 6. 20～H23. 6. 19	
2	アメリカ	地震・火山	福山 栄一	ACES Workshop 参加	H23. 5. 1～H23. 5. 7	
3	アメリカ	水・土砂	村上 智一	沿岸災害の解決 2011 に参加・研究発表	H23. 6. 25～H23. 7. 2	
4	アメリカ	兵庫耐震	中村いずみ	ASME PVP2011 への参加・発表、配管系の耐震研究に関する意見交換	H23. 7. 17～H23. 7. 24	
5	アメリカ	災害リスク	前田 宜浩	ESG4 Conference 参加発表	H23. 8. 21～H23. 8. 29	

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
6	アメリカ	災害リスク	岩城 麻子	ESG4 Conference 参加発表	H23. 8. 22～H23. 8. 29	
7	アメリカ	地震・火山	ネルソン・プリード	4th IASPEI/IAEE International Symposium に出席及び発表	H23. 8. 23～H23. 8. 28	依頼出張
8	アメリカ	水・土砂	酒井 直樹	中期在外研究	H23. 8. 29～H24. 3. 18	
9	アメリカ	水・土砂	金 東順	第35回レーダ気象学に関する国際会議への出席と研究成果発表のため	H23. 9. 25～H23. 10. 2	
10	アメリカ	水・土砂	前坂 剛	第35回レーダ気象学に関する国際会議への出席と研究成果発表のため	H23. 9. 25～H23. 10. 2	
11	アメリカ	水・土砂	眞木 雅之	第35回レーダ気象学に関する国際会議への出席と研究成果発表のため	H23. 9. 25～H23. 10. 2	
12	アメリカ	災害リスク	大楽 浩司	ワークショップへの参加	H23. 10. 23～H23. 10. 30	
13	アメリカ	水・土砂	清水 慎吾	WMO/WWRP workshop “use of numerical weather prediction in nowcasting”において、サブ課題に関わる研究発表・情報収集	H23. 10. 24～H23. 10. 26	依頼出張
14	アメリカ	災害リスク	前田 裕太	AGU FALL MEETING 2011 への参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
15	アメリカ	地震・火山	木村 武志	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
16	アメリカ	地震・火山	松原 誠	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
17	アメリカ	地震・火山	鈴木 亘	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
18	アメリカ	地震・火山	青井 真	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
19	アメリカ	地震・火山	福山 栄一	AGU FALL MEETING 2011 出席	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
20	アメリカ	地震・火山	山下 太	AGU FALL MEETING 2011 出席	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
21	アメリカ	地震・火山	松澤 孝紀	AGU FALL MEETING 2011 出席	H23. 12. 4～H23. 12. 11	

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
22	アメリカ	地震・火山	東郷 徹宏	AGU FALL MEETING 2011 出席	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
23	アメリカ	地震・火山	エネスク ボグダン ドゥミトル	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学 連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
24	アメリカ	地震・火山	汐見 勝彦	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学 連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
25	アメリカ	地震・火山	武田 哲也	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学 連合秋季大会）参加	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
26	アメリカ	災害リスク	大楽 浩司	AGU FALL MEETING 2011 への参加・発表	H23. 12. 4～H23. 12. 11	
27	アメリカ	水・土砂	飯塚 聡	AGU FALL MEETING 2011 参加・発表	H23. 12. 5～H23. 12. 8	
28	アメリカ	災害リスク	常松 展充	AGU FALL MEETING 2011 への参加・発表	H23. 12. 5～H23. 12. 9	
29	アメリカ	災害リスク	平野 淳平	AGU FALL MEETING 2011 への参加・発表	H23. 12. 5～H23. 12. 10	
30	アメリカ	地震・火山	熊谷 博之	AGU FALL MEETING 2011 出席	H23. 12. 5～H23. 12. 11	
31	アメリカ	地震・火山	藤田 英輔	AGU2011 Fall Meeting 2011 参加・講演発表	H23. 12. 5～H23. 12. 11	
32	アメリカ	災害リスク	岩城 麻子	The 2011 American Geophysical Union Fall Meeting 参加発表	H23. 12. 5～H23. 12. 11	
33	アメリカ	地震・火山	功刀 卓	AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学 連合秋季大会）参加	H23. 12. 7～H23. 12. 11	
34	アメリカ	地震・火山	木村 尚紀	AGU 秋季大会・SCEC－ERI ワークショップ 参加およびBiondi 博士と研究打ち合わせ	H23. 12. 8～H23. 12. 14	
35	アメリカ	災害リスク	大楽 浩司	研究打ち合わせ、セミナー、共同研究	H24. 2. 11～H24. 2. 25	
36	アメリカ	水・土砂	飯塚 聡	2012 年海洋科学会議に参加・発表	H24. 2. 19～H24. 2. 25	
37	アメリカ	理事長	岡田 義光	（独）日本学術振興会ワシントン研究連絡 センター共催シンポジウム出席	H24. 3. 8～H24. 3. 11	依頼出張

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
38	アメリカ	災害リスク	藤原 広行	(独) 日本学術振興会ワシントン研究連絡センター共催シンポジウム出席	H24. 3. 8～H24. 3. 11	依頼出張
39	イギリス	水・土砂	鈴木 真一	International Sympojium Weather Rader and Hydrology に参加、および気象学研究室訪問のため	H23. 4. 17～H23. 4. 24	
40	イギリス	水・土砂	加藤 敦	「気象レーダーと水文学」に関する国際シンポジウム (WRaH 2011) の研究発表のため	H23. 4. 17～H23. 4. 23	
41	インドネシア	地震・火山	山品 匡史	JISNET 観測システムに関する打合せ・保守作業・指導	H23. 5. 9～H23. 5. 13	
42	インドネシア	災害リスク	井上 公	BMKG との研究打ち合わせ、西スマトラ州政府危機管理センター打ち合わせ	H23. 5. 19～H23. 5. 24	
43	インドネシア	災害リスク	今井 弘	日本赤十字社西スマトラ州地震復興事業におけるパダンパリアマン県にて行われる事業評価	H23. 5. 22～H23. 6. 4	依頼出張
44	インドネシア	地震・火山	ネルソン・プリード	打ち合わせ、JISNET データ収録システムに関する引き継ぎなど	H23. 9. 13～H23. 9. 16	
45	インドネシア	地震・火山	山品 匡史	打ち合わせ、JISNET データ収録システムに関する引き継ぎなど	H23. 9. 13～H23. 9. 17	
46	インドネシア	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ	H24. 1. 9～H24. 1. 13	
47	インドネシア	災害リスク	今井 弘	インドネシア・建築物耐震性向上のための建築行政執行能力向上フェーズ2 短期派遣	H24. 2. 5～H24. 2. 25	依頼出張
48	インドネシア、フィジー	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ	H23. 9. 14～H23. 9. 17 H23. 9. 24～H23. 10. 2	
49	エクアドル、コロンビア	地震・火山	ネルソン・プリード	エクアドル地球物理研究所およびコロンビア地質調査所での広帯域地震・強震観測データ解析に関する打合せ	H23. 10. 18～H23. 10. 28	
50	エクアドル、コロンビア	地震・火山	熊谷 博之	エクアドル地球物理研究所及びコロンビア地質調査所での広帯域地震・強震観測データ解析に関する研究打ち合わせ	H23. 10. 19～H23. 10. 28	
51	オーストラリア	災害リスク	ハオ 憲生	IUGG 国際測地学・地球物理学連合大会 2011 参加発表	H23. 6. 26～H23. 7. 5	
52	オーストラリア	地震・火山	島田 誠一	IUGG2011 国際会議参加	H23. 6. 26～H23. 7. 9	
53	オーストラリア	地震・火山	小澤 拓	IUGG 出席	H23. 6. 28～H23. 7. 6	
54	オーストラリア	地震・火山	熊谷 博之	2011 IUGG General Assembly 出席	H23. 6. 29～H23. 7. 8	
55	オーストラリア	地震・火山	河野 裕希	2011 年 IUGG 国際会議発表および参加	H23. 6. 30～H23. 7. 7	
56	オーストラリア	地震・火山	藤田 英輔	IUGG2011 参加・講演発表	H23. 7. 1～H23. 7. 6	
57	オーストラリア	地震・火山	小園 誠史	2011 年 IUGG 国際会議発表および参加のため	H23. 7. 1～H23. 7. 8	

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
58	オランダ	水・土砂	前坂 剛	Xバンド気象レーダワークショップへの出席、研究発表	H23. 11. 13～H23. 11. 18	
59	オランダ	水・土砂	シャクティ P.C.	X-Band Weather Rader Workshop への出席、研究発表	H23. 11. 13～H23. 11. 18	
60	韓国	水・土砂	眞木 雅之	International Symposium on Climate Change Adaptationに参加・発表	H23. 6. 2～H23. 6. 4	依頼出張
61	韓国	水・土砂	眞木 雅之	局地的大雨の統計に関する研究打ち合わせ	H23. 9. 6～H23. 9. 8	
62	韓国	災害リスク	大楽 浩司	The International Workshop on CORDEX-East Asia on 22-23 September 2011 in Korea	H23. 9. 21～H23. 9. 24	
63	韓国	地震・火山	藤田 英輔	火山災害管理に関する講演・協議会	H23. 10. 28	依頼出張
64	韓国	地震・火山	松原 誠	Woohan Kim 教授との研究打合せ、発表、韓国気象庁での地震活動に関する会議への出席	H23. 10. 29～H23. 11. 6	依頼出張
65	韓国	災害リスク	李 泰榮	学術シンポジウムでの講演	H23. 11. 18	依頼出張
66	韓国	水・土砂	清水 慎吾	国交省レーダネットワークに最適化した三次元風速場推定アルゴリズムの開発のため打合せと論文作成のためのディスカッションを行うため	H24. 2. 19～H24. 2. 22	
67	韓国	災害リスク	大楽 浩司	The Third International Regional Model Intercomparison Project	H24. 2. 27～H24. 2. 29	依頼出張
68	韓国	水・土砂	金 東順	Xバンドデュアルー偏波レーダーに関する議論	H24. 3. 18～H24. 3. 22	依頼出張
69	ギリシャ	兵庫耐震	山下 拓三	国際会議 COMPDYN2011 参加・発表、大規模数値解析の連携に向けた打ち合わせ	H23. 5. 23～H23. 5. 31	
70	シンガポール	災害リスク	ハオ 憲生	GEM 東南アジア地域ワークショップ及び台湾中央大学打合せ	H23. 7. 30～H23. 8. 5	
71	スイス	雪氷	山口 悟	積雪変質モデルの比較議論及び積雪粒径測定に関する情報交換	H24. 2. 12～H24. 2. 18	依頼出張
72	スロベニア	兵庫耐震	長江 拓也	研究討論、性能規定型耐震性評価会議出席	H23. 6. 22～H23. 6. 29	
73	台湾	地震・火山	東郷 徹宏	AOGS での研究発表及び試験機設計セミナー参加	H23. 8. 4～H23. 8. 13	
74	台湾	水・土砂	下川 信也	AOGS2011 出席	H23. 8. 10～H23. 8. 13	
75	台湾	水・土砂	三隅 良平	第 22 回 ACTS ワークショップ「台風と地すべり：防災・減災・災害に強い建物」に参加	H23. 11. 1～H23. 11. 5	
76	中国	災害リスク	ハオ 憲生	日中韓プロジェクト打合せ及び東日本大震災講義	H23. 5. 1～H23. 5. 4	
77	中国	災害リスク	河合 伸一	『14th ARC 2011』出席	H23. 5. 25～H23. 5. 27	
78	中国	災害リスク	ハオ 憲生	GEM Outreach Meeting	H23. 6. 5～H23. 6. 11	
79	中国	災害リスク	藤原 広行	GEM Outreach Meeting	H23. 6. 5～H23. 6. 11	

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
80	中国	災害リスク	ハオ 憲生	日中韓プロジェクト第1回日中双方会議	H23. 8. 11～H23. 8. 14	
81	中国	災害リスク	藤原 広行	日中韓プロジェクト第1回日中双方会議	H23. 8. 11～H23. 8. 14	
82	中国	災害リスク	森川 信之	日中韓プロジェクト第1回日中双方会議	H23. 8. 11～H23. 8. 14	
83	中国	災害リスク	ハオ 憲生	日中韓東アジア地震セミナー参加及び韓国 KIGAM 打合せ	H23. 10. 18～H23. 10. 22	
84	中国	災害リスク	東 宏樹	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
85	中国	災害リスク	中村 洋光	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
86	中国	災害リスク	河合 伸一	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
87	中国	災害リスク	藤原 広行	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
88	中国	地震・火山	青井 真	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
89	中国	災害リスク	森川 信之	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
90	中国	災害リスク	ハオ 憲生	日中韓研究交流会出席のため	H23. 11. 25～H23. 11. 30	
91	ドイツ	地震・火山	齊藤 竜彦	「地震波干渉法による地殻構造の時空間変化モニタリング」に関する研究打ち合わせ	H23. 9. 15～H23. 9. 25	
92	ドイツ	地震・火山	上野 友岳	日独二国間共同研究「地震波干渉法による地殻構造の時空間変化モニタリング」に関する研究打ち合わせ	H24. 3. 14～H24. 3. 22	
93	ドイツ	地震・火山	汐見 勝彦	日独二国間共同研究「地震波干渉法による地殻構造の時空間変化モニタリング」に関する研究打ち合わせ	H24. 3. 18～H24. 3. 22	
94	トルコ	兵庫耐震	長江 拓也	トルコ・神戸 地震対策国際交流調査	H23. 12. 18～H23. 12. 24	
95	ニカラグア	水・土砂	酒井 直樹	ニカラグア・（科学技術研究員）マナグア湖南部流域におけるマルチ・ハザード調査研究長期派遣専門家（科学技術研究員（地すべり実習））の派遣	H23. 6. 19～H23. 7. 3	依頼出張
96	ニカラグア	災害リスク	佐藤 正義	ニカラグア・マナグア湖南部流域におけるマルチハザード調査研究短期派遣	H24. 3. 3～H24. 3. 12	依頼主張
97	フィジー	災害リスク	井上 公	フィジー・地震観測網の運用プロジェクト短期派遣専門家（地震学）	H23. 7. 7～H23. 7. 22	依頼出張
98	フィジー	災害リスク	井上 公	フィジー・地震観測網の運用プロジェクト短期派遣専門家（地震学）	H23. 10. 14～H23. 11. 4	依頼出張
99	フィジー、トンガ、バヌアツ	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ、課題形成打ち合わせ	H24. 2. 26～H24. 3. 9	
100	フィリピン	災害リスク	井上 公	PHIVOLCS 研究打ち合わせ、地震観測機材調整、地震・津波脆弱性調査	H23. 5. 12～H23. 5. 18	
101	フィリピン	地震・火山	山品 匡史	PHIVOLCS 研究打ち合わせ、機械設置作業、データ処理システム構築	H23. 6. 19～H23. 7. 1	

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
102	フィリピン	災害リスク	今井 弘	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進プロジェクト	H23. 9. 6～H23. 9. 18	
103	フィリピン	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ	H23. 9. 18～H23. 9. 23	
104	フィリピン	災害リスク	今井 弘	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進プロジェクト ASPE 会議出席	H23. 9. 28～H23. 10. 1	
105	フィリピン	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ、JCC 会議出席、マヨン火山監視体制、火山被災地、火山防災体制視察、津波防災体制視察、機材施設指導、潮位計設置場所下見	H23. 11. 13～H23. 11. 26	
106	フィリピン	地震・火山	熊谷 博之	合同調整委員会、システム構築	H23. 11. 14～H23. 11. 26	
107	フィリピン	災害リスク	前田 裕太	合同調整委員会、システム構築、マヨン火山監視体制・火山被災地・火山防災体制視察、津波防災体制視察	H23. 11. 14～H23. 11. 26	
108	フィリピン	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ、潮位観測用テレメタ通信テスト、海底地形調査試験、地域津波防災対策に関する協議等	H23. 12. 8～H23. 12. 21	
109	フィリピン	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ	H24. 1. 14～H24. 1. 20	
110	フィリピン	災害リスク	今井 弘	フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用推進プロジェクト フィリピン住宅用簡易体診断のための現地建設工法の詳細調査	H24. 1. 16～H24. 1. 27	
111	フィリピン	地震・火山	ネルソン・プリード	地震解析システムの改良	H24. 3. 19～H24. 3. 24	
112	フィリピン	地震・火山	熊谷 博之	地震解析システムの改良	H24. 3. 19～H24. 3. 24	
113	フィリピン	災害リスク	前田 裕太	地震解析システムの改良、タール火山観測点点検	H24. 3. 19～H24. 3. 24	
114	フィリピン	災害リスク	井上 公	研究打ち合わせ	H24. 3. 26～H24. 3. 30	
115	フィンランド	災害リスク	臼田裕一郎	長期在外研究	H23. 5. 19～H24. 5. 18	
116	フランス	地震・火山	福山 栄一	東北沖地震に関する研究ミーティング参加のため	H23. 11. 6～H23. 11. 13	
117	フランス	地震・火山	武田 哲也	国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）における「2011 年東北地方太平洋沖地震による東日本地域の地殻構造の地震波速度変化と地殻変動」に関する研究打合せ	H24. 3. 12～H24. 3. 18	依頼出張
118	ペルー	地震・火山	ネルソン・プリード	平成 21 年度地球規模課題対応国際科学技術事業 「ペルーにおける地震・津波減災技術の向上」に関する研究打合せ及び現地調査	H24. 2. 20～H24. 2. 27	依頼出張
119	ベルギー	災害リスク	大楽 浩司	国際リスクモデリングワークショップ出席	H24. 2. 8～H24. 2. 10	依頼出張

	渡航先	所属	氏名	渡航目的	期間	備考
120	マレーシア	水・土砂	酒井 直樹	「マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究」に関する打合せのため	H23. 7. 10～H23. 7. 14	依頼出張
121	ロシア	雪氷	佐藤 篤司	International Sysmpojium Phisics, Chemistry And Mechanics of Snow 参加のため	H23. 6. 11～H23. 6. 18	
122	ロシア	雪氷	山口 悟	International Sysmpojium Phisics, Chemistry And Mechanics of Snow 参加のため	H23. 6. 11～H23. 6. 18	
123	ロシア	雪氷	平島 寛行	International Sysmpojium Phisics, Chemistry And Mechanics of Snow 参加のため	H23. 6. 11～H23. 6. 18	
124	ロシア	地震・火山	河野 裕希	国際学会会議出席	H23. 8. 22～H23. 9. 1	依頼出張
125	ロシア	雪氷	佐藤 篤司	講師	H24. 3. 11～H24. 3. 17	依頼出張

(3) 海外来訪者及び調査者への対応

国名	年月日	機関名等	概要
韓国	H23. 6. 1	駐日韓国大使館参事官 計2名	日本の先進的な防災技術を学び本国で活用するための視察
スコットランド、中国、南アフリカ、アメリカ等	H23. 6. 2	つくばインターナショナルスクール2年生 計9名	災害・火山に関する学習
メキシコ、インド、ブラジル、カンボジア等	H23. 6. 3	筑波大学留学生 計11名	一般的な施設見学
バングラデシュ、中国、カザフスタン、ニカラグア等	H23. 7. 4	神戸大学都市安全研究センター受入JICA研修生 計10名	JICA研修「都市地震災害軽減のための総合戦略」の一環としての見学
台湾	H23. 9. 1	台湾国家実験研究院（NARL）副院長及び台北駐日経済文化代表処（NSC）科学技術部長 計5名	国際協力関係の強化および減災技術に関する意見交換のための視察
アゼルバイジャン、中国、ドミニカ共和国等	H23. 10. 14	建築研究所国際地震工学センター受入JICA研修生 計25名	JICA研修の一環としての見学
アゼルバイジャン、チリ、コロンビア等	H23. 10. 17	神戸大学都市安全研究センター受入JICA研修生 計12名	JICA研修「都市地震災害軽減のための総合戦略」の一環としての見学
イスラエル	H23. 10. 25	イスラエル地震対策国家運営委員会委員長 計2名	地震および日本の耐震技術についての意見交換のための視察
タイ	H23. 10. 26	福島大学受入タイ人研究者 計5名	JICA/JSTプロジェクトの一環としての見学
アルゼンチン、コロンビア、キューバ、エクアドル等	H23. 11. 7	南米各国大使 計11名	表敬訪問および2011年東北地方太平洋沖地震の概要についての説明に関する視察
中国	H23. 11. 14	中国広西省「地震予知と緊急対応日本視察団」 計21名	高感度地震観測網について学習するため来所
韓国	H23. 11. 22	韓国LOTTE観光世界文化探訪会日本産業視察団 計20名	一般的な施設見学

国名	年月日	機関名等	概要
スリランカ、パキスタン、ベトナム、インドネシア	H23. 12. 7	JAXA受入アジア諸国政府職員 計8名	一般的な施設見学
韓国	H23. 12. 14	韓国白頭山火山噴火対応日本国研集団 計5名	火山研究の動向及び韓国との火山の共同研究についての対話を目的とした視察
ウルグアイ	H24. 1. 5	ウルグアイ大使令嬢及びその友人 計2名	一般的な施設見学
モーリシャス、ブラジル、ペルー、メキシコ等	H24. 2. 1	海外環境協力センター（OECC）受入JICA研修生 計19名	JICA集団研修「地球温暖化対策研修」の一環としての視察
韓国	H24. 2. 7	韓国西京大学教授及び大学院生 計3名	大型降雨実験施設の見学を主とした訪問
マレーシア	H24. 2. 8	（株）ビジョンテック受入マレーシア人研究生 計4名	つくば地区研究所見学の一環としての見学
バングラデシュ	H24. 2. 16	バングラデシュ気象局職員 計10名	MP レーダについての習得を主とした見学
ブータン	H24. 2. 17	SATREPSブータンカウンターパート 計9名	SATREPSプロジェクト「ブータンヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水の研究」の関係機関訪問の一環としての見学
韓国、ナイジェリア、ネパール、イギリス、インド等	H24. 3. 27	つくばインターナショナルスクール2年生 計19名	災害・火山に関する学習
南アフリカ共和国	H24. 3. 27	ケープタウン大学研究者 計1名	一般的な施設見学

Ⅱ.8 関係機関間の連携

関係機関間の連携の枠組みの構築状況

1. 防災研究フォーラム

概要：地震災害・火山災害・水災害等の自然災害を中心とした災害軽減・防御に関する研究に関する共同研究プロジェクトの立案及び産官学連携の研究体制などに関する検討を行うため、平成14年12月に発足した。

目的：

- ①研究機関の連携による自然災害軽減・防御に関する共同研究プロジェクトの立案
- ②文部科学省における自然災害軽減・防御に関する研究開発計画等の企画、調整のための意見集約
- ③大規模突発災害に対応する迅速な産官学連携体制の構築
- ④産官学の研究者（機関）間の連絡体制の構築、意見交換等の促進
- ⑤研究者（機関）と防災実務担当者（機関）間の情報交換、意見交換等の促進
- ⑥防災関係行政機関等への災害軽減・防御に関する調査・研究の協力要請等

実施内容等：

防災科研から7名の幹事会メンバー（全員で17名）を選出し、東大地震研および京大防災研と協力し防災研究フォーラムの運営を行っている。フォーラムシンポジウムの開催に深く係わるなど、関係機関との連携を強化し、防災研究開発における発展に貢献することを目標に活動を実施している。

この活動の一環として、平成24年1月に「地震・津波災害軽減のために ～東日本大震災から学ぶ～」と題する第10回シンポジウムを開催した。当シンポジウムでは、東日本大震災に対する地震研究・防災研究について文部科学省、大学、自治体等から講演を行うとともに、研究内容が社会にどう生かされるべきかについてパネルディスカッションを行った。

Ⅱ.9 災害発生等の際に必要な業務

災害発生時またはそのおそれがある場合、観測強化など可能な限り機動的な対応を行うとともに、政府調査団への職員の派遣等を行う。またその対応が取れるよう、所内の体制を整備する。

災害発生時等に備えた体制整備状況及び訓練内容・実績等

- ・内閣府等の関係機関と連絡をとることが可能な中央防災無線網が整備されている。
- ・「防災業務計画」等を整備することにより、所内の体制等を定めている。
- ・中央防災会議の主催する総合防災訓練の主旨に従い、大規模な地震の発生するおそれのある異常の発見、および大規模地震の発生という想定に沿い、地震防災対策強化地域判定会への参集・資料送付等を含む 総合防災訓練を実施している。
- ・具体的な災害調査の実績に関しては、Ⅰ.5.「災害調査」を参照。